は じ め に

この報告書は、2016-20 年度日本学術振興会科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」(研究代表者：大谷信介)の 2019-20 年度の研究成果の報告書である。まずこれまでの研究概要を年度別に振り返っておこう。

2016 (H28) 年度　研究概要

1. 政府統計（統計調査と世論調査）の実態と問題点の考察

研究成果 : 大谷信介 2016「都道府県庁における県民意識調査の実態と職員研修の現状～長崎県・愛媛県・兵庫県の事例を中心として」『社会と調査』17:30-44.

2.「全国 47 都道府県『県民意識調査』実態把握調査」

・「県民世論調査」「県政世論調査」の実態把握および調査票の内容分析
・都道府県で実施されているモニターWeb 調査の実態把握
・各都道府県の「社会調査に関する職員研修」の実態把握

*この研究は、2016 年度関西学院大学社会学部授業科目 研究演習Ⅱ・社会調査実習Ⅱとして、大谷ゼミ 3 年生(24 名)が調査を実施した。

研究成果 : 関西学院大学社会学部大谷研究室『47 都道府県庁が実施する社会調査の実態把握―「県民意識調査」の実施状況と問題点』2018 年 3 月

3. 県民の生活実態を把握できる「県民生活実態調査」(2000 サンプル郵送法)の調査設計の研究

・47 県の雛形となり、県民の「生活行動」「政策課題」を測定できる調査票を企画・設計
・県民を対象としたサンプリング手法を開発する。学術でも対応可能な効率的な手法の開発
・どのようにすれば回収率がよくなるか等の調査方法を、最近の研究成果を駆使して研究

第 1 回研究会（研究計画）・第 2 回研究会（サンプリング）・第 3 回研究会（調査設計）

4. 海外動向調査（2016 年 8 月 20-27 日）アメリカ社会学会大会・カリフォルニア大学

2017 (H29) 年度 研究概要

「愛媛・長崎県民生活実態調査」の実施

都道府県が実施する社会調査の問題点を指摘するだけでなく、「政策形成に役立つ社会調査」「県民の生活実態を測定できる調査」の開発を試みた。2017 年 7～9 月に、愛媛・長崎両県で各 2,000 サンプルの無作為抽出法による郵送調査を実施した。調査の実施に際しては、愛媛県庁（愛媛県企画振興部政策企画局広報広聴課）・長崎県庁（長崎県総務部県民センター）の協力をえられた（サンプリングに際しての名簿閲覧申請、記者会見など)。また、調査内容の検討や質問文作成の各過程において、両県担当職員と研究会で議論を重ねた。調査実施後は、県庁からの分析依頼に対応するという取り組みをおこなっている。

調査対象：愛媛県・長崎県の 18 歳以上の住民　各 2,000 人　計 4,000 人
抽出方法：(愛媛）選挙人名簿から層化無作為抽出法、(長崎）住民基本台帳から確率比例抽出法
調査方法：郵送法による調査票調査
回収数　：(愛媛）1210／60.5%、(長崎）1226／61.3%

この調査の実施は、2017 年度関西学院大学社会学部授業科目 研究演習ⅢⅡⅠ・社会調査実習ⅢⅡⅠの授業科目として、大谷ゼミ 4 年生(24 名)3 年生(26 名)が、調査作成・サンプリング・郵送調査実査・集計分析作業を実施した。秋学期から 2 年生(24 名)が集計分析作業に加わった。

研究成果 : 大谷信介編『「愛媛・長崎県民生活実態調査」報告書―「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」研究成果中間報告書』　関西学院大学社会学部大谷研究室　2018 年 3 月

2018 (H30) 年度 研究概要

1. 「欧州各国在留邦人聞き取り調査」

2017 年度に日本で実施した「愛媛・長崎県民生活実態調査」を、国際比較可能なより汎用性の高い調査方法として開発することを目指した。具体的には、各国の生活実態を把握し国際比較可能な普遍的な調査票の開発を試みた。ヨーロッパ各国の生活実態について、日本大使館・日本人学校・日本人会等の在留邦人を対象に聞き取り調査を実施し、生活実態を測定するための基本的事項を導き出そうとした。調査を実施したのは、イングランド、スコットランド、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ、アイルランド、スペイン、ギリシャ、クロアチア、スロベニア、ポーランド、フィンランド、エストニアの 13 カ国である。

2. 「欧州各国生活実態資料集」

「欧州在留邦人聞き取り調査」を詳細に検討し、統計データによって、その聞き取り調査を補強し、欧州の生活実態を明らかにできる資料を整理作成した。*この研究は、2018 年度関西学院大学社会学部授業科目 研究演習Ⅱ・社会調査実習Ⅱとして、大谷ゼミ 3 年生(24 名)が調査を実施した。

研究成果 : 大谷信介編『2018 年度科研費基盤研究(A)研究成果報告書』 関西学院大学社会学部大谷研究室　2019 年 3 月

3. 「愛媛・長崎県民生活実態調査」の解析作業

*この作業は、調査票のデータクリーニング作業とともに SPSS を使った分析作業を行った。そこでは、「生活実態を測定するために開発した質問文がどの程度有効だったのか」「郵便番号や店舗・病院等のデータを Google Map の活用によって空間分析を進める方法」等、新しい調査手法が詳細に検討された。*この研究は、2018 年度関西学院大学社会学部授業科目 研究演習Ⅲ(大谷)・社会調査実習Ⅲ(大谷)として、大谷ゼミ 4 年生(26 名)が分析を進めた。

研究成果：関西学院大学大谷研究室『国民生活の実態を明らかにする社会調査の可能性――「愛媛・長崎県民生活実態調査」報告書』2019 年 3 月

4. KU Leuven 研究会（2018 年 8 月 22 日）**テーマ：「生活実態の国際比較調査」の可能性**

ベルリン調査（2018 年 8 月 24･25 日）在ドイツ日本国大使館･在留邦人への聞き取り調査

静岡研究会（2019 年 3 月 23 日･24 日）**テーマ：「外国人を対象にした質問紙調査」**

講師：高畑幸（静岡県立大学 国際関係学部教授）・吉田崇（静岡大学 人文社会科学部准教授）

2019 (H31･R1) 年度 研究概要

1.「川崎･神戸･福岡市民生活実態調査」の実施

2019 度は、川崎市・神戸市・福岡市の 3 つの政令指定都市を対象に、「川崎･神戸･福岡市民生活実態調査」を実施した。2017 年度に実施した「愛媛・長崎県民生活実態調査」では、〈地方〉の実態把握がおこなわれたがそれとは生活行動や生活様式の異なる〈都市〉における実態把握を試みた。この調査は、住民の生活実態を把握できる基礎的調査となること、さらに他自治体や海外でも広く実施できる汎用性の高いものをめざした。調査項目は、〈住むこと〉〈働くこと〉〈家族〉といった、基本的な項目を重視した。2018 年度に実施した「欧州各国在留邦人聞き取り調査」の知見、および「愛媛長崎県民生活実態調査」の結果分析から明らかになってきた質問文や選択肢の改善点を取り入れた。分析方法についても、より汎用性の高い Excel を用いた分析手法（HAD）を取り入れた。

調査対象：川崎市、神戸市、福岡市の 18～80 歳の住民　各市 2,000 人　計 6,000 人

抽出方法：選挙人名簿からの無作為抽出法

調査方法：郵送法による調査票調査

回収数：(全体) 2,949／49.2%, (川﨑)970／48.5%,(神戸)1,045／52.3%, (福岡) 934／46.7%

この調査の実施は、2019 年度関西学院大学社会学部授業科目 研究演習ⅢⅡ・社会調査実習ⅢⅡ

の授業科目として、大谷ゼミ 4 年生(24 名)3 年生(16 名)が、調査作成・サンプリング・郵送調査実査・集計分析作業を実施した。調査票作成には、研究代表者・研究分担者・RA（松川尚子）ほか矢部拓也（徳島大学教授）・佐藤直子（川崎市総務企画局都市政策部企画調整課）が参加した。

研究成果：関西学院大学大谷研究室『政府統計調査の限界と生活実態調査の可能性―「川崎･神戸･福岡市民生活実態調査」報告書』2020 年 3 月

2. 20 政令指定都市が実施する社会調査の実態把握

2018 年度に引き続き、20 政令指定都市を対象に自治体が実施する社会調査の実態把握をおこなった。2019 度は、政令指定都市の社会調査実施状況や統計データの公開状況について把握した。(2018 年 11 月 川崎市役所・福岡市役所にて聞き取り調査・資料収集、2019 年 3 月 浜松市役所にて聞き取り調査、静岡市役所に電話調査、2019 年 4 月～各自治体のウェブサイト及び報告書より資料収集)

2020 (R2) 年度 研究概要

1.「愛媛･長崎県民生活実態調査」「川崎･神戸･福岡市民生活実態調査」の集計・分析

県民・市民の生活実態の分析を進めた。その分析過程においては、生活時間質問文や家計構造質問文など、生活実態を測定するために開発した質問文の有効性についても検証した。また、データの集計に際しては、効率的なデータクリーニングの手法を模索した。調査実施後から 2020 年度にかけて、各自治体からの分析依頼に対応するという取り組みをおこなった。

2. 空間情報の分析手法の開発および Google Map 等の活用方法の検討

生活実態調査では、最寄駅やバス停、郵便番号を質問することで空間情報を取得し、人々の生活行動の空間的把握や生活圏の把握を試みた。空間情報をどのように活用すれば分析が可能となるか、地図ソフト等を用いてどのように空間的把握が可能になるか、といった点について検討を進めた。

研究成果：関西学院大学大谷研究室『人々の暮らしを正確に測定する社会調査の構築―生活実態調査の開発と検証』2021 年 3 月

*2020 年度は、新型コロナ感染症のパンデミックで、研究会も調査票に基づくデータ解析作業も十分に実施できず、研究計画を 2021 年度に延期することを決定した。

この報告書は、「川崎･神戸･福岡市民生活実態調査」の実施過程の全貌を記録として残すことを目的に作成したものである。特に社会調査方法論の観点から資料的価値の高いと思われるデータと記録を中心に編集したものである。またこの報告書とは別に、調査作業全般に参加した大谷ゼミ 4 年生が、社会調査実習報告書としてまとめた上記の報告書『人々の暮らしを正確に測定する社会調査の構築―生活実態調査の開発と検証』も本書と同時に参照していただければ幸いである。

これらの報告書の編集だけでなく一連の調査事務全般にわたっては、基盤研究(A)のリサーチアシスタント(RA)をつとめた関西学院大学非常勤講師の松川尚子が重要な役割を果たしてくれた。彼女のこの調査研究への貢献は多大なものであった。

最後に、調査の実施に協力いただいた川崎市役所・神戸市役所・福岡市役所の職員の皆様方、12 頁にわたる量的に多くの質問にもかかわらず回答に協力してくださった川崎市民・神戸市民・福岡市民の皆様に対して、この場を借りてお礼を申し述べたいと思う。

2021 年　5 月 21 日
関西学院大学社会学部　教授
大　谷　信　介

調査困難状況における社会調査の運営に関する研究

――「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」の取り組み――

2016 年度～2020 年度科学研究費補助金［基盤研究(A)］
「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」（研究課題番号：16H02046）
研究成果中間報告書 (3)

目次

はじめに ……大谷信介

2019 年度研究会の記録

第 1 章　郵送調査の実査過程とその運営における工夫 ……松川尚子
1. 調査概要
2. サンプリング設計と抽出作業
3. 市民からの問い合わせへの対応
4. 回収状況
5. データ・クリーニング

第 2 章　郵送調査において多数の調査員を管理するための方法の検討 ……松川尚子
1. サンプリング関連資料
2. 問い合わせ対応関連資料
3. データ化関連資料

第 3 章　「市民生活実態調査」の集計・分析
1. 単純集計表（2021 年 2 月版）
2. 自治体からの分析依頼とその対応――川崎市・神戸市からの分析依頼――

巻末資料
・調査票等郵送物一式

2019 年度研究会の記録

第 1 回研究会

日時　：2019 年 5 月 11 日（土）14:00～17:00 第 1 回研究会、17:00～18:30 研究分担者会議
場所　：関西学院大学　上ヶ原キャンパス　第 1 教授研究館(本館)1F 会議室

出席者：講演者　浅川達人（明治学院大学社会学部・教授）
清水裕士（関西学院大学社会学部・教授）
松本　渉（関西大学総合情報学部・教授）山下永子（九州産業大学地域共創学部・准教授）
吉村治正（奈良大学社会学部・教授）　大谷信介（関西学院大学社会学部・教授）
稲葉昭英（慶應義塾大学文学部・教授）　木下栄二（桃山学院大学社会学部・教授）
小松　洋（松山大学人文学部・教授）　松川尚子（関西学院大学・非常勤講師）

議題：「HAD の地方自治体アンケート調査への活用可能性」
(1) 講演「HAD の公務員版の可能性」清水裕士（関西学院大学社会学部・教授）
(2) 講演「HAD の学生向けマニュアルと実務者利用の可能性について」
浅川達人（明治学院大学社会学部・教授）
(3) 質疑応答

第 2 回研究会

日時　：2019 年 5 月 25 日（土）10:00～12:00 研究分担者会議、13:00～18:00 第 2 回研究会
場所　：慶應義塾大学　三田キャンパス　研究室棟地下 1 階第 2 会議室

出席者：大谷信介（関西学院大学社会学部・教授）　稲葉昭英（慶應義塾大学文学部・教授）
後藤範章（日本大学文理学部・教授）　木下栄二（桃山学院大学社会学部・教授）
小松　洋（松山大学人文学部・教授）　矢部拓也（徳島大学・教授）
佐藤直子（川崎市総務企画局都市政策部企画調整課）　松川尚子（関西学院大学・非常勤講師）

議題　：研究分担者会議「調査会社の見積もり報告と 2019 年度研究計画」
第 2 回 研究会「「川崎・神戸市民生活実態調査」の実施に向けて」
(1) 質問文・調査票構成について
(2) サンプリング設計・調査方法について

第 3 回研究会（新型コロナウィルス感染症拡大のため中止）

第 1 回研究会

第 2 回研究会

第１章　郵送調査の実査過程とその運用における工夫

本章では、「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」の調査実施と、その運用に際して試みた工夫について整理する。大規模な郵送調査を実施する際の参考資料となるよう、資料的価値のあるものを中心に掲載した。第 1 節は、調査概要および本調査の運用の工夫を整理している。第 2 節では、サンプリング設計と各市における具体的な抽出作業についてまとめている。第 3 節では、市民から調査に対する問い合わせについて、具体的な対応方法と問い合わせ内容について整理している。第 4 節では、本調査の回収状況の詳細について整理する。

１．調査概要

目的

本調査は、科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」の一環として、市民の生活実態を把握できる社会調査の設計方法や調査手法の開発を目的として実施された。川崎市・神戸市・福岡市を調査対象地とし、都市における生活実態の把握が可能な調査方法について検証するものである。

調査主体

科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」
研究代表者：大谷信介(関西学院大学)
研究分担者：稲葉昭英(慶應義塾大学)、後藤範章(日本大学)、
木下栄二(桃山学院大学)、小松　洋(松山大学)

調査概要

調 査 名 称　「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」
調 査 対 象 地　神奈川県川崎市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市
調 査 対 象 者　18～80 歳の住民
サ ン プ ル 数　各市 2,000　計 6,000
ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ方法　選挙人名簿による無作為抽出法
調 査 方 法　郵送法による質問紙調査
調 査 期 間　2019 年 7 月～9 月

回　収　数	(全体)	回収数	2,949	回収率	49.2%	有効票2,871	無効票 78	有効回収率47.9%
	(川崎)	回収数	970	回収率	48.5%	有効票 943	無効票 27	有効回収率47.2%
	(神戸)	回収数	1,045	回収率	52.3%	有効票1,019	無効票 26	有効回収率51.0%
	(福岡)	回収数	934	回収率	46.7%	有効票 909	無効票 25	有効回収率45.4%

調査日程

2019 年 6～7 月　サンプリング
7/16(火)　依頼はがきの発送
7/21(日)　（参議院選挙）
7/22(月)　正規調査票の発送
8/09(金)　催促はがきの発送
8/07(水)　(正規調査票に記載された投函締切日)
8/20(火)　(催促はがきに記載された投函締切日)
8/26(月)　催促調査票の発送

調査運用の工夫

調査対象者 への接触	月日	基本運用	工夫
各機関から広報	7/05(金)	研究室ウェブサイト	■調査関連ページ・問い合わせ先を掲載
	7/10(水)	関学広報室から	■大阪科学・大学記者クラブをはじめ、西宮市など各自治体記者クラブ
		川﨑市役所から	■川﨑市記者クラブ ■川﨑市議会に資料配付
依頼はがき	7/16(火)	郵便はがき(料金別納)	■表面に宛名を直接印字 ■裏面に調査依頼を簡略に ■裏面に問い合わせ先を記載
問い合わせ受付	7/16(火)	・研究ラボの電話 ・研究ラボの Email	■7/16(火)から大学一斉休暇期間を除く 8/30(金)までの平日 10 時～15 時
正規調査票	7/22(月)	往信用封筒(料金別納)	■関西学院大学のロゴを入れる ■封筒の下方に問い合わせ先を記載
		返信用封筒(切手貼付)	■関西学院大学のロゴを入れる ■封筒の下方に問い合わせ先を記載 ■92 円切手を貼付
		調査票(A4 版 12p)	■2 色刷り(黒・青) ・p12 は意見記入欄に
		お願い文(A3)	■2 色刷り(黒・青) ■調査主体・科研費・調査目的・調査対象者の選定方法・サンプルナンバー・個人情報保護・結果公表方法・質問文の意図・問い合わせ先を記載
		謝礼(ボールペン)	■先渡し ■のし袋入り
(正規調査票に記載された投函締切日)	8/07(水)	調査票発送 2 週間後	
催促はがき	8/09(金)	はがき(料金別納)	■関西学院大学のロゴを入れる ■裏面に問い合わせ先を記載 ■締切延長の旨を記載
(催促はがきに記載された投函締切日)	8/20(火)	催促はがき発送約 10 日後	
催促調査票	8/26(月)	往信用封筒(料金別納)	■上に同じ
		返信用封筒	
		調査票(A4 版 12p)	■上に同じ（※回収締切日は記載せず）
		最後のお願い文(A4)	■2 色刷り(黒・青) ■回収率アップの必要性を記載
(問い合わせ受付終了)	8/30(金)		
(有効票集計締切)	11/15		

謝礼のボールペン（ZEBRA「blen」）

2. サンプリング設計と抽出作業

サンプリングの概要

調査対象者：2019 年 6 月 3 日時点で川崎市／神戸市／福岡市内居住の 18-80 歳の住民
（1938 年 6 月 4 日～2001 年 6 月 3 日生まれ）
計画標本数：各市 2,000　3 市計 6,000
抽 出 台 帳：選挙人名簿
抽 出 方 法：層化無作為抽出法

サンプリング設計

各区の 2019 年 6 月 3 日時点の選挙人名簿登録者数（川崎市 1,238,437 人／神戸市 1,265,009 人／福岡市 1,261,978 人）をもとに、計画標本数 2,000 を各区の有権者数人口比に基づいて比例配分させ、計画抽出標本を確定した。これは、各区の人口で層化した層化抽出法と同じである。比例配分しているため、各区の有権者数を計画抽出標本数で割った抽出間隔はすべて同じになる（川崎市 619／神戸市 633／福岡市 631）。これは、原理的には各市の有権者全体から抽出間隔（川崎市 619／神戸市 633／福岡市 631）の等間隔抽出を行ったことと同じになる。結果として、すべての区から一定数の標本を抽出することが可能になった。

各区内では、投票区別の有権者の累積人口を求め、抽出間隔以内の乱数を発生させ、該当者をスタート番号とし、以降は抽出間隔で該当標本を求めた。この抽出は選挙人名簿を用いて行った。

各区内のすべての有権者の抽出確率は等しいが、投票区には人口規模の差異が存在する。人口が大きな投票区は抽出される標本数も多くなり、逆に小さな投票区では抽出される標本数は少なくなる（場合によっては 1 人も抽出されないことがありうる）が、投票区によらずすべての有権者の抽出確率は等しい。なお、選挙人名簿は 81 歳以上の対象者も抽出される可能性があるため、その場合には投票区からランダムに別の対象者を抽出し、該当する年齢要件を満たしている場合に抽出標本とした（該当しない場合には、さらにその作業を繰り返した）。

名簿閲覧申請

各区の選挙管理員会に以下の申請書類を提出し、選挙人名簿閲覧の許可を得た。

- 選挙人名簿抄本閲覧申出書（調査研究）
- 個人閲覧事項取扱者に関する申出書
- 閲覧誓約書
- 参考資料として「研究概要書」「調査概要書」「調査票」を添付することもあった

各市区の担当課

川崎市	神戸市	福岡市
川崎市選挙管理委員会	神戸市選挙管理委員会	東区選挙管理委員会
川崎区選挙管理委員会	東灘区選挙管理委員会	博多区選挙管理委員会
幸区選挙管理委員会	灘区選挙管理委員会	中央区選挙管理委員会
中原区選挙管理委員会	中央区選挙管理委員会	南区選挙管理委員会
高津区選挙管理委員会	兵庫区選挙管理委員会	城南区選挙管理委員会
宮前区選挙管理委員会	北区選挙管理委員会	早良区選挙管理委員会
多摩区選挙管理委員会	長田区選挙管理委員会	西区選挙管理委員会
麻生区選挙管理委員会	須磨区選挙管理委員会	
	垂水区選挙管理委員会	
	西区選挙管理委員会	

抽出スケジュール

「愛媛･長崎県民生活実態調査」と同様、7 月に調査票発送を計画していた。ただし 7 月 21 日(日)に参議院選挙がおこなわれることになった。公示日から選挙終了後 5 日間は選挙人名簿の閲覧ができないという規定があるため、7 月 4 日～7 月 26 日は閲覧が不可能となった。7 月 3 日までに抽出作業を終えるようにスケジュールを組んだ。

表 2-1　川崎市のサンプリング設計

行政区	有権者数	総数に占める比率 a	標本数の配分 (a×2000)	計画標本数	有権者数÷計画標本数
川崎区	188,235	0.15199401	303.988	304	619.2185
幸区	137,749	0.11122810	222.456	222	619.2185
中原区	210,533	0.16999896	339.998	340	619.2185
高津区	188,644	0.15232426	304.649	305	619.2185
宮前区	189,444	0.15297024	305.940	306	619.2185
多摩区	177,382	0.14323054	286.461	286	619.2185
麻生区	146,450	0.11825390	236.508	237	619.2185
計	1,238,437	1	2,000	2,000	619.2185

抽出間隔：619

表 2-2　神戸市のサンプリング設計

行政区	有権者数	総数に占める比率 a	標本数の配分 (a×2000)	計画標本数	有権者数÷計画標本数
東灘区	174,470	0.137919967	275.840	276	632.5045
灘区	108,191	0.085525874	171.052	171	632.5045
中央区	108,571	0.085826267	171.653	171	632.5045
兵庫区	90,291	0.071375777	142.752	143	632.5045
北区	182,028	0.143894628	287.789	288	632.5045
長田区	80,131	0.063344213	126.688	127	632.5045
須磨区	135,669	0.107247458	214.495	214	632.5045
垂水区	183,929	0.145397385	290.795	291	632.5045
西区	201,729	0.159468431	318.937	319	632.5045
計	1,265,009	1	2,000	2,000	632.5045

抽出間隔：633

表 2-3　福岡市のサンプリング設計

行政区	有権者数	総数に占める比率 (a)	標本数の配分 (a×2000)	計画標本数	有権者数÷計画標本数
東区	248,100	0.19660	393.192	393	630.989
博多区	192,539	0.15257	305.138	305	630.989
中央区	159,744	0.12658	253.164	253	630.989
南区	213,571	0.16924	338.470	339	630.989
城南区	103,562	0.08206	164.126	164	630.989
早良区	176,473	0.13984	279.677	280	630.989
西区	167,989	0.13312	266.231	266	630.989
計	1,261,978	1	2,000	2,000	630.989

抽出間隔：631

サンプリング日程

川崎市

閲覧日	作業時間	区名	抽出数	閲覧人数	閲覧者
6/25(火)	9:00～ 17:00	川崎区	304	3	羽間、牧野、光原
	10:25～ 15:20	高津区	305	3	井戸、金井、吉田
6/26(水)	9:00～ 13:00	麻生区	237	3	月見、山野
	9:30～ 14:30	中原区	340	3	井戸、東郷、宮下、吉冨
6/27(木)	10:00～ 12:15	多摩区	286	3	北村、辻、辻村
6/28(金)	10:00～ 11:45	幸区	222	2	北村、辻
	11:00～ 16:30	宮前区	306	3	谷口、日高、藤井千
7/29(月)	9:20～ 9:30	麻生区	※	1	羽間
8/01(木)	9:00～ 10:30	高津区	※	1	谷口
	13:00～ 13:15	中原区	※	1	谷口
	15:00～ 15:30	宮前区	※	1	谷口

神戸市

閲覧日	作業時間	区名	抽出数	閲覧人数	閲覧者
6/12(水)	13:00～ 17:00	灘区	171	4	高橋秀、月見、藤原、牧野
6/13(木)	13:00～ 17:30	中央区	172	3	桑山、坊野、安若
6/14(金)	9:00～ 16:10	西区	319	4	荒川、谷口、辻、辻村
6/17(月)	9:00～ 17:00	須磨区	214	2	井戸、高橋陽
	9:00～ 13:20	長田区	127	4	鈴木、西田、日高、早瀬
6/18(火)	9:00～ 16:10	東灘区	276	3	久木元、梨子田、山野
	9:00～ 14:00	兵庫区	143	2	庄田、高橋秀
6/20(木)	9:00～ 17:00	垂水区	291	3	加藤、高橋陽、高橋秀
6/21(金)	13:00～	北区	288	5	越智、北村、中川、藤井遥、吉岡
	13:45～ 16:00	兵庫区	－	2	庄田、牧野
6/25(火)	9:00～ 14:30	須磨区	－	3	久木元、中川、早瀬
7/02(火)	13:00～ 14:00	中央区	－	1	越智
	13:00～	北区	－	1	吉田
8/01(木)	9:00～ 9:45	東灘区	※	1	高橋秀
	10:30～ 11:00	兵庫区	※	1	高橋秀
	13:15～ 13:50	須磨区	※	1	高橋秀

福岡市

閲覧日	作業時間	区名	抽出数	閲覧人数	閲覧者
6/19(水)	9:00～ 17:00	南区	339	3	久木元、桑山、松原
	9:00～ 13:00	城南区	164	2	安若、吉岡
	9:00～ 16:30	中央区	253	2	辻村、坊野
6/20(木)	9:00～ 16:00	早良区	280	3	久木元、桑山、松原
	11:00～ 18:00	博多区	305	3	辻村、坊野、安若
6/24(月)	9:00～	東区	393	4	辻、辻村、中川、藤井千
6/25(火)	8:45～	西区	266	3	辻、辻村、藤井千
7/02(火)	9:00～ 12:00	南区	－	1	日高
	12:30～ 14:00	早良区	－	1	日高
7/03(水)	9:00～ 10:00	中央区	－	1	高橋秀
7/29(月)	9:15～ 10:00	城南区	※	1	高橋秀
	10:45～ 11:30	博多区	※	1	高橋秀
	13:15～ 13:45	東区	※	1	高橋秀
8/02(金)	10:00～ 10:10	西区	※	1	松川

表中の－は、予定時間内に抽出作業が終わらず、再度訪問し残りの標本を抽出した区である。さらに※は、公示日までに抽出作業が終わらず、7 月 27 日以降に残りの抽出をおこなった区である（川崎市 25 名・神戸市 16 名・福岡市 11 名、計 52 名）。公示日までに抽出したサンプルは 7 月 22 日、選挙終了後に抽出したサンプルは 8 月 5 日に調査票を発送した。後日発送分については、発送遅れについての説明書を調査票一式に加えた。

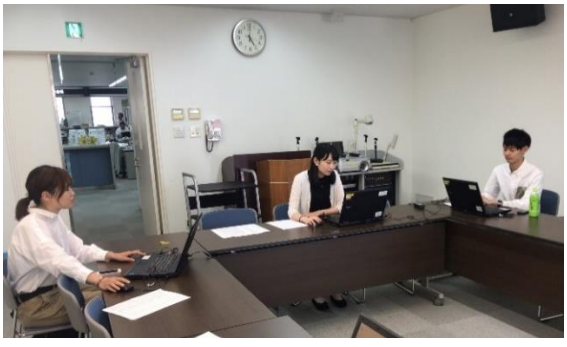
閲覧台帳（選挙人名簿）の仕様

市区名	閲覧媒体	名簿並び順	1頁当り記載人数
川崎市川崎区	台帳	住所順	
幸区	台帳	住所順	12
中原区	台帳	住所順	36
高津区	台帳	住所順	30,36
宮前区	台帳	住所順	12,36
多摩区	台帳	住所順	12
麻生区	台帳	住所順	12
神戸市東灘区	PC	名前順、住所順	
灘区	PC		
中央区	PC	住所順	
兵庫区	PC	住所順	
北区	PC	名前順	
長田区	PC	名前順	
須磨区	PC	住所順＞名前順	
垂水区	PC	住所順	
西区	PC		
福岡市東区	台帳		
博多区	台帳	住所順	40
中央区	台帳	住所順	40
南区	台帳	住所順	40
城南区	台帳	住所順	40
早良区	台帳	住所順	40
西区	台帳	住所順	40

抽出作業の様子

川崎市多摩区

福岡市博多区



神戸市灘区

神戸市西区

※サンプリング関連資料については第2章に掲載

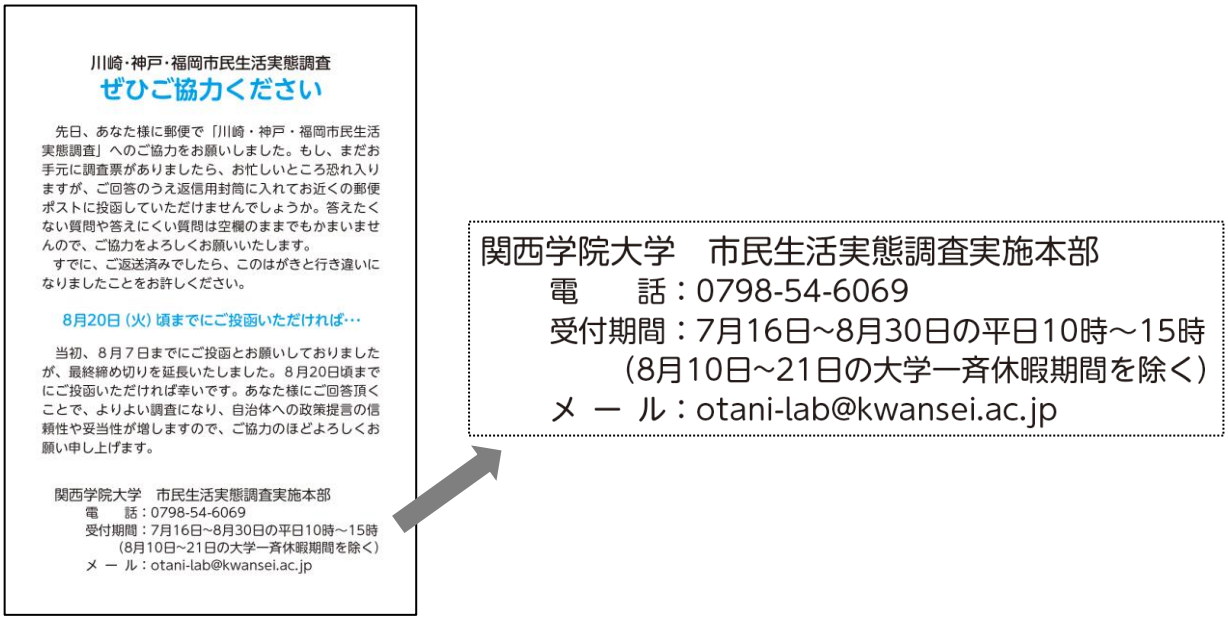
3. 市民からの問い合わせへの対応

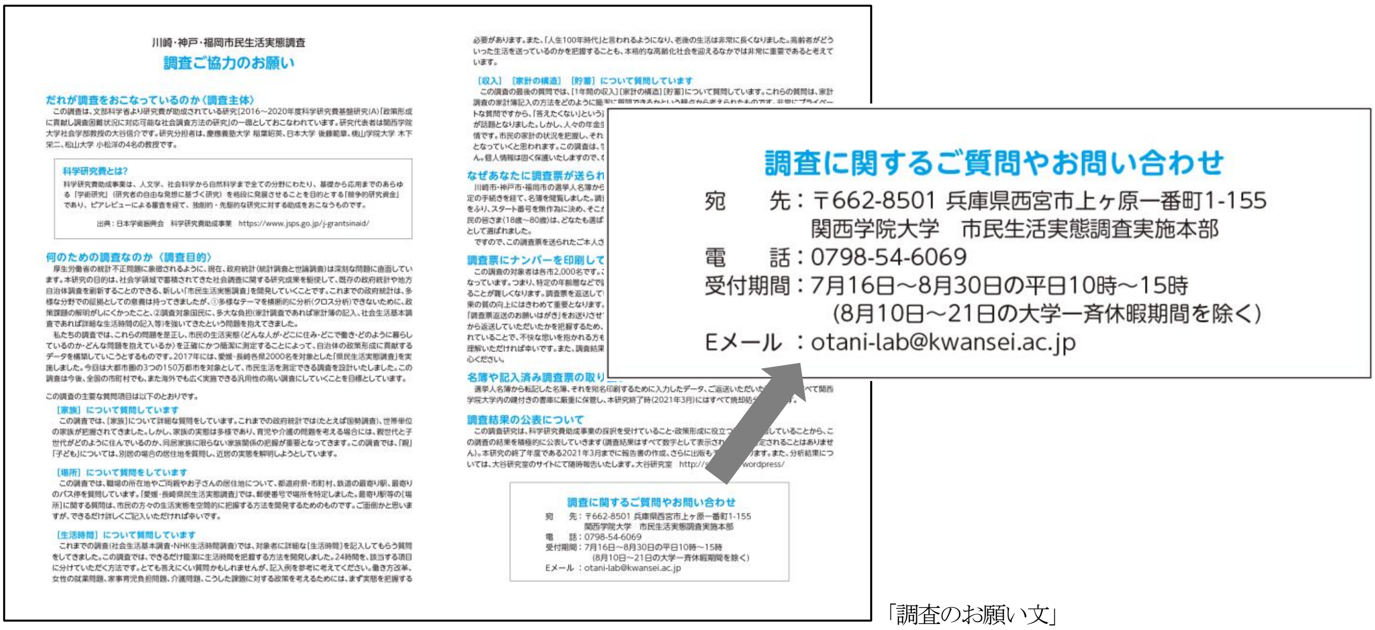
調査期間中には、調査対象者や市民からの問い合わせに対応することとした。この取り組みは、「愛媛・長崎県民生活実態調査」でも取り入れたものである。関西学院大学社会学部大谷研究室に調査本部を設置し、学部ゼミ生・研究員が担当した。受付方法は、関西学院大学内の研究ラボの固定電話とメールである。受付期間は、依頼はがき発送日の 7 月 16 日から催促調査票を発送して 1 週間後の 8 月 30 日まで、受付時間は平日 10 時から 15 時とした。こうした問い合わせの案内を「依頼はがき」「調査のお願い文」「催促はがき」「催促お願い文」に記し、研究室ウェブサイトにも掲載した。

本節では、実際にどのくらいの問い合わせがあったのか、どのような内容だったのかについて整理する。なお、問い合わせ対応のために作成したマニュアルや問い合わせ対応記録表は第 2 章に掲載している。

「依頼はがき」

「催促はがき」





川崎・神戸・福岡市民生活実態調査

調査ご協力のお願い

だれが調査をおこなっているのか〈調査主体〉

この調査は、文部科学省より研究費が助成されている研究［2016～2020年度科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」の一環としておこなわれています。研究代表者は関西学院大学社会学部教授の大谷信介です。研究分担者は、慶應義塾大学 稲葉昭英、日本大学 後藤範章、桃山学院大学 木下栄二、松山大学 小松洋の4名の教授です。

科学研究費とは?

科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成をおこなうものです。

出典：日本学術振興会 科学研究費助成事業 https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/

何のための調査なのか〈調査目的〉

厚生労働省の統計不正問題に象徴されるように、現在、政府統計（統計調査と世論調査）は深刻な問題に直面しています。本研究の目的は、社会学領域で蓄積されてきた社会調査に関する研究成果を駆使して、既存の政府統計や地方自治体調査を刷新することのできる、新しい「市民生活実態調査」を開発していくことです。これまでの政府統計は、多様な分野での証拠としての意義は持ってきましたが、①多様なテーマを横断的に分析(クロス分析)できないために、政策課題の解明がしにくかったこと、②調査対象国民に、多大な負担(家計調査であれば家計簿の記入、社会生活基本調査であれば詳細な生活時間の記入等)を強いてきたという問題を抱えてきました。

私たちの調査では、これらの問題を是正し、市民の生活実態〈どんな人が・どこに住み・どこで働き・どのように暮らしているのか・どんな問題を抱えているか〉を正確にかつ簡潔に測定することによって、自治体の政策形成に貢献するデータを構築していこうとするものです。2017年には、愛媛・長崎各県2000名を対象とした「県民生活実態調査」を実施しました。今回は大都市圏の3つの150万都市を対象として、市民生活を測定できる調査を設計いたしました。この調査は今後、全国の市町村でも、また海外でも広く実施できる汎用性の高い調査にしていくことを目標としています。

この調査の主要な質問項目は以下のとおりです。

［家族］について質問しています

この調査では、［家族］について詳細な質問をしています。これまでの政府統計では(たとえば国勢調査)、世帯単位の家族が把握されてきました。しかし、家族の実態は多様であり、育児や介護の問題を考える場合には、親世代と子世代がどのように住んでいるのか、同居家族に限らない家族関係の把握が重要となってきます。この調査では、「親」「子ども」については、別居の場合の居住地を質問し、近居の実態を解明しようとしています。

［場所］について質問をしています

この調査では、職場の所在地やご両親やお子さんの居住地について、都道府県・市町村、鉄道の最寄り駅、最寄りのバス停を質問しています。「愛媛・長崎県民生活実態調査」では、郵便番号で場所を特定しました。最寄り駅等の［場所］に関する質問は、市民の方々の生活実態を空間的に把握する方法を開発するためのものです。ご面倒かと思いますが、できるだけ詳しくご記入いただければ幸いです。

［生活時間］について質問しています

これまでの調査(社会生活基本調査・NHK生活時間調査)では、対象者に詳細な［生活時間］を記入してもらう質問をしてきました。この調査では、できるだけ簡潔に生活時間を把握する方法を開発しました。24時間を、該当する項目に分けていただく方法です。とても答えにくい質問かもしれませんが、記入例を参考に考えてください。働き方改革、女性の就業問題、家事育児負担問題、介護問題、こうした課題に対する政策を考えるためには、まず実態を把握する必要があります。また、「人生100年時代」と言われるようになり、老後の生活は非常に長くなりました。高齢者がどういった生活を送っているのかを把握することも、本格的な高齢化社会を迎えるなかでは非常に重要であると考えています。

［収入］［家計の構造］［貯蓄］について質問しています

この調査の最後の質問では、［1年間の収入］［家計の構造］［貯蓄］について質問しています。これらの質問は、家計調査の家計簿記入の方法をどのように簡潔に質問できるかという観点から考えられたものです。非常にプライベートな質問ですから、「答えたくない」という…

なぜあなたに調査票が送られ…

調査票にナンバーを印刷して…

名簿や記入済み調査票の取り…

調査結果の公表について

調査に関するご質問やお問い合わせ

宛　　先：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学　市民生活実態調査実施本部

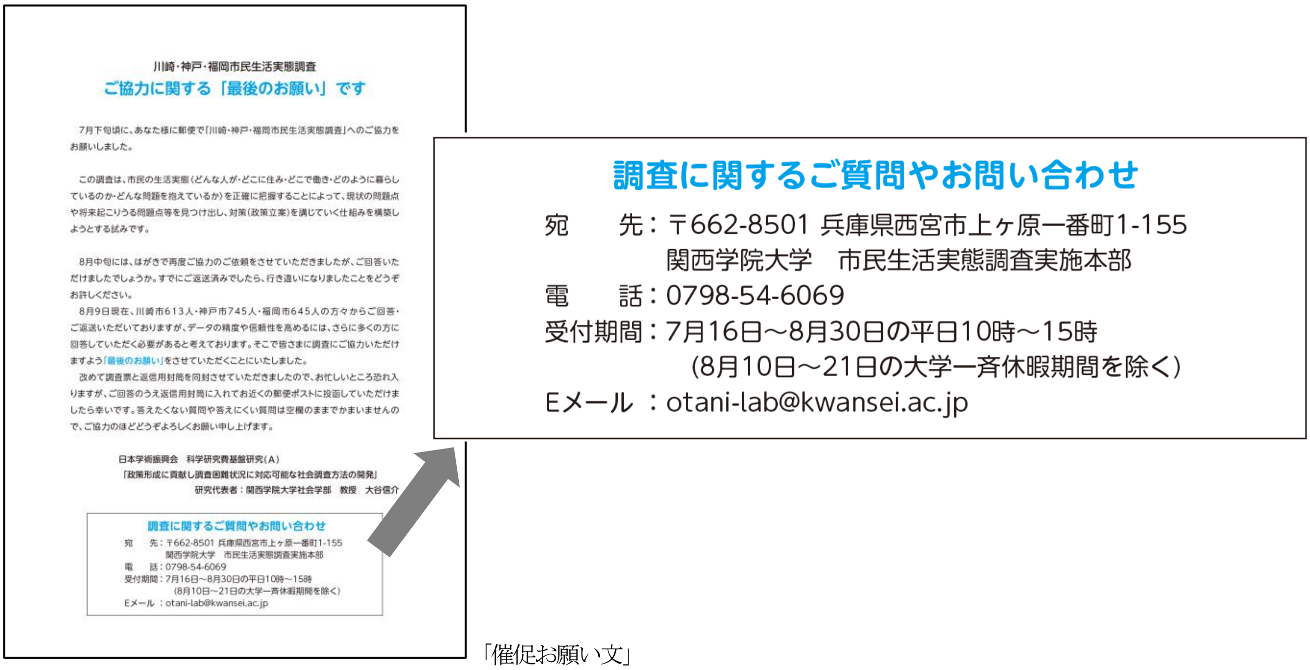
電　　話：0798-54-6069

受付期間：7月16日～8月30日の平日10時～15時

（8月10日～21日の大学一斉休暇期間を除く）

Eメール　：otani-lab@kwansei.ac.jp

「調査のお願い文」



川崎・神戸・福岡市民生活実態調査

ご協力に関する「最後のお願い」です

7月下旬頃に、あなた様に郵便で「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」へのご協力をお願いしました。

この調査は、市民の生活実態〈どんな人が・どこに住み・どこで働き・どのように暮らしているのか・どんな問題を抱えているか〉を正確に把握することによって、現状の問題点や将来起こりうる問題点等を見つけ出し、対策(政策立案)を講じていく仕組みを構築しようとする試みです。

8月中旬には、はがきで再度ご協力のご依頼をさせていただきましたが、ご回答いただけましたでしょうか。すでにご返送済みでしたら、行き違いになりましたことをどうぞお許しください。

8月9日現在、川崎市613人・神戸市745人・福岡市645人の方々からご回答・ご返送いただいておりますが、データの精度や信頼性を高めるには、さらに多くの方に回答していただく必要があると考えております。そこで皆さまに調査にご協力いただけますよう「最後のお願い」をさせていただくことにいたしました。

改めて調査票と返信用封筒を同封させていただきましたので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答のうえ返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函していただけましたら幸いです。答えたくない質問や答えにくい質問は空欄のままでかまいませんので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本学術振興会　科学研究費基盤研究(A)

「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の開発」

研究代表者：関西学院大学社会学部　教授　大谷信介

調査に関するご質問やお問い合わせ

宛　　先：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学　市民生活実態調査実施本部

電　　話：0798-54-6069

受付期間：7月16日～8月30日の平日10時～15時

（8月10日～21日の大学一斉休暇期間を除く）

Eメール　：otani-lab@kwansei.ac.jp

「催促お願い文」

問い合わせ件数

問い合わせ件数は、電話 102 件、メール 11 件であった。表 3-1 は、市別の問い合わせ件数である。

また、電話 102 件について問い合わせ者の属性を整理すると、対象者本人 61 件・家族 23 件・その他 15 件・不明 3 件であった。性別は、男性 38 件・女性 62 件・不明 2 件であった（ただし、これらはあくまでも問い合わせ担当者がやり取りのなかで判断したものである)。

表 3-1　問い合わせ件数

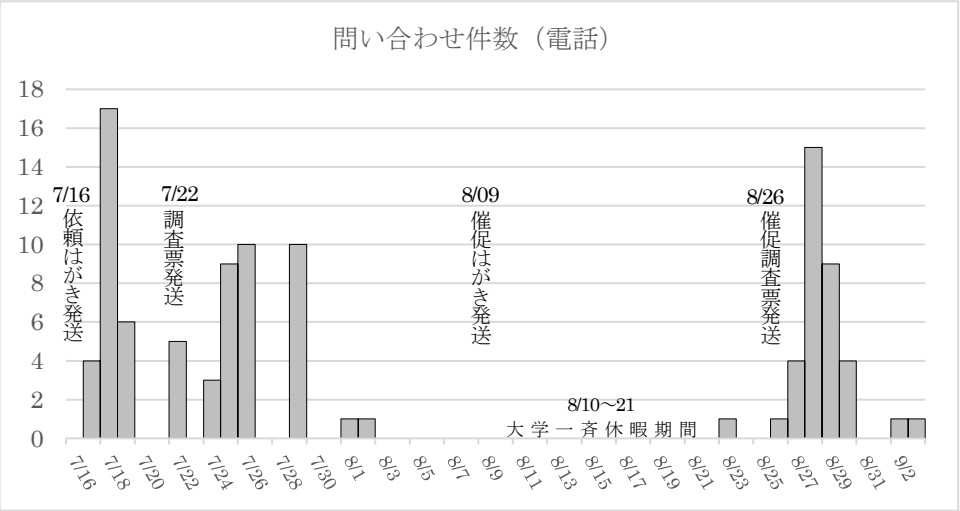
	川崎市	神戸市	福岡市	市不明	計
電話	14	28	11	49	102
メール	3	3	3	2	11

問い合わせの時期

図 3-2 は、電話での問い合わせについて、日別の問い合わせ件数をグラフに表したものである。電話での問い合わせの場合、最も多かったのは 7/18(木)で 17 件である。7/16(火)に依頼はがきを発送したので、それが対象者に到着した直後であろう。翌日 7/19(金)から翌週は 1 日数件あった。その後 7/22(月)に調査票を発送すると、7/25(木)9 件、7/26(金)10 件、7/29(月)10 件の問合せがあった。8/9(金)に催促はがきを発送したが、8/10(土)から大学一斉休暇期間のため受付業務ができず、8/21(水)まで問い合わせ対応はしていない。7/18 に続いて 2 番目に問い合わせが多かったのは、8/28(水)で 15 件である。これは 8/26(月)に発送した催促調査票が到着した直後であり、8/29(木)9 件、8/30(金)4 件と続く。

メールでの問い合わせは、依頼はがきや調査票を発送した 7 月中の問い合わせが、7/18(木)2 件、7/20・7/24・7/26 が各 1 件と計 5 件であった。その後は催促はがき発送から催促調査票発送にかけて、8/10・8/13・8/15・8/17・8/20・8/30 の 6 件であった。

図 3-2　日別の問い合わせ件数（電話）



問い合わせ内容

問い合わせの内容をそのやり取りにおける主な内容で分類すると、「辞退・拒否」、「調査主体や管理体制」、「名簿閲覧･対象者選定」、「回答者不在等」、「調査運営」、「質問文」、「調査目的や意味」、「その他」となった。表 3-3 は、電話・メールそれぞれの問い合わせ内容ごとの件数を整理したものである。ただし、1 件の問い合わせには複数の内容が含まれていることもある。ここでの件数は、主要な問い合わせ内容によって 1 件 1 内容として集計した。たとえば「質問した後に調査を辞退」「意見を述べたうえで回答拒否」などは「辞退･拒否」に分類した。

電話での問い合わせの場合、最も多かったのは「辞退・拒否」54 件、続いて「調査主体や管理体制」12 件、「名簿閲覧･対象者選定」10 件、「回答者不在等」9 件、「調査運営」9 件、「質問文」4 件、「調査目的や意味」1 件、「その他」3 件であった。メールでの問い合わせは、「調査運営」6 件、「辞退･拒否」4 件、「回答者不在等」1 件であった。

表 3-3　問い合わせ内容（件数）

	辞退 ･拒否	調査主体や 管理体制	名簿閲覧･ 対象者選定	回答者 不在等	調査運営	質問文	調査目的 や意味	その他	計
電話	54	12	10	9	9	4	1	3	102
メール	4	0	0	1	6	0	0	0	11

電話での問い合わせ内容

電話での問い合わせについて、その問い合わせ内容ごとに概要を整理した。表 3-4 は具体的な問い合わせ内容を整理したものである。

➢辞退･拒否

「辞退してもよいか」「回答しなければならないのか」といった質問、調査辞退や拒否を伝える連絡、調査票など郵送物の発送差止めの要望など、調査辞退や拒否に関する問い合わせである。調査辞退・拒否の理由としては、①体調・障害・高齢のため、②多忙のため、③個人情報の不安のため、というものであった。

➢調査主体や管理体制

調査実施者に対する質問や確認の問い合わせである。架空請求や振り込み詐欺等の影響からか、調査主体が怪しい団体なのではないかと心配されているケースが多かった。また、個人情報をどのように使われるのか、漏洩しないのかといった問い合わせもあった。

➢名簿閲覧・対象者選定

名簿閲覧の方法や手続き、対象者選定の方法などに関する問い合わせである。なぜ住所や氏名を知っているのか、なぜ自分が選ばれたのかについて、不安を抱いている場合が多かった。

➢対象者不在等

対象者本人が転居等のため不在だという連絡である。また、「生活保護受給者だが調査対象者になるのか」という問い合わせも数件あった。

➢調査運営

住所や氏名の表記間違いの連絡、催促はがきや催促調査票への意見･苦情、発送差止めミスなど対応の不十分さに対する意見･苦情である。

➢質問文

各質問文の回答方法について。

➢調査目的や意味

本調査や本研究の目的について。

➢その他

市民から連絡や相談を受けた警察署や消費者センターからの連絡。

表 3-4　問い合わせ内容の詳細（電話）

問い合わせ内容	詳細
辞退･拒否 (54)	「体調が悪いので答えられない」「知的障害で回答できないと思う」「本人が高齢者で文字が書けない状態です。どうしたらいいですか」「代理で答えてよいか」 「忙しいのにやらなければならないのか。義務なのか」「絶対に答えないといけないのか。いきなり送られてきて正直いい気はしない」 「個人情報に関する質問が多すぎて答えられない」「途中まで回答したが不安になって、周りもやめておけと言うので送らないでいたが、また届いたので、申し訳ないと思って。だが、家を不在にしている時間が分かってしまうのが不安で」 「もう調査票やはがきを送ってこないでほしい」「断りたい。発送を差止めてほしい」
調査主体や管理体制 (12)	「あやしい所からの郵送なのかと思った」「本当にちゃんとした調査なのか。詐欺ではないのか」 「本当に関西学院大学なのか」「大谷信介という教授は本当に在籍するのか」「突然調査票が送られてきたので驚いたので連絡した」 「個人情報の漏洩が心配。あやしい勧誘ではないのか」
名簿閲覧･対象者選定 (10)	「どうやって住所・氏名を知ったのか」「なぜ選挙人名簿を見れるのか」「なぜ名前を知っているのか。なぜ勝手に見せるのか。私は許可していない。市のほうの担当課を教えてほしい」 「対象者がどのように選出されているのか」「どうして私が選ばれたのか」
対象者不在	「本人は今記載されている住所には住んでおらず本人は回答できないがどうすればよいか」

等 (9)	「3 月に川崎から引っ越してきてはがきが転送されてきたが回答していいか」 「生活保護を受けているが調査の対象になるのか」
調査運営 (9)	「住所（部屋番号）が違う。どの段階で間違っているのか知りたい」「氏名が間違っている。何を閲覧したのか。それが間違っているのか」 「調査票をすでに送付したのに、また届いたのだけど破棄していいですか」 「前回お断りの電話をしたのにまた送られてきた」「具合悪くて回答できないのに、催促された」
質問文 (4)	「記名は必要ですか」「車しか乗ってないんやけど、電車のとこは書かなくていいか」「妻はおらんけど配偶者は書かなくていいか」「Q22 毎日違うところに通勤しているがどうしたらよいか」 「Q48～50 娘の収入・貯蓄は知らないし、聞けない。どうしたらいいか」
調査目的や意味(1)	「調査の意味は」「調査結果は何に生かされるのか」「プライバシーのことは聞かない方がいい」
その他 (3)	・有馬警察署より（住民が警察署にあやしいと連絡されたとのこと） ・川崎市消費者センターより（市民から「答えないといけないのか。何回も送られてくるが、もう送らないでほしい」と連絡があったとのこと）

対応した担当者による印象・感想（問い合わせ対応記録より抜粋）

「純粋に疑問を持たれていた。すぐに理解していただいた」「調査に対して非常によく考えていてくださっていた」
「関学をご存じだったので怪しんでいる感じはなかったです。優しい方でした」「あたたかい。丁寧」「おだやかな印象」
「怪しんでいる感じはありませんでしたが、個人情報が多くて若干嫌そうに感じました。でも物腰柔らかい方でした」
「個人情報が多すぎると何度も言われて嫌そうな感じが出ていましたが、丁寧に説明し、納得していただけました」
「こちらに非があったにも関わらず、親切に話してくださいました」
「丁寧。申し訳なさそうでした」「丁寧な対応で、回答できなくて申し訳ないと言っていた」
「戸惑っていらっしゃるようでしたが丁寧な方でした」「ひどく不安そう。最後は安心された」
「急ぎ口調だった。すぐ切られた」「とても怒っていた」「ご立腹」「怒っている（どちらかといえば市や区に対して）」
「かなり怒っておられました。調査票の破棄などを促すことなく電話を切られてしまったのでその点の対応できていません」

メールでの問い合わせ内容

表 3-5 は、メールでの問い合わせについて、その内容ごとに詳細（メールの一部）を整理したものである。

表 3-5　問い合わせ内容の詳細（メール）

問い合わせ内容	詳細（メールより一部を抜粋）
辞退･拒否 (4)	・ハガキの内容の実態調査ですが申し訳ありませんが辞退させていただきます。よろしくお願いします。（住所・氏名） ・無作為で選ばれたそうですが、私は辞退させていただきます。（住所・氏名） ・この度、調査依頼が来ておりました○○市の（氏名）の家族のものです。（中略）申し訳ありませんが御校の調査に協力が難しい状況です。どうか別の方に回して頂けたらと存じます。可能であれば是非○○市民にお願いします。
対象者不在等(1)	・○○市の（氏名）宛の調査依頼の件で葉書を頂きましたが、本人が現在海外滞在中のため回答して協力することができません。申し訳ございません。宜しくお願い致します。父親
調査運営 (6)	・投函のお願いハガキが来ましたが○日に出しました。届いていなかったら協力したのにかえって怖いです。 ・市民生活実態調査ですが、すでに○月○日頃に返送いたしました。届いていませんか？ ・本日、調査票の投函依頼のハガキを受領しましたが、調査票そのものを受け取っておりません。受け取った記憶もないので、紛失ではないと思うのですが･･･。また、宛名が間違っており、「○○」となっております。私は「○○」です。（中略）調査票は封書で郵送されたんでしょうか？それなら宛名が間違っていても届くとは思うのですが。○○市（氏名）

4. 回収状況

回収状況の概要

表 4-1 は、本調査における抽出数、回収数および回収率、有効票数および有効回収率、無効票数を整理したものである。有効回収率は、川崎市 47.2%、神戸市 51.0%、福岡市 45.4%、全体としては 47.9%であった。調査実施本部をおいた関西学院大学が兵庫県内の大学だということが神戸市の回収率の高さに結びついたのかもしれない。

表 4-1　回収状況

	抽出数	回収数	回収率	有効票	無効票	有効回収率
川崎市	2,000	970	48.5%	943	27	47.2%
神戸市	2,000	1,045	52.3%	1,019	26	51.0%
福岡市	2,000	934	46.7%	909	25	45.4%
全体	6,000	2,949	49.2%	2,871	78	47.9%

図 4-2 は 3 市の累計回収数を、図 4-3～4-5 は、各市の日別回収数・累計回収数をグラフに表したものである（具体的な数値については表 4-13 に掲載）。

図 4-2　3 市の累積回収数の推移

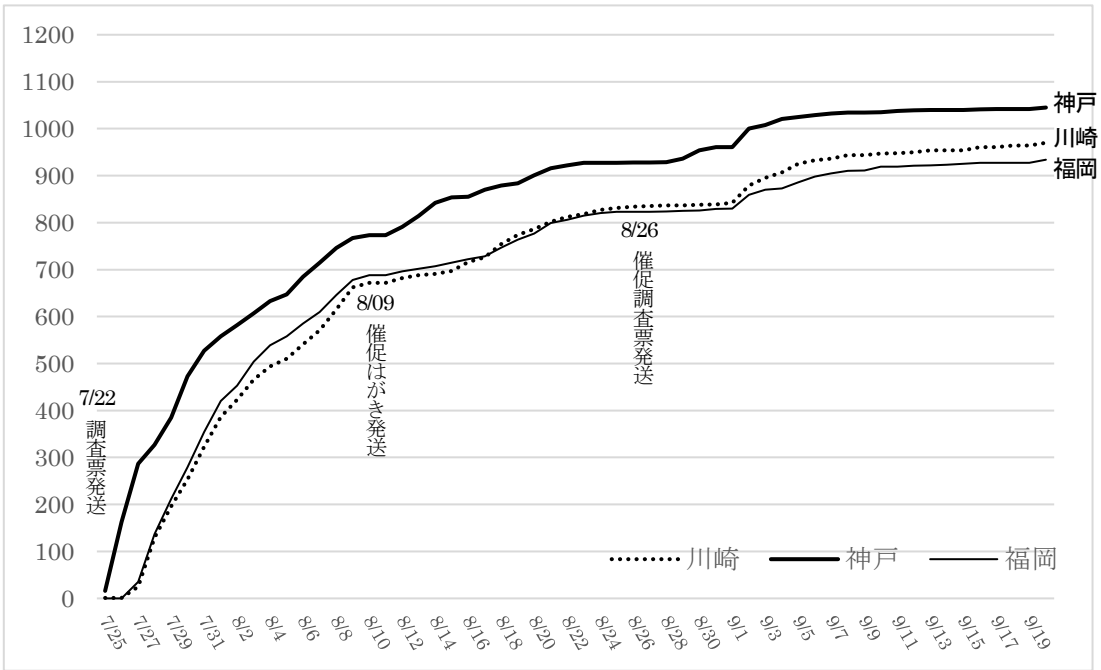


図 4-3　川崎市の日別回収数と累積回収数

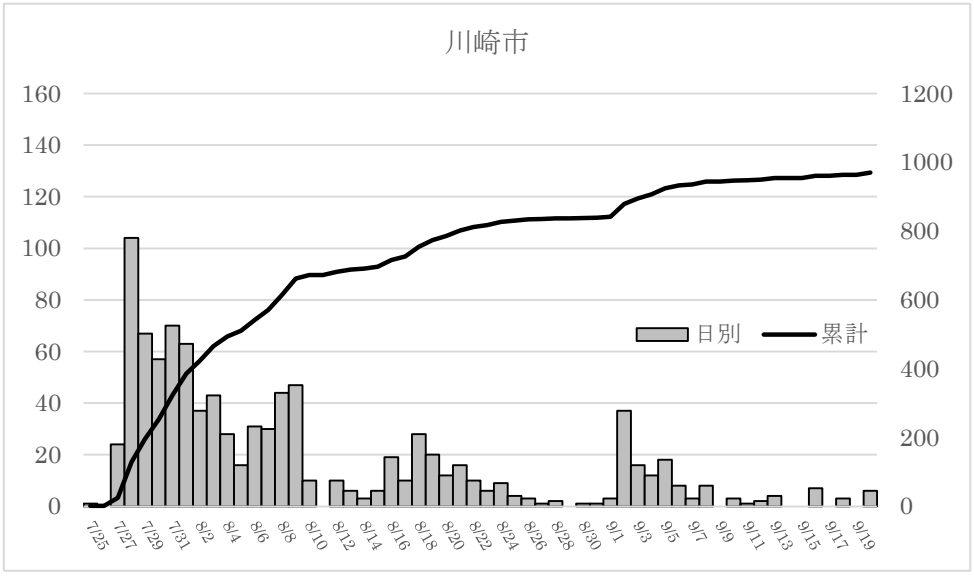


図 4-4　神戸市の日別回収数と累積回収数

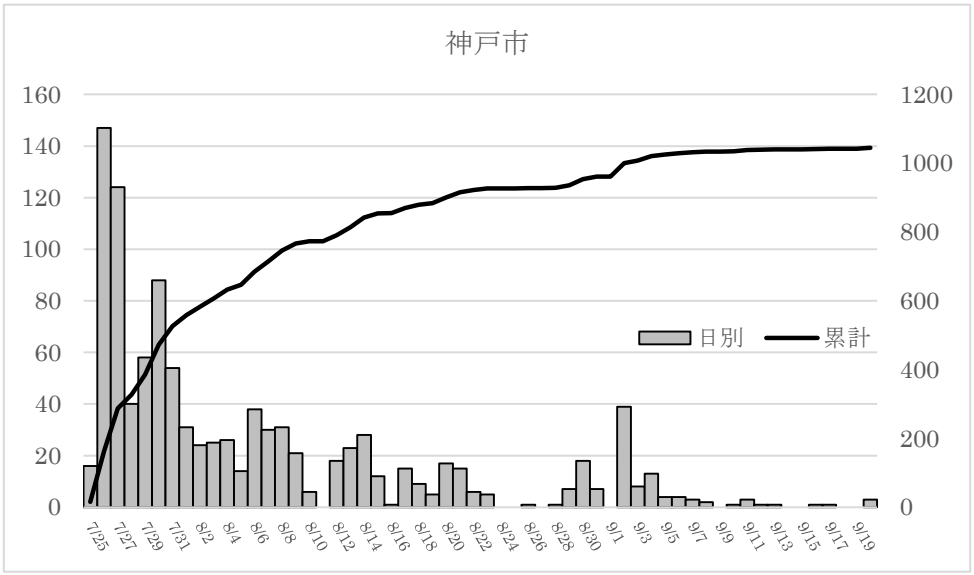
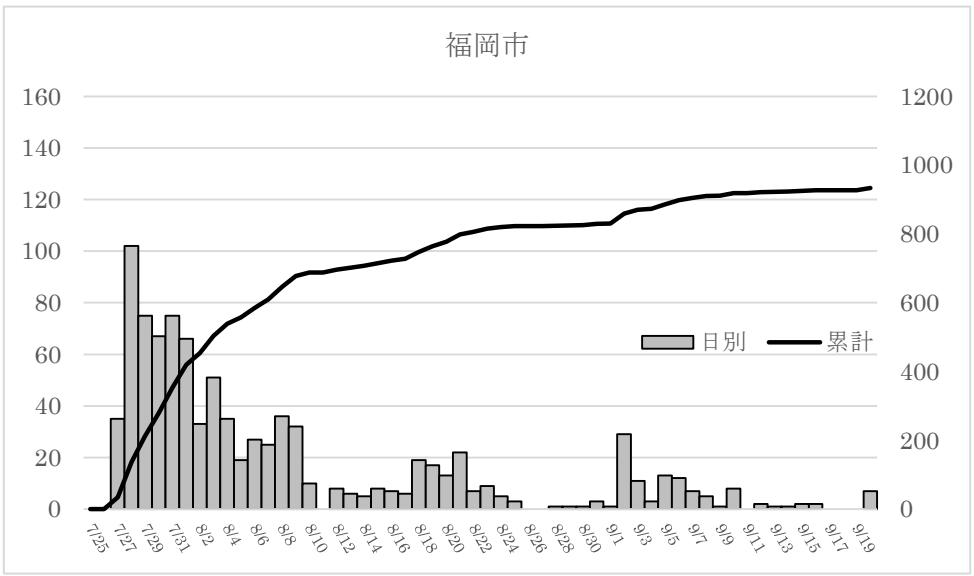


図 4-5　福岡市の日別回収数と累積回収数



属性別の回収率

選挙人名簿からサンプリングをおこなう際、氏名・住所・性別・生年月日の４つの情報を転記した。郵送作業を効率的におこなうために、それらの情報はサンプリング名簿としてデータ化している。このサンプリング名簿データを用いて、属性別の回収状況の違いについて分析をおこなう（ただし、川崎市の回収標本のうち 2 は整理番号が切り取られていたためサンプリング名簿との照合ができず、よって性別・年齢・居住区は「不明」とした）。

表 4-6 は、男女別の回収状況を整理したものである。全体の回収率は、男性 43.8%、女性 51.6%である。3 市に共通して、男性より女性の回収率のほうが高い。女性の回収率は、神戸市 54.0%、川崎市 52.2%、福岡市 48.5%である。男性の回収率は、神戸市 47.4%、福岡市 42.1%、川崎市 42.0%である。

次に表 4-7 は、年代別の回収状況を整理したものである。全体の回収率は、20 代以下（18～29 歳）34.6%、30 代 39.7%、40 代 46.1%、50 代 54.1%、60 代 58.6%、70 代以上 55.6%である。若年層ほど回収率が低く、高年層ほど回収率が高いといえよう。この傾向は、ほぼ 3 市に共通している。

各市の区別の回収状況は表 4-8 のとおりである。

表 4-6　男女別の回収状況

		抽出数	有効回収数	有効回収率
川崎市	男性	1,012	425	42.0%
	女性	988	516	52.2%
	性不明	－	2	－
	計	2,000	943	47.2%
神戸市	男性	926	439	47.4%
	女性	1,074	580	54.0%
	計	2,000	1,019	51.0%
福岡市	男性	951	400	42.1%
	女性	1,049	509	48.5%
	計	2,000	909	45.5%
全体	男性	2,889	1,264	43.8%
	女性	3,111	1,605	51.6%
	性不明	－	2	－
	計	6,000	2,871	47.9%

表 4-7　年代別の回収状況

		抽出数	有効回収数	有効回収率
川崎市	20 代以下	346	123	35.5%
	30 代	388	157	40.5%
	40 代	401	195	48.6%
	50 代	360	184	51.1%
	60 代	266	158	59.4%
	70 代以上	239	124	51.9%
	年齢不明	－	2	－
	計	2,000	943	47.2%
神戸市	20 代以下	290	106	36.6%
	30 代	277	108	39.0%
	40 代	389	185	47.6%
	50 代	339	198	58.4%
	60 代	340	197	57.9%
	70 代以上	365	225	61.6%
	計	2,000	1,019	51.0%
福岡市	20 代以下	314	100	31.8%
	30 代	362	143	39.5%
	40 代	439	186	42.4%
	50 代	315	167	53.0%
	60 代	304	178	58.6%
	70 代以上	266	135	50.8%
	計	2,000	909	45.5%
全体	20 代以下	950	329	34.6%
	30 代	1027	408	39.7%
	40 代	1229	566	46.1%
	50 代	1014	549	54.1%
	60 代	910	533	58.6%
	70 代以上	870	484	55.6%
	年齢不明	－	2	－
	計	6,000	2,871	47.9%

表 4-8　区別の回収状況

		抽出数	有効回収数	有効回収率
川崎市	川崎区	304	136	44.7%
	幸区	222	118	53.2%
	中原区	340	154	45.3%
	高津区	305	133	43.6%
	多摩区	286	138	48.3%
	宮前区	306	138	45.1%
	麻生区	237	124	52.3%
	区不明	－	2	－
	計	2,000	943	47.2%
神戸市	東灘区	276	154	55.8%
	灘区	171	96	56.1%
	兵庫区	143	71	49.7%
	長田区	127	50	39.4%
	須磨区	214	107	50.0%
	垂水区	291	171	58.8%
	北区	288	144	50.0%
	中央区	171	72	42.1%
	西区	319	154	48.3%
	計	2,000	1,019	51.0%
福岡市	東区	393	169	43.0%
	博多区	305	125	41.0%
	中央区	253	107	42.3%
	南区	339	157	46.3%
	西区	266	138	51.9%
	城南区	164	71	43.3%
	早良区	280	142	50.7%
	計	2,000	909	45.4%

表 4-9　市別　男女・年代別の回収状況

			抽出数	有効回収数	有効回収率
川崎市	男性	20 代以下	168	48	28.6%
		30 代	223	73	32.7%
		40 代	206	89	43.2%
		50 代	173	81	46.8%
		60 代	140	81	57.9%
		70 代以上	102	53	52.0%
		計	1012	425	42.0%
	女性	20 代以下	178	75	42.1%
		30 代	165	84	50.9%
		40 代	195	106	54.4%
		50 代	187	103	55.1%
		60 代	126	77	61.1%
		70 代以上	137	71	51.8%
		計	988	516	52.2%
神戸市	男性	20 代以下	141	47	33.3%
		30 代	140	36	25.7%
		40 代	170	77	45.3%
		50 代	153	83	54.2%
		60 代	168	97	57.7%
		70 代以上	154	99	64.3%
		計	926	439	47.4%
	女性	20 代以下	149	59	39.6%
		30 代	137	72	52.6%
		40 代	219	108	49.3%
		50 代	186	115	61.8%
		60 代	172	100	58.1%
		70 代以上	211	126	59.7%
		計	1074	580	54.0%
福岡市	男性	20 代以下	135	32	23.7%
		30 代	173	63	36.4%
		40 代	235	82	34.9%
		50 代	148	69	46.6%
		60 代	155	97	62.6%
		70 代以上	105	57	54.3%
		計	951	400	42.1%
	女性	20 代以下	179	68	38.0%
		30 代	189	80	42.3%
		40 代	204	104	51.0%
		50 代	167	98	58.7%
		60 代	149	81	54.4%
		70 代以上	161	78	48.4%
		計	1049	509	48.5%

返送時期

回収された調査票を返送時期によって次の 4 つに分類した。

①早期返送	回収が始まって最初の 1 週間以内に返送された票	7/25(木)～7/31(水)
②正規締切内返送	正規投函締切日 8/07(水)までに投函された票	8/01(木)～8/11(日)
③催促はがき発送後返送	催促はがき到着後から催促調査票到着までに返送された票	8/12(月)～8/28(水)
④催促調査票発送後返送	催促調査票到着後に返送された票	8/29(木)～11/15

表 4-10 は、返送時期別に回収数・回収率・累積回収率を整理したものである。各返送時期別の回収率は、全体としては、①早期返送 20.1%(1204)、②正規締切内返送 15.5%(929)、③催促はがき発送後返送 7.6%(457)、④催促調査票発送後返送 6.0%(359)であった。つまり、催促はがき送付によってプラス 7.6%、催促調査票送付によってプラス 6.0%の回収率向上となった。累積回収率としては、①早期返送期間 20.1%、②正規締切期間内 35.6%、③催促はがき発送後 43.2%、④催促調査票発送後に 49.2%である。正規調査票の発送のみであれば、回収率は 40%に満たなかったかもしれない。催促はがきによって 4 割を超え、催促調査票によって 5 割近くになったといえる。

表 4-11 は、回収票を 100 として、3 市別に返送時期を整理したものである。各市の回収数の違いに左右されずに、回収票がどの時期に返送されたのかをみるためである。特徴的なのは、神戸市では①早期返送の割合が多い点であり、この時点で回収票の半数を超えている。川崎市・福岡市では②正規締切内の割合が多くなっている。また、③催促はがき後・④催促調査票後の割合は、川崎市で高い。催促はがきや催促調査票は、特に川崎市において効果的だったといえよう。

表 4-12 は、同じく回収票を 100 として、性別・年齢別に返送時期を整理したものである。①早期返送は、男女とも 30 代・40 代の割合が少なく、60 代・70 代で多い。他の年代と比較すると、30 代男性は④催促調査票発送後、40 代男性は③催促はがき発送後と④催促調査票発送後、50 代男性は③催促はがき発送後の割合が多くなっている。40 代女性は③催促はがき発送後、50 代女性は④催促調査票発送後の割合が多くなっている。

表 4-10　返送時期別の回収状況

	回収数				回収率				累積回収率			
	川崎	神戸	福岡	全体	川崎	神戸	福岡	全体	川崎	神戸	福岡	全体
①早期返送	323	527	354	1204	16.2%	26.4%	17.7%	20.1%	16.2%	26.4%	17.7%	20.1%
②正規締切内	349	246	334	929	17.5%	12.3%	16.7%	15.5%	33.6%	38.7%	34.4%	35.6%
③催促はがき後	165	156	136	457	8.3%	7.8%	6.8%	7.6%	41.9%	46.5%	41.2%	43.2%
④催促調査票後	133	116	110	359	6.7%	5.8%	5.5%	6.0%	48.5%	52.3%	46.7%	49.2%
計	970	1045	934	2949	48.5%	52.3%	46.7%	49.2%	48.5%	52.3%	46.7%	49.2%

表 4-11　市別　返送時期と回収数

	① 早期返送	② 正規締切内	③ 催促はがき後	④ 催促調査票後	①② 正規締切内	③④ 催促後	計	
川崎市	33.3%	36.0%	17.0%	13.7%	(69.3%)	(30.7%)	100.0%	(970)
神戸市	50.4%	23.5%	14.9%	11.1%	(74.0%)	(26.0%)	100.0%	(1045)
福岡市	37.9%	35.8%	14.6%	11.8%	(73.7%)	(26.3%)	100.0%	(934)
全体	40.8%	31.5%	15.5%	12.2%	(72.3%)	(27.7%)	100.0%	(2949)

表 4-12　性別･年齢別　返送時期と回収数

		① 早期返送	② 正規締切内	③ 催促はがき後	④ 催促調査票後	①② 正規締切内	③④ 催促後	計	
男性	20 代以下	40.9%	31.1%	15.2%	12.9%	(72.0%)	(28.0%)	100.0%	(132)
	30 代	34.9%	33.1%	14.9%	17.1%	(68.0%)	(32.0%)	100.0%	(175)
	40 代	33.7%	31.7%	19.4%	15.1%	(65.5%)	(34.5%)	100.0%	(252)
	50 代	43.8%	27.9%	19.6%	8.8%	(71.7%)	(28.3%)	100.0%	(240)
	60 代	51.1%	26.2%	13.1%	9.6%	(77.3%)	(22.7%)	100.0%	(282)
	70 代以上	57.3%	27.1%	8.3%	7.3%	(84.4%)	(15.6%)	100.0%	(218)
	計	44.2%	29.2%	15.2%	11.5%	(73.4%)	(26.6%)	100.0%	(1299)
女性	20 代以下	34.1%	39.9%	13.9%	12.0%	(74.0%)	(26.0%)	100.0%	(208)
	30 代	34.0%	35.3%	15.5%	15.1%	(69.3%)	(30.7%)	100.0%	(238)
	40 代	33.0%	36.7%	19.8%	10.5%	(69.8%)	(30.2%)	100.0%	(324)
	50 代	41.0%	30.6%	12.3%	16.0%	(71.6%)	(28.4%)	100.0%	(324)
	60 代	45.3%	30.2%	15.8%	8.7%	(75.5%)	(24.5%)	100.0%	(265)
	70 代以上	40.5%	29.4%	16.3%	13.8%	(69.9%)	(30.1%)	100.0%	(289)
	計	38.2%	33.4%	15.7%	12.7%	(71.5%)	(28.5%)	100.0%	(1648)

表 4-13
3 市の日別回収状況
・7/22(月)正規調査票発送

回収日		川崎			神戸			福岡		
		日別	累計	回収率	日別	累計	回収率	日別	累計	回収率
7/25	(木)	1	1	0.1%	16	16	0.8%	0	0	0.0%
7/26	(金)	0	1	0.1%	147	163	8.2%	0	0	0.0%
7/27	(土)	24	25	1.3%	124	287	14.4%	35	35	1.8%
7/28	(日)	104	129	6.5%	40	327	16.4%	102	137	6.9%
7/29	(月)	67	196	9.8%	58	385	19.3%	75	212	10.6%
7/30	(火)	57	253	12.7%	88	473	23.7%	67	279	14.0%
7/31	(水)	70	323	16.2%	54	527	26.4%	75	354	17.7%
8/01	(木)	63	386	19.3%	31	558	27.9%	66	420	21.0%
8/02	(金)	37	423	21.2%	24	582	29.1%	33	453	22.7%
8/03	(土)	43	466	23.3%	25	607	30.4%	51	504	25.2%
8/04	(日)	28	494	24.7%	26	633	31.7%	35	539	27.0%
8/05	(月)	16	510	25.5%	14	647	32.4%	19	558	27.9%
8/06	(火)	31	541	27.1%	38	685	34.3%	27	585	29.3%
正規調査票記載投函締切日→ 8/07	(水)	30	571	28.6%	30	715	35.8%	25	610	30.5%
8/08	(木)	44	615	30.8%	31	746	37.3%	36	646	32.3%
催促はがき発送→ 8/09	(金)	47	662	33.1%	21	767	38.4%	32	678	33.9%
8/10	(土)	10	672	33.6%	6	773	38.7%	10	688	34.4%
8/11	(日)	0	672	33.6%	0	773	38.7%	0	688	34.4%
8/12	(月)	10	682	34.1%	18	791	39.6%	8	696	34.8%
8/13	(火)	6	688	34.4%	23	814	40.7%	6	702	35.1%
8/14	(水)	3	691	34.6%	28	842	42.1%	5	707	35.4%
8/15	(木)	6	697	34.9%	12	854	42.7%	8	715	35.8%
8/16	(金)	19	716	35.8%	1	855	42.8%	7	722	36.1%
8/17	(土)	10	726	36.3%	15	870	43.5%	6	728	36.4%
8/18	(日)	28	754	37.7%	9	879	44.0%	19	747	37.4%
8/19	(月)	20	774	38.7%	5	884	44.2%	17	764	38.2%
催促はがき記載投函締切日→ 8/20	(火)	12	786	39.3%	17	901	45.1%	13	777	38.9%
8/21	(水)	16	802	40.1%	15	916	45.8%	22	799	40.0%
8/22	(木)	10	812	40.6%	6	922	46.1%	7	806	40.3%
8/23	(金)	6	818	40.9%	5	927	46.4%	9	815	40.8%
8/24	(土)	9	827	41.4%	0	927	46.4%	5	820	41.0%
8/25	(日)	4	831	41.6%	0	927	46.4%	3	823	41.2%
催促調査票発送→ 8/26	(月)	3	834	41.7%	1	928	46.4%	0	823	41.2%
8/27	(火)	1	835	41.8%	0	928	46.4%	0	823	41.2%
8/28	(水)	2	837	41.9%	1	929	46.5%	1	824	41.2%
8/29	(木)	0	837	41.9%	7	936	46.8%	1	825	41.3%
8/30	(金)	1	838	41.9%	18	954	47.7%	1	826	41.3%
8/31	(土)	1	839	42.0%	7	961	48.1%	3	829	41.5%
9/01	(日)	3	842	42.1%	0	961	48.1%	1	830	41.5%
9/02	(月)	37	879	44.0%	39	1000	50.0%	29	859	43.0%
9/03	(火)	16	895	44.8%	8	1008	50.4%	11	870	43.5%
9/04	(水)	12	907	45.4%	13	1021	51.1%	3	873	43.7%
9/05	(木)	18	925	46.3%	4	1025	51.3%	13	886	44.3%
9/06	(金)	8	933	46.7%	4	1029	51.5%	12	898	44.9%
9/07	(土)	3	936	46.8%	3	1032	51.6%	7	905	45.3%
9/08	(日)	8	944	47.2%	2	1034	51.7%	5	910	45.5%
9/09	(月)	0	944	47.2%	0	1034	51.7%	1	911	45.6%
9/10	(火)	3	947	47.4%	1	1035	51.8%	8	919	46.0%
9/11	(水)	1	948	47.4%	3	1038	51.9%	0	919	46.0%
9/12	(木)	2	950	47.5%	1	1039	52.0%	2	921	46.1%
9/13	(金)	4	954	47.7%	1	1040	52.0%	1	922	46.1%
9/14	(土)	0	954	47.7%	0	1040	52.0%	1	923	46.2%
9/15	(日)	0	954	47.7%	0	1040	52.0%	2	925	46.3%
9/16	(月)	7	961	48.1%	1	1041	52.1%	2	927	46.4%
9/17 以降	(火)	9	970	48.5%	4	1045	52.3%	7	934	46.7%

正規調査票投函締切内

催促はがき発送後

催促調査票発送後

回収分析標本の特徴――国勢調査人口・抽出標本・回収標本・回収分析標本（有効票）の比較――

回収分析標本は、実際の市民の構成とどの程度違っているのだろうか。あるいはサンプリングによって得られた抽出標本の構成は、国勢調査と同じだろうか。ここでは、回収分析標本の特徴を明らかにするために、国勢調査データと抽出標本データとの比較をおこなう。比較するデータは以下の 4 つである。

- 国勢調査　　各市の 2015 年国勢調査結果より 18～80 歳人口のデータ
- 抽出標本　　選挙人名簿から抽出した各市 2,000 サンプルのデータ
- 回収標本　　回収票のデータ
- 回収分析標本　有効票のみのデータ（回収票から無効票を除いたもの）

※川崎市の回収標本のうち 2 は、整理番号が切り取られていた。ここでの整理では、その 2 は除いて集計している。よって川崎市の回収標本数は本来 970 であるが表中では 968 に、回収分析数は 943 であるが 941 になっている。

表 4-15　国勢調査／抽出標本／回収標本／回収分析標本の比較：年齢別構成

	川崎市				神戸市				福岡市			
	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本
18～19 歳	2.5%	2.1%	1.7%	1.6%	2.6%	2.2%	1.2%	1.3%	3.1%	1.9%	1.0%	1.0%
20～24 歳	7.4%	7.2%	5.4%	5.4%	6.4%	6.0%	4.3%	4.2%	7.9%	7.4%	5.4%	5.4%
25～29 歳	8.5%	8.1%	6.3%	6.1%	6.4%	6.4%	4.8%	4.9%	8.1%	6.5%	4.7%	4.6%
30～34 歳	9.7%	9.9%	8.1%	8.2%	7.2%	6.4%	4.2%	4.3%	9.0%	8.9%	8.0%	8.0%
35～39 歳	10.4%	9.5%	8.4%	8.5%	8.2%	7.5%	6.1%	6.3%	9.7%	9.3%	7.6%	7.7%
40～44 歳	11.4%	10.1%	12.3%	12.4%	10.1%	9.2%	9.5%	9.6%	10.5%	10.4%	8.8%	8.8%
45～49 歳	10.2%	10.0%	8.1%	8.3%	8.9%	10.3%	8.7%	8.5%	9.0%	11.6%	11.5%	11.7%
50～54 歳	8.4%	9.5%	9.5%	9.4%	8.2%	8.7%	9.8%	9.7%	7.9%	8.1%	9.2%	9.1%
55～59 歳	6.6%	8.5%	10.2%	10.2%	7.6%	8.3%	9.5%	9.7%	7.2%	7.7%	9.2%	9.2%
60～64 歳	6.5%	6.3%	7.9%	7.9%	8.4%	8.4%	9.7%	9.6%	7.8%	6.9%	9.2%	9.1%
65～69 歳	7.3%	7.0%	8.8%	8.9%	10.1%	8.7%	10.0%	9.7%	8.3%	8.4%	10.2%	10.5%
70～74 歳	5.9%	5.9%	7.2%	7.2%	8.2%	10.0%	12.6%	12.5%	5.9%	6.9%	8.1%	7.9%
75～80 歳	5.4%	6.1%	6.3%	6.0%	7.7%	8.3%	9.7%	9.6%	5.6%	6.5%	7.2%	6.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(国勢調査との差)												
18～19 歳	—	▼0.4	▼0.8	▼0.9	—	▼0.4	▼1.4	▼1.3	—	▼1.2	▼2.1	▼2.1
20～24 歳	—	▼0.2	▼2.0	▼2.0	—	▼0.4	▼2.1	▼2.2	—	▼0.5	▼2.5	▼2.5
25～29 歳	—	▼0.4	▼2.2	▼2.4	—	0.0	▼1.6	▼1.5	—	▼1.6	▼3.4	▼3.5
30～34 歳	—	0.2	▼1.6	▼1.5	—	▼0.8	▼3.0	▼2.9	—	▼0.1	▼1.0	▼1.0
35～39 歳	—	▼0.9	▼2.0	▼1.9	—	▼0.7	▼2.1	▼1.9	—	▼0.4	▼2.1	▼2.0
40～44 歳	—	▼1.3	0.9	1.0	—	▼0.9	▼0.6	▼0.5	—	▼0.1	▼1.7	▼1.7
45～49 歳	—	▼0.2	▼2.1	▼1.9	—	1.4	▼0.2	▼0.4	—	2.6	2.5	2.7
50～54 歳	—	1.1	1.1	1.0	—	0.5	1.6	1.5	—	0.2	1.3	1.2
55～59 歳	—	1.9	3.6	3.6	—	0.7	1.9	2.1	—	0.5	2.0	2.0
60～64 歳	—	▼0.2	1.4	1.4	—	0.0	1.3	1.2	—	▼0.9	1.4	1.3
65～69 歳	—	▼0.3	1.5	1.6	—	▼1.4	▼0.1	▼0.4	—	0.1	1.9	2.2
70～74 歳	—	0.0	1.3	1.3	—	1.8	4.4	4.3	—	1.0	2.2	2.0
75～80 歳	—	0.7	0.9	0.6	—	0.6	2.0	1.9	—	0.9	1.6	1.3

表 4-14 は、国勢調査・抽出標本・回収標本・回収分析標本それぞれの性別構成を整理したものである。下段の

数字は、国勢調査と比較した場合のポイント差である。差がプラスの場合は国勢調査比率よりも多い割合に、マイナスの場合は国勢調査比率よりも低い割合になっているということである。

3 市とも、国勢調査と抽出標本との差は 1 ポイント前後である。それに対して、回収標本・分析回収標本では差が生じている。3 市とも、男性の比率がマイナスとなっている。川崎市−6.2 ポイント、神戸市−4.4 ポイント、福岡市−3.3 ポイントである。回収標本では女性票が多くなっていることに留意しなければならない。

表 4-14　国勢調査／抽出標本／回収標本／回収分析標本の比較：性別構成

	川崎市				神戸市				福岡市			
	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本
男性	51.4%	50.6%	45.2%	45.2%	47.5%	46.3%	43.1%	43.1%	47.3%	47.6%	44.0%	44.0%
女性	48.6%	49.4%	54.8%	54.8%	52.5%	53.7%	56.9%	56.9%	52.7%	52.5%	56.0%	56.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(国勢調査との差)												
男性	—	−0.8	−6.2	−6.2	—	−1.2	−4.4	−4.4	—	0.3	−3.3	−3.3
女性	—	0.8	6.2	6.2	—	1.2	4.4	4.4	—	−0.2	3.3	3.3

表 4-16　国勢調査／抽出標本／回収標本／回収分析標本の比較：居住区別構成

	国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本		国勢調査	抽出標本	回収標本	分析標本
川崎市川崎区	15.5%	15.2%	14.6%	14.5%	国勢調査との差	—	▼0.3%	▼0.9%	▼1.0%
幸区	10.8%	11.1%	12.5%	12.5%		—	0.3%	1.7%	1.7%
中原区	17.2%	17.0%	16.3%	16.4%		—	▼0.2%	▼0.9%	▼0.8%
高津区	15.7%	15.3%	14.3%	14.1%		—	▼0.4%	▼1.4%	▼1.6%
多摩区	15.0%	14.3%	14.6%	14.7%		—	▼0.7%	▼0.4%	▼0.3%
宮前区	14.0%	15.3%	14.6%	14.7%		—	1.3%	0.6%	0.7%
麻生区	11.8%	11.9%	13.2%	13.2%		—	0.1%	1.4%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		—	—	—	—
神戸市東灘区	13.7%	13.8%	15.4%	15.1%	国勢調査との差	—	0.1%	1.7%	1.4%
灘区	8.8%	8.6%	9.2%	9.4%		—	▼0.2%	0.4%	0.6%
兵庫区	7.1%	7.2%	7.3%	7.0%		—	0.1%	0.2%	▼0.1%
長田区	6.4%	6.4%	5.1%	4.9%		—	0.0%	▼1.3%	▼1.5%
須磨区	10.6%	10.7%	10.4%	10.5%		—	0.1%	▼0.2%	▼0.1%
垂水区	14.0%	14.6%	16.6%	16.8%		—	0.6%	2.6%	2.8%
北区	14.1%	14.4%	14.0%	14.1%		—	0.3%	▼0.1%	0.0%
中央区	9.2%	8.6%	7.2%	7.1%		—	▼0.6%	▼2.0%	▼2.1%
西区	16.0%	16.0%	14.9%	15.1%		—	0.0%	▼1.1%	▼0.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		—	—	—	—
福岡市東区	19.7%	19.7%	18.7%	18.6%	国勢調査との差	—	0.0%	▼1.0%	▼1.1%
博多区	15.0%	15.3%	13.6%	13.8%		—	0.3%	▼1.4%	▼1.2%
中央区	13.0%	12.7%	11.8%	11.8%		—	▼0.3%	▼1.2%	▼1.2%
南区	16.6%	17.0%	17.2%	17.3%		—	0.4%	0.6%	0.7%
西区	13.1%	13.3%	15.1%	15.2%		—	0.2%	2.0%	2.1%
城南区	8.6%	8.2%	7.8%	7.8%		—	▼0.4%	▼0.8%	▼0.8%
早良区	13.9%	14.0%	15.7%	15.6%		—	0.1%	1.8%	1.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		—	—	—	—

表 4-15 は、国勢調査・抽出標本・回収標本・回収分析標本それぞれの年齢別構成比を整理したものである。下

段の数字は、国勢調査と比較した場合のポイント差である。まず国勢調査と抽出標本との差は、ほとんど 1 ポイント未満であるが、2.6 ポイント（福岡市 45～49 歳）、1.9 ポイント（川崎市 55～59 歳）という差も生じていた。国勢調査と回収標本・回収分析標本を比較すると、おおむね 40 代から 50 代を境に、若年層の比率がマイナスに、高齢層の比率がプラスになっていた。回収標本では高齢層が多くなっていることに留意しなければならない。

また、各市の区別の比較は表 4-16 のとおりである。

参考資料

参考 1：国勢調査（18～80 歳）における性別構成

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	591,678	51.4%	564,621	47.5%	563,450	47.3%
女性	558,442	48.6%	623,494	52.5%	627,956	52.7%
計	1,150,120	100.0%	1,188,115	100.0%	1,191,406	100.0%

参考 2：抽出標本における性別構成

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	1012	50.6%	926	46.3%	951	47.6%
女性	988	49.4%	1074	53.7%	1049	52.5%
計	2000	100.0%	2000	100.0%	2000	100.0%

参考 3：回収標本における性別構成

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	438	45.2%	450	43.1%	411	44.0%
女性	530	54.8%	595	56.9%	523	56.0%
計	968	100.0%	1045	100.0%	934	100.0%

参考 4：回収分析標本における性別構成

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	425	45.2%	439	43.1%	400	44.0%
女性	516	54.8%	580	56.9%	509	56.0%
計	941	100.0%	1019	100.0%	909	100.0%

参考 5：国勢調査における年齢別人口

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
18～19 歳	28,700	2.5%	30,619	2.6%	36,809	3.1%
20～24 歳	84,833	7.4%	76,174	6.4%	94,554	7.9%
25～29 歳	97,570	8.5%	76,586	6.4%	96,296	8.1%
30～34 歳	111,005	9.7%	85,533	7.2%	107,736	9.0%
35～39 歳	119,236	10.4%	97,783	8.2%	115,432	9.7%
40～44 歳	130,663	11.4%	119,499	10.1%	124,777	10.5%
45～49 歳	117,754	10.2%	106,176	8.9%	107,134	9.0%
50～54 歳	96,736	8.4%	97,117	8.2%	93,845	7.9%
55～59 歳	75,734	6.6%	90,603	7.6%	86,200	7.2%
60～64 歳	74,598	6.5%	99,731	8.4%	92,813	7.8%

65～69 歳	83,485	7.3%	120,078	10.1%	98,883	8.3%
70～74 歳	67,477	5.9%	97,297	8.2%	70,752	5.9%
75～80 歳	62,329	5.4%	90,919	7.7%	66,175	5.6%
計	1,150,120	100.0%	1,188,115	100.0%	1,191,406	100.0%

参考 6：抽出標本における年齢別人口

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
18～19 歳	42	2.1%	43	2.2%	38	1.9%
20～24 歳	143	7.2%	120	6.0%	147	7.4%
25～29 歳	161	8.1%	127	6.4%	129	6.5%
30～34 歳	198	9.9%	128	6.4%	177	8.9%
35～39 歳	190	9.5%	149	7.5%	185	9.3%
40～44 歳	201	10.1%	184	9.2%	208	10.4%
45～49 歳	200	10.0%	205	10.3%	231	11.6%
50～54 歳	190	9.5%	174	8.7%	161	8.1%
55～59 歳	170	8.5%	165	8.3%	154	7.7%
60～64 歳	126	6.3%	167	8.4%	137	6.9%
65～69 歳	140	7.0%	173	8.7%	167	8.4%
70～74 歳	118	5.9%	200	10.0%	137	6.9%
75～80 歳	121	6.1%	165	8.3%	129	6.5%
計	2,000	100.0%	2,000	100.0%	2,000	100.0%

参考 7：回収標本における年齢別人口

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
18～19 歳	16	1.7%	13	1.2%	9	1.0%
20～24 歳	52	5.4%	45	4.3%	50	5.4%
25～29 歳	61	6.3%	50	4.8%	44	4.7%
30～34 歳	78	8.1%	44	4.2%	75	8.0%
35～39 歳	81	8.4%	64	6.1%	71	7.6%
40～44 歳	119	12.3%	99	9.5%	82	8.8%
45～49 歳	78	8.1%	91	8.7%	107	11.5%
50～54 歳	92	9.5%	102	9.8%	86	9.2%
55～59 歳	99	10.2%	99	9.5%	86	9.2%
60～64 歳	76	7.9%	101	9.7%	86	9.2%
65～69 歳	85	8.8%	104	10.0%	95	10.2%
70～74 歳	70	7.2%	132	12.6%	76	8.1%
75～80 歳	61	6.3%	101	9.7%	67	7.2%
計	968	100.0%	1045	100.0%	934	100.0%

参考 8：回収分析標本における年齢別人口

	川崎市		神戸市		福岡市	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
18～19 歳	15	1.6%	13	1.3%	9	1.0%
20～24 歳	51	5.4%	43	4.2%	49	5.4%
25～29 歳	57	6.1%	50	4.9%	42	4.6%
30～34 歳	77	8.2%	44	4.3%	73	8.0%
35～39 歳	80	8.5%	64	6.3%	70	7.7%
40～44 歳	117	12.4%	98	9.6%	80	8.8%
45～49 歳	78	8.3%	87	8.5%	106	11.7%

50～54 歳	88	9.4%	99	9.7%	83	9.1%
55～59 歳	96	10.2%	99	9.7%	84	9.2%
60～64 歳	74	7.9%	98	9.6%	83	9.1%
65～69 歳	84	8.9%	99	9.7%	95	10.5%
70～74 歳	68	7.2%	127	12.5%	72	7.9%
75～80 歳	56	6.0%	98	9.6%	63	6.9%
計	941	100.0%	1019	100.0%	909	100.0%

参考 9：国勢調査（18～80 歳）における居住区別構成

	人数	比率		人数	比率		人数	比率
川崎市川崎区	178654	15.5%	神戸市東灘区	163203	13.7%	福岡市東区	235112	19.7%
幸区	124390	10.8%	灘区	104636	8.8%	博多区	179253	15.0%
中原区	197726	17.2%	兵庫区	84346	7.1%	中央区	155100	13.0%
高津区	180554	15.7%	長田区	76224	6.4%	南区	197881	16.6%
多摩区	172299	15.0%	須磨区	126485	10.6%	西区	156348	13.1%
宮前区	160896	14.0%	垂水区	166225	14.0%	城南区	101881	8.6%
麻生区	135601	11.8%	北区	167904	14.1%	早良区	165831	13.9%
計	1150120	100.0%	中央区	109275	9.2%	計	1191406	100.0%
			西区	189817	16.0%			
			計	1188115	100.0%			

参考 10：抽出標本における居住区別構成

	人数	比率		人数	比率		人数	比率
川崎市川崎区	304	15.2%	神戸市東灘区	276	13.8%	福岡市東区	393	19.7%
幸区	222	11.1%	灘区	171	8.6%	博多区	305	15.3%
中原区	340	17.0%	兵庫区	143	7.2%	中央区	253	12.7%
高津区	305	15.3%	長田区	127	6.4%	南区	339	17.0%
多摩区	286	14.3%	須磨区	214	10.7%	西区	266	13.3%
宮前区	306	15.3%	垂水区	291	14.6%	城南区	164	8.2%
麻生区	237	11.9%	北区	288	14.4%	早良区	280	14.0%
計	2000	100.0%	中央区	171	8.6%	計	2000	100.0%
			西区	319	16.0%			
			計	2000	100.0%			

参考 11：回収標本における居住区別構成

	人数	比率		人数	比率		人数	比率
川崎市川崎区	141	14.6%	神戸市東灘区	161	15.4%	福岡市東区	175	18.7%
幸区	121	12.5%	灘区	96	9.2%	博多区	127	13.6%
中原区	158	16.3%	兵庫区	76	7.3%	中央区	110	11.8%
高津区	138	14.3%	長田区	53	5.1%	南区	161	17.2%
多摩区	141	14.6%	須磨区	109	10.4%	西区	141	15.1%
宮前区	141	14.6%	垂水区	173	16.6%	城南区	73	7.8%
麻生区	128	13.2%	北区	146	14.0%	早良区	147	15.7%
計	968	100.0%	中央区	75	7.2%	計	934	100.0%
			西区	156	14.9%			
			計	1045	100.0%			

参考 12：回収分析標本における居住区別構成

	人数	比率		人数	比率		人数	比率
川崎市川崎区	136	14.5%	神戸市東灘区	154	15.1%	福岡市東区	169	18.6%
幸区	118	12.5%	灘区	96	9.4%	博多区	125	13.8%
中原区	154	16.4%	兵庫区	71	7.0%	中央区	107	11.8%
高津区	133	14.1%	長田区	50	4.9%	南区	157	17.3%
多摩区	138	14.7%	須磨区	107	10.5%	西区	138	15.2%

宮前区	138	14.7%	垂水区	171	16.8%	城南区	71	7.8%
麻生区	124	13.2%	北区	144	14.1%	早良区	142	15.6%
計	941	100.0%	中央区	72	7.1%	計	909	100.0%
			西区	154	15.1%			
			計	1019	100.0%			

参考 13：回収状況

		有権者数	ｻﾝﾌﾟﾙ数	有効回収数	有効回収率
川崎市	川崎区	188,235	304	136	44.7%
	幸区	137,749	222	118	53.2%
	中原区	210,533	340	154	45.3%
	高津区	188,644	305	134	43.9%
	多摩区	177,382	286	138	48.3%
	宮前区	189,444	306	138	45.1%
	麻生区	146,450	237	124	52.3%
	区不明	－	－	2	－
	計	1,238,437	2,000	944	47.2%
神戸市	東灘区	174,470	276	154	55.8%
	灘区	108,191	171	96	56.1%
	兵庫区	90,291	143	74	51.7%
	長田区	80,131	127	50	39.4%
	須磨区	135,669	214	107	50.0%
	垂水区	183,929	291	171	58.8%
	北区	182,028	288	144	50.0%
	中央区	108,571	171	72	42.1%
	西区	201,729	319	154	48.3%
	計	1,265,009	2,000	1,022	51.1%
福岡市	東区	248,100	393	170	43.3%
	博多区	192,539	305	125	41.0%
	中央区	159,744	253	107	42.3%
	南区	213,571	339	157	46.3%
	西区	167,989	266	138	51.9%
	城南区	103,562	164	71	43.3%
	早良区	176,473	280	143	51.1%
	計	1,261,978	2,000	911	45.6%

（有権者数は 2019 年 6 月 3 日現在）

5. データ・クリーニング

データ入力会社からデータが納品されて以降、データ・クリーニング作業をおこなった。データ・クリーニングは研究分担者：木下が中心となり遂行した。データ・クリーニングは調査票原票を確認しながら進めるため、調査票を保管している関西学院大学内の研究ラボにて実施した。データ・クリーニング検討会は以下の日程で実施した。

2019 年…10/24、11/13、11/14、11/21

2020 年…2/25、3/2、3/6、3/13、3/24、3/31、4/6

※新型コロナウィルス感染症拡大のため作業の進行に影響があった

データ・クリーニングの作業手順は以下のとおりである。

①SPSS で単純集計／クロス集計をし、誤入力の有無を確認する
②誤入力があれば、該当するサンプルの管理番号（サンプルナンバー、通し番号等）を確認する
③その管理番号の調査票原票を実際に見ながら、回答内容を確認し、必要に応じてデータを修正する

データ・クリーニングは、次の二つの段階に分けて実施した。

①単純な回答ミス・入力ミスのチェック
単純集計を作成し、以下の点を確認する。
・入力されているはずのない数字がないかどうか（選択肢以外の数字、非該当コード）
・現実的にありえない数値が入力されていないかどうか（年齢など数量データで常識の範囲を超える値）
②論理矛盾のチェック（クロス集計）
クロス集計を作成し、2 つの質問項目の回答内容に論理的矛盾が生じていないかどうかを確認する。
・サブクエスチョンとメインクエスチョンの回答の整合性
・2 つの質問項目の回答の整合性

②論理矛盾のチェックは、チェックすべき組み合わせが非常に多いので、重要な点からチェックをおこなう。たとえば、今回とくに重点的にチェックしたのは以下の点である。

婚姻状況・配偶者
・〈婚姻状況〉と他の質問項目との整合性
⇔配偶者に関する質問（出身地、職業、通勤、親など）
無回答の場合、未婚・死別・離別であれば非該当コード、既婚であれば無回答コード
⇔同居家族構成員
未婚・死別・離別の場合、配偶者の選択肢は選択されないはずである

親に関する質問
・〈婚姻状況〉との整合性
・〈親の生存状況〉と他の質問との整合性
⇔同別居状況や交際頻度など親に関する質問
無回答の場合、親が他界であれば非該当コード、健在であれば無回答コード

子に関する質問
・〈子の有無〉と他の質問との整合性
⇔子の年齢や性別など親に関する質問
無回答の場合、子がいなければ非該当コード、子がいれば無回答コード
・〈子の人数〉と第 1 子～第 3 子のそれぞれについて問う質問
子の人数が 1 人の場合、第 2 子と第 3 子に関する回答は非該当コード、第 1 子に関する回答が無回答の場合は無回答コードとなる。以下同様。

職業
・〈職業〉と他の質問との整合性
⇔通勤場所・通勤時間・出勤時刻・帰宅時刻などの質問
無回答の場合、無職者であれば非該当コード、有職者であれば無回答コード

その他、サブクエスチョンとメインクエスチョンの回答との整合性についてもチェックをおこなった。

データ・クリーニングの際のポイント
・調査票原票に目を通す際は、誤入力があった質問項目だけでなく、調査票を 1 頁目からすべて確認するようにした。誤入力があった調査票は、回答がいい加減だったり、他にもエディティングのミスがあったりする可能性が考えられるからである。また、1 カ所を修正すると他の項目にも修正が必要になるケースもあるからである。
・データ・クリーニングをおこなう際は、可能な限り 2 人以上の作業者で確認・検討をおこなった。

第２章　郵送調査において多数の調査員を管理する方法の検討

「川﨑･神戸･福岡市民生活実態調査」は、多数の大学生が調査員として調査の実施・運営に関わった。サンプリングにおいては選挙人名簿からの転記や調査対象者名簿の作成、市民からの問い合わせの対応、エディティングや入力作業等である。多くの学生が関わるため、各過程においてさまざまな作業マニュアルや資料を作成した。実際の調査実施においてどのような資料やマニュアルを準備しなければならないのか、どういった点に留意しなければならないのか、こうしたノウハウを蓄積していくことが重要であろう。

本章では、そうしたマニュアルを始め本調査に関連する資料を掲載した。掲載した資料は以下のとおりである。

➢サンプリング
　サンプリングマニュアル
　サンプリング原簿
　サンプリング作業記録表

➢問い合わせ
　問い合わせ対応マニュアル
　問い合わせ対応記録用紙

➢データ化
　エディティング・ルール

➢データ・クリーニング

(サンプリングマニュアル)

「川崎・神戸・福岡市民生活実態踏査」
サンプリングマニュアル

＊挨拶をすること
＊通常業務中に作業をさせていただいていることを忘れず、静かに作業すること
＊持ち物

・顔写真つきの身分証明書
（運転免許証 or パスポート or マイナンバーカード）
・「選挙人名簿抄本閲覧申出書」の原本（※神戸市）
・サンプリング設計表（人数分）
・サンプリング原簿　（念のため２部）
・サンプリング作業記録表
・HB 以上のシャープペンまたは鉛筆
・電卓
・定規

※学生証では不可の場合あり
※学生証＋保険証＋印鑑でＯＫの場合も
所持していない場合は要確認

サンプリング設計表は１人１枚手元に置く

サンプリング原簿は、（郵便番号）の列も
含めて１頁に収まるように印刷する

＊実際のサンプリング作業

1　当該自治体のサンプリング原簿を用意する。抽出標本番号に該当する通し番号の人を原簿に転記する。必ず生年月日が調査対象年齢と合致するか確認してから転記する。

調査対象者＝１８歳～８０歳　（令和元年６月３日現在）

昭和１３年６月４日生まれ（1938 年）　から　平成１３年６月３日生まれ（2001 年）　まで

・標本抽出番号から、当該投票区の前の投票区までの累積人数を引き、当該投票区で何番目かを算出するとやりやすい。電卓があるとよい。
・1 頁に数人しか記載されていないページもあるので注意。

2　抽出標本番号の対象者が調査対象年齢と合致しない場合には、その対象者の氏名等は転記せず、原簿上に生年月日のみ情報を記入し、次の抽出標本番号の人の抽出へ進む。

3　こうした場合には予備標本（予 1、予 2 と書かれているもの）を抽出する。
・対応する投票区の予備標本を使用する（＝飛ばした対象者と同じ投票区から抽出する）
・年齢が合致しなかった人の人数分、予備標本を抽出する。

もし準備している予備標本で足りない場合には、予備標本の抽出標本番号（複数あるうちのどれを選んでも構わない）に 633 を足し、その番号をあたりとする（さらに足らなければ、また 633 を足していき、必要な標本数を確保する）。

4　サンプリング等で知り得た情報は調査関係者以外には絶対に口外しない。噂話なども厳禁。

5　サンプリング作業記録表に記入する。大変だった点（〇〇のため時間がかかった）、困った点（パソコンが壊れていた）、感想（職員の方が優しかった）など、何でも記録しておく。

1

＊記入上の注意

［氏名］　抽出した対象者の氏名をそのまま書き写す。名簿がカタカナで表記されている場合はカタカナでよい。漢字は正確に、略字をつかわずに、そのとおりに写すこと。難解な名前以外は、ふりがなは不要。

［住所］　抽出した対象者の住所を書き写す。「町」などは直前のサンプルと同じ場合は「〃」と省略する。「１丁目２番３号」などは「１－２－３」と略してよい。

［性別］　男性→「M」、女性→「F」と略す。

［生年月日］　昭和→「S」、平成→「H」と略す。「月」「日」は省略する。例：H10, 2, 3

サンプリングの手引き

【サンプリング全体の考え方】

1　2000 の標本を、各区の有権者数に応じて比例配分する。これは、区の有権者数によって層化をおこなっていることと同じ。各区で抽出する標本数はこの結果決まる。

2　各区で、必要な標本数分だけ等間隔抽出法によって抽出する。抽出間隔は区内の有権者数÷必要な標本数、だが、この比率は市の有権者総数÷2000 と等しくなる。神戸市の場合、633。
例：東灘区は 108,191÷171＝632.695 → 633

等間隔抽出にあたっては、まずスタート番号を決める。スタート番号は、抽出間隔内の乱数を発生させ確定する（ファイルの選挙人名簿登録者、のワークシート中にスタート番号一覧が出ている）。以降、633 を足していき、該当する番号（該当標本番号）の人が当該区の対象者となる。乱数は、その範囲の数値の出現確率にすべて等しい確率を割りあてた状態で算出される数字で、無作為抽出をおこなったことと等しい。
乱数は、エクセルの関数=rand()を使うが、標本抽出間隔内の乱数を発生する場合には
=rand()*633 のように書く。さらに、整数部分だけをとるので、
=int(rand()*633　と書けばよい。ただし、この場合０がでることがあるので、０を発生させない場合には
=round(rand()*(633-1)+1, 0)
という関数が一番正確になる。この計算式では、0 から 632 までの乱数を発生させ、それに 1 を加え、整数部分の数字を四捨五入して求めている。
なお、エクセル上で「乱数」はクリックするたびに再計算されてしまうため、乱数を発生させたらその「値をコピー」し、乱数を固定する。これがスタート番号に示されている数字。

3　各区の投票区別有権者数の一覧表を用意する。同時に、有権者数の累積度数をだしておく。この累積度数が、当該区内での対象者の通し番号となる。累積度数をもとに、「あたり」の人の投票区を確定する。また、各投票区内での抽出人数を確定する。

（4　各投票区での名簿上の順位を確定するために、２で求めた「あたり」の人の番号から、その人の所属する投票区の１つ前の投票区までの有権者数の累積度数を引き、当該の自治体内での番号を確定する。これが表中の「選挙区内抽出標本番号」。）

5　それぞれの投票区の有権者名簿から、以上で特定された対象者を抽出する。

6　抽出された人が該当しなかった場合に備えて予備標本を抽出している。予備標本は、正規標本を最終投票区内の最後まで抽出を行ったうえで、（最終標本＋抽出間隔－地区人数総計）によって、2 週目のスタート番号を定め、同じ抽出間隔を足していき、標本抽出番号を求める。
予備標本は抽出されなかった正規標本と同じ投票区から抽出することを原則とする。予備標本は番号の早いものから採択していき、足りなくなれば同様の手続きで 3 週目に入る。このとき、同じスタート番号が選ばれてしまうとあらたな標本抽出ができないため、その場合にはスタート番号の乱数を抽出間隔内で発生させる。

注意事項

【サンプリング当日までにしておくこと】
＊持ち物の準備
＊サンプリング方法の理解・確認
＊アクセス・所要時間・時刻表の確認（公共交通機関を使う。車は使用しない。）

【当日】
＊失礼のない服装で訪問する（G パン、T シャツ不可）
＊15 分前には到着する
＊できる限り二人以上で訪問する
＊区名を再確認（読み方を間違えたりしないように！）
＊持ち物を再確認

【各区でのサンプリングに際して】
＊きちんと挨拶をする（業務時間内にお邪魔させてもらっているということを忘れずに！）
「関西学院大学社会学部の〇〇と申します。今日は選挙人名簿の閲覧に参りました。お忙しいところすみませんが、よろしくお願いします。」
＊庁舎内では静かに
＊使った場所はきちんと片付けてから退室すること
＊お礼の挨拶
「本日はお忙しいところ、ありがとうございました。失礼します。」

(サンプリング原簿)

「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」 **サンプリング原簿　　（神戸市　　区）**

抽出 No	氏名	住所	性別	生年. 月. 日	（郵便番号）

（サンプリング作業記録表）

「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」 **サンプリング記録（　　市　　区）**

閲覧日	作業時間
月　　日	時　　分 ～　　時　　分

作業場所（例：○○区役所　4階　選挙管理委員会事務局　会議室）

閲覧形態　1．パソコン　2．紙媒体の名簿（1頁あたり記載人数　　人）　3．その他

記載様式　1．住所順　　2．名前順　　3．その他（　　）

閲覧者氏名						
	作業時間	時	分 ～	時	分
	作業時間	時	分 ～	時	分
	作業時間	時	分 ～	時	分
	作業時間	時	分 ～	時	分
	作業時間	時	分 ～	時	分
	作業時間	時	分 ～	時	分
	作業時間	時	分 ～	時	分

メモ（気づいた点、連絡事項、注意点、感想など）

※区ごとに1枚ずつ作成する

印刷会社への委託について

以下の内容で印刷会社への見積もりを依頼した。

「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」印刷物　見積もりのお願い

印刷物・発送過程　① 依頼はがきの発送
② 調査票一式の発送（調査票、お願い文、往信用封筒、返信用封筒、（ボールペン））
③ 未返送者に対して、催促はがきの発送
④ 未返送者に対して、催促調査票の発送（調査票、催促文、往信用封筒、返信用封筒）

1．印刷物の依頼

・依頼はがき　規格：官製はがき
部数：6,000（川崎 2,000・神戸 2,000・福岡 2,000）
文字：表面　宛名印字
裏面　2 色（黒・青）

・お願い文　規格：A3 版　半折
部数：6,000（川崎 2,000・神戸 2,000・福岡 2,000）
用紙：薄い上質紙
文字：2 色（黒・青）

・調査票　規格：A4 版　12 頁（表紙含む）
部数：10,600（川崎 2,000・神戸 2,000・福岡 2,000・予備 1,000）
（催促分 1,200・催促分 1,200・催促分 1,200　←催促調査票発送時にﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ）
用紙：薄い上質紙（白）
文字：2 色（黒・青）
表紙にナンバリングあり
製本：中綴じホッチキスとめ

・往信用封筒　規格：角 2・糊付き
部数：9,600（川崎 2,000・神戸 2,000・福岡 2,000）
（催促分 1,200・催促分 1,200・催促分 1,200）
文字：宛名印字・ナンバリングあり

・返信用封筒　規格：長 3・糊付き
部数：9,600（川崎 2,000・神戸 2,000・福岡 2,000）
（催促分 1,200・催促分 1,200・催促分 1,200）
文字：宛名印字

・催促はがき　規格：はがき
部数：3,900（川崎 1,300・神戸 1,300・福岡 1,300）
文字：表面　宛名シールまたは印字
裏面　2 色（黒・青）

・催促文　規格：A3 版　半折
部数：3,600（川崎 1,200・神戸 1,200・福岡 1,200）
用紙：薄い上質紙
文字：2 色（黒・青）

※ナンバリング…回答者を識別するために、回答者ごとに 8 ケタ程度の番号を付与

2．封入・発送作業の依頼

①③の発送、②④の封入・発送。西宮郵便局から発送。

（問い合わせ対応マニュアル）

川崎･神戸･福岡市民生活実態調査
問い合わせ対応マニュアル

基本的な心がけ

・まずは相手のかたの話をよく聞く

・丁寧な口調で、ゆっくりと話す

・「お忙しいなか答えていただいている」「ご協力いただきたい」という気持ちを忘れない

事前準備

・このマニュアルをよく読んでおく（マニュアルを見ながらの対応は難しい）

・「調査ご協力のお願い」を熟読しておく

・調査スケジュールを確認する

・前日までの記録に目を通す

・「問い合わせ対応記録」と筆記用具を手元に用意する

電話がかかってきたら

「はい、こちら市民生活実態調査実施本部の○○です」

※［問い合わせ対応記録］にメモを取りながら対応する。

電話を切るときは

・「ご丁寧にご連絡いただきまして、ありがとうございました。失礼致します」

・「調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。失礼致します」

電話を切った後

・メモをもとに、［問い合わせ内容］と［対応］を記録する

・引継ぎ事項がある場合は、必ず、丁寧に書き残す

どうしても対応が困難な場合

・在室している他の３回生、４回生、リサーチ・アシスタントに交替する

・後日あらためてお電話させていただけないかお伺いする

研究および調査についての問い合わせ

「何の調査なのですか」

文部科学省から助成を受けた研究グループが、川崎市・神戸市・福岡市の市民の方を対象に実施している調査です。市民の皆さまがどのような生活実態なのかを明らかにするための調査です。具体的には、誰と暮らしているのかといった家族に関すること、職業や勤務先といった働き方に関すること、地域施設の利用状況や満足度など生活にかかわる項目などを質問しています。

「誰がやっている調査なのですか」

研究代表者は関西学院大学社会学部教授の大谷信介です。研究分担者は、慶應義塾大学の稲葉昭英教授、日本大学の後藤範章教授、桃山学院大学の木下栄二教授、松山大学の小松洋教授 4 名です。

「文部科学省の助成とはどういうことですか」

科学研究費助成事業とは、幅広い研究分野に、基礎から応用まで、あらゆる学術研究を格段に発展させるための事業です。文部科学省による審査を経て、独創的であったり先駆的であったりする研究に対して、研究費が助成されています。

「なぜこのような調査が必要なのか」

それは、これまで政策立案過程で重要な位置を占めてきた政府の統計が、社会や経済構造の激変によって、多様な国民生活の実態を正確に把握できなくなってきているという問題がでてきているからです。政府統計のかわりに、国民の生活実態を測定しかつ分析可能な社会調査の必要性が高まっていると考え、この研究では、既存の政府統計や地方自治体調査を刷新することのできる、新しい「市民生活実態調査」を開発することを目的としています。

「何のために調査するのですか」「この調査にどんな意味があるのですか」

この調査によって、例えば川崎市（神戸市・福岡市）の、どんな人が・どこに住み・どこで働き・どのように暮らしているのかといった、市民の皆さまの生活実態を明らかにすることができます。こうした実態を正確に把握することで、自治体の政策形成に貢献するデータを構築していきたいと考えています。

3 市の比較のほか、同じ市内でも区ごとの分析や、年齢や性別などの属性別での分析によって、どういった人々がどのような課題や問題を抱えているのかを明らかにできると考えています。

調査に対する不信感に対して

「はがきが送られてきたんだけど・・・」

はい、私どもの研究室で、調査対象者になられた方に、調査へのご協力をお願いするはがきをお送りさせていただきました。来週 7 月 22 日以降に、調査票が到着するかと思います。その際には、ぜひご回答いただけましたら幸いです。

「あやしい団体ではないのか」

研究代表者は、関西学院大学社会学部の大谷信介という研究者です。この研究グループは、学術研究をおこなうことだけを目的に調査を実施しています。文部科学省からの助成金も受けており、決して不審な団体ではございません。

「本当に大学（研究者）がやっている調査なのか」

この調査がおこなわれていることは、大学内の関係部署に周知しております。関学の広報室では、この調査について、兵庫県や西宮市などに対して広報しております。

また、川崎市でも、議会や報道関係者にむけてプレスリリースをしました。

「なぜ私に送られてきたのか」

どなたを調査対象者とするかについては、選挙人名簿から無作為抽出をさせていただきました。各区の選挙管理委員会で決められた手続きをへて、選挙人名簿を閲覧しました。その選挙人名簿から、無作為に選んでおります。

具体的には、選挙人名簿に掲載されている方々に仮想の番号をふり、スタート番号を無作為に決め、そこから等間隔で抽出するという方法をとりました。ですので、選ばれた方々は、決して意図的に選ばれたわけではありません。

「宛名の名前が間違っている」

それは大変失礼なことを致しました。大変申し訳ございませんでした。

おそらく選挙人名簿から転記する際に書き間違えたか、パソコンに入力する際に打ち間違えたのだ思います。こちらの単純なミスだと思います。申し訳ございませんでした。

「調査対象者ご本人がいない」

「本人は不在なのですが」
「息子は大学で○○に住んでいて、今はいないのですが」
「主人は単身赴任中です」

ご本人様がお住まいでいらっしゃらないのでしたら、ご回答はけっこうです。調査票は破棄してくださいますようお願いいたします。

「家族がかわりに記入しましょうか？」(調査対象者ご本人が居住していない場合)

お申し出はありがたいのですが、ご本人様以外のかたの代理でのご回答はお断りしております。調査票は破棄してくださいますようお願いいたします。

調査対象者ご本人は回答が困難

本人「私は病気で答えられない」「体調が悪くて答えられない」

決してご無理なさらないよう、お体のほうをお大事になさってください。ご回答が難しいようでしたら、調査票は破棄してくださいますようお願いいたします。

家族「本人は病気で答えられない」

決してご無理なさらないよう、お体のほうをお大事になさってください。ご回答が難しいようでしたら、調査票は破棄してくださいますようお願いいたします。

家族・施設職員「本人は障害があり答えられない」「質問を理解できない」

ご理解いただける範囲だけでけっこうでございます。ご回答が難しいようでしたら、調査票は破棄してください。

「書いていることが難しくて答えられない」

分かりにくくて申し訳ございませんでした。ご理解いただける範囲だけでけっこうです。大変お手数をおかけ致しますが、よろしくお願い致します。

「家族（施設）の者が替わりに回答しましょうか」

ご本人様のご回答が難しいようでしたら、ご返送はけっこうです。お申し出はありがたいのですが、ご本人様以外のかたの代理のご回答はお断りしております。調査票は破棄していただきますようお願いします。

回答辞退・回答拒否

「調査には絶対回答しないといけないのか？」「これは義務なのか？」

いいえ、決して義務ではございません。回答は任意ですので、ご協力いただける場合にご回答をお願いしております。協力できない、辞退したいという場合は、調査票を破棄していただけたらと存じます。

（すでに調査票の発送作業に入っておりますため、調査票が届いてしまうと思います。ご面倒ではございますが、調査票を破棄していただきますようお願いいたします。

「回答を辞退したのに調査票が送られてきたんだけど」

それは大変申し訳ございませんでした。すでに調査票の発送作業に入っていたため、発送を取り止める手続きが間に合いませんでした。せっかくご連絡いただきましたのに、大変失礼しました。ご面倒ではございますが、調査票を破棄していただきますようお願いいたします。

調査結果について

「調査結果は公表されるのか？」

はい。この研究が終了する 2020 年度までに、報告書にまとめたり、出版を予定しております。また、ホームページで随時、集計結果をご報告させていただく予定です。

各質問についての質問

「最寄駅とバス停、どちらも書かないといけないのか」

できましたら、両方のご回答をお願いいたします。

Q15「どうして選挙のことを答えないといけないのか」

この調査では、調査対象者の方を抽出する方法として選挙人名簿を閲覧させていただきました。選挙人名簿を閲覧し調査をおこなう場合、政治や選挙に関する質問を取り入れなければならないことになっております。調査時期と参議院選挙が重なりましたので、このたびは投票行動について質問させていただきました。

Q21 職業「パート・アルバイトの『扶養の範囲内』『扶養の範囲外』とはどういう意味ですか」

いわゆる、サラリーマンの奥様が健康保険や住民税の扶養控除を受けていることを想定しています。ご自身で健康保険料や住民税をお支払いの場合は、『扶養の範囲外』となります。

Q39 生活時間

生活時間の定義や具体例については、次の表を参照のこと。

生活時間：定義一覧表

生活時間分類　最終版

必需行動	睡眠	夜間の睡眠、昼寝、仮眠 (眠りにつくまでの時間・うたた寝等も含む)
	食事・身支度・ 通院(通院時間も含む)	家庭での食事・飲食(外食店での食事も含む)、皿洗い、洗顔、入浴(趣味・娯楽としての入浴は除く)、トイレ、着替え、化粧、散髪、髭剃り、ペットの世話、診察、治療を受ける、自宅と病院の行き来
拘束行動	職業関連 (学業関連)	仕事、仕事の準備・後片付け、残業、自宅での仕事、アルバイト、内職、自家営業の手伝い、通勤時間、通学時間、授業、予習、復習、宿題、部活動、昼休憩等の休憩時間の食事 ※塾・家庭教師等での授業、予習、復習、宿題、自宅から塾の行き来含む ※有償ボランティアは自由時間に含む
	家事	炊事、食事の準備・後片付け、掃除、ゴミ捨て、洗濯、アイロンかけ、布団干し、衣類の整理片付け、家計簿の記入、庭の掃除、銀行・市役所などの用事、食料品・(衣料品・)生活用品などの買い物
	育児	乳幼児の世話、子どもの付き添い、子どもの勉強相手、子どもの遊び相手(範囲は自宅内や近くの公園など)、乳幼児の送迎、保護者会に出席 ※ここでの「子ども」は回答者の子どもに限る
	介護	家族や配偶者の親族に対する日常生活における手伝い入浴・トイレ・移動・食事などの補助・看病
自由行動	(自宅や敷地内で過ごす) 自由時間	テレビ・ラジオの視聴、ビデオ・DVD の視聴、インターネット利用、新聞・雑誌・マンガを読む、日記、TV ゲーム、将棋、自宅内で行うストレッチ、ラジオ講座、庭いじり、休養、くつろぎ
	(自宅外で過ごす) 自由時間	映画・美術・スポーツなどの観覧・鑑賞(自宅でのスポーツ観戦はテレビ視聴に含む) 、カラオケ、ドライブ、社交ダンス、ボランティア活動、旅行、飲み会、ウインドウショッピング、会社の打ち上げ、スポーツ、軽い体操、散歩、スポーツジム、習いごと、サークル活動、友人との交流

・テレビ視聴とインターネット利用は「(自宅や敷地内で過ごす)自由時間」に含む

・すべての項目について、その項目を行う際に発生する移動時間も含める。

例　買い物：買い物する店へ向かう時間＋買い物に費やす時間＋家に着くまでの時間の合計

・勤務時間中の昼食や、学校での昼食は労働関連に含む。また、友人や家族との外食など、普段の生活スタイルとは異なる食事は自由時間に含むこととする。

・「食事」「身支度」「労働関連」「家事」「育児」「介護」と、「自由行動」を同時に行う場合は、「食事」「身支度」「労働関連」「家事」「育児」「介護」を行う時間として換算する。

例　衣類を片付けながらテレビを見る場合＝「家事」と「自由行動」を同時に行っている

→「家事」の時間として換算

ご意見・ご批判

「電話をしたが通じなかったが」（受付対応時間内にこちらが不在だった場合）

大変失礼いたしました。こちらの受付は大谷研究室の研究員とゼミ生で担当しております。授業などで不在にしていたと思われますが、こちらの都合で、何度もお電話いただくことになってしまいまして、大変申し訳ございませんでした。

ご用件をお伺いしてもよろしいでしょうか。

「（学内一斉休暇 8/10～8/21）電話をしたが通じなかったが」

大変申し訳ございませんでした。関西学院大学全体として 8 月 10 日から 8 月 21 日まで一斉休暇期間たのめ学内への立ち入りができず、電話受付ができませんでした。こちらの都合で、何度もお電話いただくことになってしまいまして、申し訳ございません。

ご用件をお伺いしてもよろしいでしょうか。

催促はがき・催促調査票送付後

「調査票を返送したはずなのに、また届いた」「調査票、届いていないのでしょうか？」

ご連絡ありがとうございます。調査票をご返送いただきましたのに、再度調査票をお送りしてしまい、大変失礼いたしました。

おそらく、返送していただいた調査票をこちらが受け取る前に、調査票の宛名印刷がおこなわれたためだと思います。

このたびはご不快な思い（ご心配）をさせてしまい、申し訳ございませんでした。

また、調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

※さらに**「心配なので、届いているかどうか確認してほしい」**

承知しました。ご住所・お名前をお伺いしたいのですが、かまいませんでしょうか。

ご氏名をお願いいたします。復唱いたします。・・・。

ご住所をお願いいたします。復唱いたします。・・・。ありがとうございます。

それでは確認いたします。確認した結果ですが、どのようにお伝えすればよいでしょうか。電話番号をお伺いしてもよろしければ、こちらからお電話いたします。あるいは、お手数をおかけしますが、再度お電話いただけますでしょうか。

「送らないでと電話したはずだが！」

それは大変失礼なことをいたしました。調査票発送のお断りの連絡をいただいた場合、氏名と住所を伺い、発送リストから省くようにしておりましたが、その作業にミスがあったのかもしれません。大変申し訳ございませんでした。

（問い合わせ対応記録用紙）

川崎・神戸・福岡市民生活実態調査
電話対応記録

日時	受付者（氏名）
月　日（　）　：	

相手の方について		
川崎 ・ 神戸 ・ 福岡 ・ 不明	男性 ・ 女性	ご本人 ・ ご家族 ・ その他 ・ 不明

メモ

問い合わせ内容
対応
引き継ぎ事項　あり・なし
印象・メモ

(エディティング・ルール)

	問番号	変数名		無回答	非該当	非該当条件１	非該当条件２	非該当条件３
1	TikuNo	地区No						
2	CN	ケースNo						
3	CN２	整理番号						
4	Q1	居住歴	１＝１、２（or（）内に記入有）＝２	99				
5	Q1Y	居住年	実数	99	88	Q1＝１	Q1Mに記入あり	
6	Q1M	居住月	実数	99	88	Q1＝１	Q１Yに記入あり	
7	Q2	住居種類	ママ	99				
8	Q3R	鉄道会社	記入有＝１、記入無＝０	0				
9	Q3S	駅	記入有＝１、記入無＝０	0				
10	Q4	バス停有無	記入有＝１、わからない＝２	99				
11	Q4B	バス会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q4＝２		
12	Q4BS	バス停	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q4＝２		
13	Q5(1)①P	都道府県	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q1＝１		
14	Q5(1)①C	市区町村	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q1＝１		
15	Q5(1)②R	鉄道会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q1＝１		
16	Q5(1)②S	駅	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q1＝１		
17	Q5(1)③B	バス会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q1＝１		
18	Q5(1)③BS	バス停	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q1＝１		
19	Q5(2)	住居種類	ママ	99	88	Q1＝１		
20	Q5(3)	引越理由	ママ	99	88	Q1＝１		
21	Q6	居住希望	ママ	99				
22	Q7	日頃のゆとり	ママ	99				
23	Q8	生活満足	ママ	99				
24	Q9	自治会等加入	ママ	99				
25	Q10	サークル活動	ママ	99				
26	Q11	地域施設利用	ママ	99				
27	Q12	図書館利用	ママ	99				
28	Q13	スポーツ施設利用	ママ	99				
29	Q14	市広報誌	ママ	99				
30	Q15	参院選投票	ママ	99				
31	Q16	性別	ママ	99				
32	Q17	婚姻状況	ママ	99				
33	Q18	本人年齢	実数	999				
34	Q18S	配偶者年齢	実数	999	888	Q17=2,3,4		
35	Q19	本人学歴	ママ	99				
36	Q19S	配偶者学歴	ママ	99	88	Q17=2,3,4		
37	Q20(1)P	本人出身地都道府県	記入有＝１、記入無＝０	0				
38	Q20(1)C	本人出身地市区町村	記入有＝１、記入無＝０	0				
39	Q20(1)F	本人外国出身	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q20(1)PorCに記入あり		
40	Q20(1)SP	配偶者出身地都道府県	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q17=2,3,4		
41	Q20(1)SC	配偶者出身地市区町村	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q17=2,3,4		
42	Q20(1)SF	配偶者外国出身	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q17=2,3,4	Q20(1)SPorSCに記入あり	
43	Q21	本人職業	ママ	99				
44	Q21S	配偶者職業	ママ	99	88	Q17=2,3,4		
45	Q22(1)	本人職場	自宅＝１、自宅外＝２	99	88	Q21=9,10,11		
46	Q22(1)①P	本人職場都道府県	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
47	Q22(1)①P	本人職場市区町村	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
48	Q22(1)②R	本人職場鉄道会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
49	Q22(1)②S	本人職場駅	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
50	Q22(1)②B	本人職場バス会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
51	Q22(1)②BS	本人職場バス停	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
52	Q22(1)S	配偶者職場	自宅＝１、自宅外＝２	99	88	Q21S=9,10,11		Q17=2,3,4
53	Q22(1)①SP	配偶者職場都道府県	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
54	Q22(1)①SP	配偶者職場市区町村	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
55	Q22(1)②SR	配偶者職場鉄道会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
56	Q22(1)②SS	配偶者職場駅	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
57	Q22(1)②SB	配偶者職場バス会社	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
58	Q22(1)②SBS	配偶者職場バス停	記入有＝１、記入無＝０	0	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
59	Q22(2)	本人通勤手段	ママ	99	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
60	Q22(2)Th	本人通勤時間（時）	実数	99	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
61	Q22(2)Tm	本人通勤時間（分）	実数	99	88	Q21=9,10,11	Q22(1)=1	
62	Q22(2)S	配偶者通勤手段	ママ	99	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
63	Q22(2)STh	配偶者通勤時間（時）	実数	99	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
64	Q22(2)STm	配偶者通勤時間（分）	実数	99	88	Q21S=9,10,11	Q22(1)S=1	Q17=2,3,4
65	Q22(3)D	本人出勤時刻（時）	24時間法に変換して記入（実数）	99	88	Q21=9,10,11		
66	Q22(3)A	本人出勤時刻（分）	実数	99	88	Q21=9,10,11		
67	Q22(3)D	本人帰宅時刻（時）	24時間法に変換して記入（実数）	99	88	Q21=9,10,11		
68	Q22(3)A	本人帰宅時刻（分）	実数	99	88	Q21=9,10,11		
69	Q22(3)SD	配偶者出勤時間（時）	24時間法に変換して記入（実数）	99	88	Q21S=9,10,11		Q17=2,3,4
70	Q22(3)SA	配偶者出勤時間（分）	実数	99	88	Q21S=9,10,11		Q17=2,3,4

71	Q22(3)SD	配偶者帰宅時間（時）	24時間法に変換して記入（実数）	99	88	Q21S=9,10,11		Q17=2,3,4
72	Q22(3)SA	配偶者帰宅時間（分）	実数	99	88	Q21S=9,10,11		Q17=2,3,4
73	Q23①	本人労働日有無	1（or記入有）＝1、2（働かなかった）＝2	99				
74	Q23①D	本人労働日数	実数	99	0	Q23①＝2		
75	Q23②	本人労働時間有無	1（or記入有）＝1、2（働かなかった）＝2	99				
76	Q23②H	本人労働時間	実数	99	0	Q23①＝2		
77	Q23①S	配偶者労働日有無	1（or記入有）＝1、2（働かなかった）＝2	99	88		Q17=2,3,4	
78	Q23①SD	配偶者労働日数	実数	99	88	Q23①＝2	Q17=2,3,4	
79	Q23②S	配偶者労働時間有無	1（or記入有）＝1、2（働かなかった）＝2	99	88		Q17=2,3,4	
80	Q23②SH	配偶者労働時間	実数	99	88	Q23①＝2	Q17=2,3,4	
81	Q24	本人免許有無	1（or記入有）＝1、2（免許なし）＝2	99				
82	Q24D	本人運転日数	実数	99	0	Q24＝2		
83	Q24S	配偶者免許有無	1（or記入有）＝1、2（免許なし）＝2	99	88		Q17=2,3,4	
84	Q24SD	配偶者運転日数	実数	99	88	Q24S＝2	Q17=2,3,4	
85	Q25	自家用車有無	実数	99				
86	Q25N	自家用車台数	実数	99	0	Q25=2		
87	Q26	同居人有無	1＝1、2（or記入有）＝2	99				
88	Q26N	同居人数	2（　）内の数値を入力	99	0	Q26=1		
89	Q27A1	同居：配偶者	○あり＝1、○なし＝0	99	Q26＝1以外で、全項目に丸がない場合のみ、99			
90	Q27A2	同居：子ども	○あり＝1、○なし＝0	99				
91	Q27A3	同居：子どもの配偶者	○あり＝1、○なし＝0	99				
92	Q27A4	同居：父親	○あり＝1、○なし＝0	99				
93	Q27A5	同居：母親	○あり＝1、○なし＝0	99				
94	Q27A6	同居：孫	○あり＝1、○なし＝0	99				
95	Q27A7	同居：きょうだい	○あり＝1、○なし＝0	99				
96	Q27A8	同居：祖父・祖母	○あり＝1、○なし＝0	99				
97	Q27A9	同居：その他親族	○あり＝1、○なし＝0	99				
98	Q27A10	同居：その他	○あり＝1、○なし＝0	99				
99	Q27(1)	配偶者別居理由	ママ	99	88	Q17=2,3,4	Q27A1＝1	
100	Q28	家事分担程度	ママ	99				
101	Q29A1	問題はない	○あり＝1、○なし＝0	99	全項目に丸がない場合のみ、99			
102	Q29A2	子どもの育児・子育て	○あり＝1、○なし＝0	99				
103	Q29A3	孫の育児・子育て	○あり＝1、○なし＝0	99				
104	Q29A4	配偶者の看病・介護	○あり＝1、○なし＝0	99				
105	Q29A5	親の看病・介護	○あり＝1、○なし＝0	99				
106	Q29A6	その他の看病・介護	○あり＝1、○なし＝0	99				
107	Q30A1	問題はない	○あり＝1、○なし＝0	99	全項目に丸がない場合のみ、99			
108	Q30A2	自分の健康	○あり＝1、○なし＝0	99				
109	Q30A3	配偶者の健康	○あり＝1、○なし＝0	99				
110	Q30A4	配偶者に関する悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
111	Q30A5	家族・親族に関する悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
112	Q30A6	仕事上の悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
113	Q30A7	金銭上の悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
114	Q30A8	近所についての悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
115	Q30A9	友人づきあいの悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
116	Q30A10	その他の悩み	○あり＝1、○なし＝0	99				
117	Q31	健康改善	ママ	99				
118	Q32	存命きょうだい有無	1（or記入有）＝1、2＝2	99				
119	Q32N	存命きょうだい数	実数	99	0	Q32=2		
120	Q32(1)	きょうだい回数	ママ	99	88	Q32=2		
121	Q33F	父	ママ	99				
122	Q33M	母	ママ	99				
123	Q33②1	建物内同居	○あり＝1、○なし＝0	99	88	Q33F＆Q33M＝2		
124	Q33②2	敷地内同居	○あり＝1、○なし＝0	99	88	Q33F＆Q33M＝2		
125	Q33②3	別居	○あり＝1、○なし＝0	99	88	Q33F＆Q33M＝2		
126	Q33②3P	別居・都道府県	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
127	Q33②3C	別居・市区町村	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
128	Q33②3R	別居・鉄道会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
129	Q33②3S	別居・駅	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
130	Q33②3B	別居・バス会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
131	Q33②3BS	別居・バス停	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
132	Q33③	会った回数	ママ	99	88	Q33F＆Q33M＝2	Q33②1orQ33②2＝1	
133	Q33SF	配偶者・父	ママ	99	88	Q17=2,3,4		
134	Q33SM	配偶者・母	ママ	99	88	Q17=2,3,4		
135	Q33S②1	配偶者・建物内同居	○あり＝1、○なし＝0	99	88	Q33SF＆Q33SM＝2		Q17=2,3,4
136	Q33S②2	配偶者・敷地内同居	○あり＝1、○なし＝0	99	88	Q33SF＆Q33SM＝2		Q17=2,3,4
137	Q33S②3	配偶者・別居	○あり＝1、○なし＝0	99	88	Q33SF＆Q33SM＝2		Q17=2,3,4
138	Q33S②3P	配偶者・別居・都道府県	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
139	Q33S②3C	配偶者・別居・市区町村	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
140	Q33S②3R	配偶者・別居・鉄道会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
141	Q33S②3S	配偶者・別居・駅	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
142	Q33S②3B	配偶者・別居・バス会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
143	Q33S②3BS	配偶者・別居・バス停	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
144	Q33③S	配偶者・会った回数	ママ	99	88	Q33SF＆Q33SM＝2	Q33S②1orQ33S②2＝1	Q17=2,3,4
145	Q34	子ども有無	1=1、2（or人数欄に記入あり）＝2	99				

146	Q34N	子ども数	実数	99	0	Q34=1		
147	Q34SN	息子数	実数	99	0	Q34=1		
148	Q34DN	娘数	実数	99	0	Q34=1		
149	Q34(1)1①	長子・性別	ママ	99	88	Q34=1		
150	Q34(1)1②	長子・年齢	実数	99	88	Q34=1		
151	Q34(1)1③	長子・婚姻状況	ママ	99	88	Q34=1		
152	Q34(1)1④	長子・同別居	ママ	99	88	Q34=1		
153	Q34(1)1④P	長子・都道府県	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)1④＝1	
154	Q34(1)1④C	長子・市区町村	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)1④＝1	
155	Q34(1)1④R	長子・鉄道会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)1④＝1	
156	Q34(1)1④S	長子・駅	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)1④＝1	
157	Q34(1)1④B	長子・バス会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)1④＝1	
158	Q34(1)1④BS	長子・バス停	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)1④＝1	
159	Q34(1)２①	中間子・性別	ママ	99	88	Q34=1		
160	Q34(1)２②	中間子・年齢	実数	99	88	Q34=1		
161	Q34(1)２③	中間子・婚姻状況	ママ	99	88	Q34=1		
162	Q34(1)２④	中間子・同別居	ママ	99	88	Q34=1		
163	Q34(1)２④P	中間子・都道府県	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)２④＝1	Q34N＝1
164	Q34(1)２④C	中間子・市区町村	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)２④＝1	Q34N＝1
165	Q34(1)２④R	中間子・鉄道会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)２④＝1	Q34N＝1
166	Q34(1)２④S	中間子・駅	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)２④＝1	Q34N＝1
167	Q34(1)２④B	中間子・バス会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)２④＝1	Q34N＝1
168	Q34(1)２④BS	中間子・バス停	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)２④＝1	Q34N＝1
169	Q34(1)３①	末子・性別	ママ	99	88	Q34=1		
170	Q34(1)３②	末子・年齢	実数	99	88	Q34=1		
171	Q34(1)３③	末子・婚姻状況	ママ	99	88	Q34=1		
172	Q34(1)３④	末子・同別居	ママ	99	88	Q34=1		
173	Q34(1)３④P	末子・都道府県	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)３④＝1	Q34N＝1 or 2
174	Q34(1)３④C	末子・市区町村	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)３④＝1	Q34N＝1 or 2
175	Q34(1)３④R	末子・鉄道会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)３④＝1	Q34N＝1 or 2
176	Q34(1)３④S	末子・駅	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)３④＝1	Q34N＝1 or 2
177	Q34(1)３④B	末子・バス会社	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)３④＝1	Q34N＝1 or 2
178	Q34(1)３④BS	末子・バス停	記入有＝1、記入無＝0	0	88	Q34=1	Q34(1)３④＝1	Q34N＝1 or 2
179	Q34(2)	親・子育て手伝い	ママ	99				
180	Q34(2)S	配偶者親・子育て手伝い	ママ	99				
181	Q35①	親しい・親戚	ママ	99				
182	Q35②	親しい・職場	ママ	99				
183	Q35③	親しい・近所	ママ	99				
184	Q35④	親しい・その他	ママ	99				
185	Q36①	最も親しい人	ママ	99				
186	Q36②	最も頼りにしている人	ママ	99				
187	Q37①	隣人・家族構成	ママ	99				
188	Q37②	隣人・世帯主職業	ママ	99				
189	Q37③	隣人・おすそわけ	ママ	99				
190	Q38	休日の過ごし方	ママ	99				
191	Q39①	睡眠	実数（記入なし＝0）	99	全項目に記入がない場合のみ、99			
192	Q39②	職業関連	実数（記入なし＝0）	99				
193	Q39③	食事・身の周り	実数（記入なし＝0）	99				
194	Q39④	家事	実数（記入なし＝0）	99				
195	Q39⑤	育児	実数（記入なし＝0）	99				
196	Q39⑥	介護	実数（記入なし＝0）	99				
197	Q39⑦	自宅・自由時間	実数（記入なし＝0）	99				
198	Q39⑧	自宅外・自由時間	実数（記入なし＝0）	99				
199	Q40	テレビ視聴有無	1（or記入有）＝1、2＝2	99				
200	Q40Th	テレビ視聴時間（時）	実数	99	0	Q40=2		
201	Q40Tm	テレビ視聴時間（分）	実数	99	0	Q40=2		
202	Q41	ネット利用有無	1（or記入有）＝1、2＝2	99				
203	Q41Th	ネット利用時間（時）	実数	99	0	Q41=2		
204	Q41Tm	ネット利用時間（分）	実数	99	0	Q41=2		
205	Q42	SNS利用	ママ	99				
206	Q43①	店舗等・食料	ママ	99				
207	Q43②	店舗等・衣料品	ママ	99				
208	Q43③	店舗等・家電	ママ	99				
209	Q43④	店舗等・美容院	ママ	99				
210	Q43⑤	店舗等・病院	ママ	99				
211	Q43(1)①	店舗等交通手段・食料	ママ	99	88	Q43①＝5		
212	Q43(1)②	店舗等交通手段・衣料品	ママ	99	88	Q43②＝5		
213	Q43(1)③	店舗等交通手段・家電	ママ	99	88	Q43③＝5		
214	Q43(1)④	店舗等交通手段・美容院	ママ	99	88	Q43④＝5		
215	Q43(1)⑤	店舗等交通手段・病院	ママ	99	88	Q43⑤＝5		

216	Q44①	NS・購入なし	○あり＝1、○なし＝0	99	全項目に丸がない場合のみ、99			
217	Q44②	NS・食料品	○あり＝1、○なし＝0	99				
218	Q44③	NS・健康食品	○あり＝1、○なし＝0	99				
219	Q44④	NS・衣料品	○あり＝1、○なし＝0	99				
220	Q44⑤	NS・家電	○あり＝1、○なし＝0	99				
221	Q44⑥	NS・化粧品	○あり＝1、○なし＝0	99				
222	Q44⑦	NS・書籍	○あり＝1、○なし＝0	99				
223	Q44⑧	NS・保険	○あり＝1、○なし＝0	99				
224	Q44⑨	NS・旅行	○あり＝1、○なし＝0	99				
225	Q44⑩	NS・チケット	○あり＝1、○なし＝0	99				
226	Q44⑪	NS・その他	○あり＝1、○なし＝0	99				
227	Q45	国内旅行有無	1（or記入有）＝1、2＝2	99				
228	Q45T	国内旅行回数	実数	99	0	Q45＝2		
229	Q46	海外旅行有無	1（or記入有）＝1、2＝2	99				
230	Q46T	海外旅行回数	実数	99	0	Q46＝2		
231	Q47①	生計・配偶者	○あり＝1、○なし＝0	99	全項目に丸がない場合のみ、99			
232	Q47②	生計・子ども	○あり＝1、○なし＝0	99				
233	Q47③	生計・子ども配偶者	○あり＝1、○なし＝0	99				
234	Q47④	生計・父親	○あり＝1、○なし＝0	99				
235	Q47⑤	生計・母親	○あり＝1、○なし＝0	99				
236	Q47⑥	生計・孫	○あり＝1、○なし＝0	99				
237	Q47⑦	生計・きょうだい	○あり＝1、○なし＝0	99				
238	Q47⑧	生計・祖父母	○あり＝1、○なし＝0	99				
239	Q47⑨	生計・その他親族	○あり＝1、○なし＝0	99				
240	Q47⑩	生計・その他	○あり＝1、○なし＝0	99				
241	Q48①	家計割合・本人勤労所得	実数（記入なし＝0）	99	全項目に記入がない場合と、Q48⑩＝1の場合は99			
242	Q48②	家計割合・配偶者勤労所得	実数（記入なし＝0）	99				
243	Q48③	家計割合・その他家族勤労所得	実数（記入なし＝0）	99				
244	Q48④	家計割合・本人年金所得	実数（記入なし＝0）	99				
245	Q48⑤	家計割合・配偶者年金所得	実数（記入なし＝0）	99				
246	Q48⑥	家計割合・その他家族年金所得	実数（記入なし＝0）	99				
247	Q48⑦	家計割合・財産所得等	実数（記入なし＝0）	99				
248	Q48⑧	家計割合・行政支援	実数（記入なし＝0）	99				
249	Q48⑨	家計割合・その他	実数（記入なし＝0）	99				
250	Q48⑩	家計割合・回答意思有無	○あり＝1、○なし＝0	99				
251	Q49	世帯年収	ママ	99				
252	Q50	世帯貯蓄額	ママ	99				
253	Free	自由記入欄	記入あり＝1、記入なし＝0	0				

第3章　「市民生活実態調査」の集計・分析

1. 「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」単純集計表（2021年2月版）
2. 自治体からの分析依頼とその対応――川崎市・神戸市からの分析依頼――

2021 年 2 月

「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」
単純集計結果

全体	回収数	2,949	回収率	49.2%	有効票2,871無効票	78	有効回収率 47.9%
川崎	回収数	970	回収率	48.5%	有効票 943無効票	27	有効回収率 47.2%
神戸	回収数	1,045	回収率	52.3%	有効票1,019無効票	26	有効回収率 51.0%
福岡	回収数	934	回収率	46.7%	有効票 909無効票	25	有効回収率 45.4%

Q1. あなたは、現在お住まいのところに住み始めて、何年ですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 生まれてからずっと住んでいる	7.9	(74)	6.8	(69)	8.0	(72)	7.5	(215)
2. （　　年）1 年未満のかた（　ヶ月）	92.1	(866)	93.2	(946)	92.0	(833)	92.5	(2656)
計	100.0	(940)	100.0	(1015)	100.0	(905)	100.0	(2860)

NA11（川崎 3、神戸 4、福岡 4）

※平均　全体 15.5 年(2801)　川崎 15.1 年(913)、神戸 15.5 年(994)、福岡 15.8 年(894)　※「1.」「2.」の合計

Q2. 現在お住まいの住居は次のどちらですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 持ち家一戸建て	34.6	(325)	44.9	(455)	35.6	(321)	38.6	(1101)
2. 賃貸の一戸建て	1.9	(18)	2.7	(27)	3.0	(27)	2.5	(72)
3. 持ち家マンション	31.8	(298)	29.5	(299)	21.6	(195)	27.8	(792)
4. 都市再生機構・公社などの賃貸住宅	0.6	(6)	2.6	(26)	2.7	(24)	2.0	(56)
5. 公営住宅（県営・市営）	3.0	(28)	4.1	(42)	3.2	(29)	3.5	(99)
6. 給与住宅（社宅・公務員住宅など）	2.9	(27)	1.2	(12)	1.9	(17)	2.0	(56)
7. 賃貸のマンション・アパート	24.1	(226)	13.2	(134)	30.4	(274)	22.2	(634)
8. その他（　　）	1.1	(10)	1.8	(18)	1.6	(14)	1.5	(42)
計	100.0	(938)	100.0	(1013)	100.0	(901)	100.0	(2852)

NA19（川崎 5、神戸 6、福岡 8）

Q3. あなたがふだんよく使う鉄道の最寄り駅（JR・私鉄・地下鉄）は、どちらですか。

【鉄道会社　　】【　　駅】

鉄道会社名の記入

	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	97.0	(915)	94.3	(961)	87.6	(796)	93.1	(2672)
記入なし	3.0	(28)	5.7	(58)	12.4	(113)	6.9	(199)
計	100.0	(943)	100.0	(1019)	100.0	(909)	100.0	(2871)

駅名の記入

	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	95.8	(903)	93.8	(956)	86.8	(789)	92.2	(2648)
記入なし	4.2	(40)	6.2	(63)	13.2	(120)	7.8	(223)
計	100.0	(943)	100.0	(1019)	100.0	(909)	100.0	(2871)

Q4. あなたがふだんよく使う最寄りのバス停はどちらですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1.【バス会社　　】【バス停名　　】	61.9	(480)	66.2	(570)	83.2	(689)	70.6	(1739)
2. わからない	38.1	(295)	33.8	(291)	16.8	(139)	29.4	(725)
計	100.0	(775)	100.0	(861)	100.0	(828)	100.0	(2464)

NA407（川崎 168、神戸 158、福岡 81）

バス会社名の記入

	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	71.5	(463)	78.6	(570)	89.4	(688)	80.3	(1721)
記入なし	28.5	(185)	21.4	(155)	10.6	(82)	19.7	(422)
計	100.0	(648)	100.0	(725)	100.0	(772)	100.0	(2143)

非該当 728（川崎 295、神戸 294、福岡 139）

バス停名の記入

	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	72.4	(469)	77.8	(564)	88.1	(678)	79.8	(1711)
記入なし	27.6	(179)	22.2	(161)	11.9	(92)	20.2	(432)
計	100.0	(648)	100.0	(725)	100.0	(772)	100.0	(2143)

非該当 728（川崎 295、神戸 294、福岡 139）

Q5(1)現在お住まいのところに引っ越してくる前は、どちらにお住まいでしたか。①都道府県名と市区町村名をお書きください。おわかりになるかたは、②鉄道の最寄り駅、③最寄りのバス停もお書きください。

※現在お住まいのところに、生まれてからずっと住んでいるかたは、⇒Q6 へお進みください。

①都道府県・市区町村　【　都道府県　】【　市区町村　】
②鉄道の最寄り駅　【　鉄道会社　】【　駅】
③最寄りのバス停　【　バス会社　】【　バス停名　】

都道府県名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	96.8	(841)	96.1	(913)	96.8	(810)	96.5	(2564)
記入なし	3.2	(28)	3.9	(37)	3.2	(27)	3.5	(92)
計	100.0	(869)	100.0	(950)	100.0	(837)	100.0	(2656)

非該当 215（川崎 74、神戸 69、福岡 72）

市区町村名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	95.7	(832)	95.4	(906)	95.8	(802)	95.6	(2540)
記入なし	4.3	(37)	4.6	(44)	4.2	(35)	4.4	(116)
計	100.0	(869)	100.0	(950)	100.0	(837)	100.0	(2656)

非該当 215（川崎 74、神戸 69、福岡 72）

鉄道会社名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	90.7	(788)	85.1	(808)	71.2	(596)	82.5	(2192)
記入なし	9.3	(81)	14.9	(142)	28.8	(241)	17.5	(464)
計	100.0	(869)	100.0	(950)	100.0	(837)	100.0	(2656)

非該当 215（川崎 74、神戸 69、福岡 72）

駅名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	90.1	(783)	84.7	(805)	70.7	(592)	82.1	(2180)
記入なし	9.9	(86)	15.3	(145)	29.3	(245)	17.9	(476)
計	100.0	(869)	100.0	(950)	100.0	(837)	100.0	(2656)

非該当 215（川崎 74、神戸 69、福岡 72）

バス会社名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	28.9	(251)	35.7	(339)	55.0	(460)	39.5	(1050)
記入なし	71.1	(618)	64.3	(610)	45.0	(377)	60.5	(1605)
計	100.0	(869)	100.0	(949)	100.0	(837)	100.0	(2655)

非該当 216（川崎 74、神戸 70、福岡 72）

バス停名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	27.4	(238)	33.9	(322)	52.6	(440)	37.7	(1000)
記入なし	72.6	(631)	66.1	(627)	47.4	(397)	62.3	(1655)
計	100.0	(869)	100.0	(949)	100.0	(837)	100.0	(2655)

非該当 216（川崎 74、神戸 70、福岡 72）

Q5(2)そのときに住んでいた住居は次のどちらですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 持ち家一戸建て	17.5	(148)	23.7	(219)	16.8	(137)	19.5	(504)
2. 賃貸の一戸建て	4.6	(39)	5.3	(49)	7.4	(60)	5.7	(148)
3. 持ち家マンション	9.2	(78)	13.2	(122)	8.7	(71)	10.5	(271)
4. 都市再生機構・公社などの賃貸住宅	1.8	(15)	4.4	(41)	3.4	(28)	3.2	(84)
5. 公営住宅（県営・市営）	3.2	(27)	7.0	(65)	4.0	(33)	4.8	(125)
6. 給与住宅（社宅・公務員住宅など）	12.2	(103)	10.4	(96)	9.3	(76)	10.6	(275)
7. 賃貸のマンション・アパート	50.1	(424)	33.8	(313)	48.5	(395)	43.8	(1132)
8. その他（　　）	1.5	(13)	2.2	(20)	1.8	(15)	1.9	(48)
計	100.0	(847)	100.0	(925)	100.0	(815)	100.0	(2587)

NA69（川崎 22、神戸 25、福岡 22）　非該当 215（川崎 74、神戸 69、福岡 72）

Q5(3)現在の住居に引っ越してきた最も大きな理由は次のうちどちらですか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んでお答えください。【1 つだけ○】

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 通勤・通学の便	19.2	(163)	13.0	(119)	15.7	(127)	15.9	(409)
2. 教育環境・子どもの成長による変化など	13.1	(111)	16.1	(148)	13.2	(107)	14.2	(366)
3. 生活環境(生活のしやすさ・諸施設の充実など)	23.3	(198)	25.6	(235)	27.5	(223)	25.4	(656)
4. 家族の介護・看病の都合	2.1	(18)	2.6	(24)	3.0	(24)	2.6	(66)
5. 親と子の同居・近居のため	9.9	(84)	11.3	(104)	8.9	(72)	10.1	(260)
6. その他（　　）	32.4	(275)	31.4	(288)	31.8	(258)	31.8	(821)
計	100.0	(849)	100.0	(918)	100.0	(811)	100.0	(2578)

NA78（川崎 20、神戸 32、福岡 26）　非該当 215（川崎 74、神戸 69、福岡 72）

Q6. あなたは、川崎市／神戸市／福岡市に今後も住み続けたいですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 住み続けたい	47.0	(438)	71.6	(726)	79.9	(723)	66.2	(1887)
2. どちらかといえば住み続けたい	39.1	(364)	22.6	(229)	17.2	(156)	26.3	(749)
3. どちらかといえば住み続けたくない	10.9	(102)	4.4	(45)	2.2	(20)	5.9	(167)
4. 住み続けたくない	3.0	(28)	1.4	(14)	0.7	(6)	1.7	(48)
計	100.0	(932)	100.0	(1014)	100.0	(905)	100.0	(2851)

NA20（川崎 11、神戸 5、福岡 4）

Q7. あなたは、日ごろの生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか。それとも、仕事や家事、学業などに精一杯で時間のゆとりがありませんか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. かなりゆとりがある	16.4	(154)	23.2	(235)	22.4	(202)	20.7	(591)
2. ある程度ゆとりがある	46.7	(438)	42.8	(434)	46.9	(423)	45.4	(1294)
3. あまりゆとりがない	27.6	(259)	24.8	(251)	21.1	(190)	24.6	(700)
4. ほとんどゆとりがない	9.3	(87)	9.2	(93)	9.5	(86)	9.3	(266)
計	100.0	(938)	100.0	(1012)	100.0	(901)	100.0	(2851)

NA20（川崎 5、神戸 7、福岡 8）

Q8. あなたは全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 満足している	19.4	(182)	21.0	(212)	20.9	(189)	20.5	(583)
2. まあ満足している	57.4	(538)	55.9	(564)	55.0	(497)	56.1	(1599)
3. やや不満である	19.9	(186)	18.4	(186)	19.5	(176)	19.2	(548)
4. 不満である	3.3	(31)	4.7	(47)	4.6	(42)	4.2	(120)
計	100.0	(937)	100.0	(1009)	100.0	(904)	100.0	(2850)

NA21（川崎 6、神戸 10、福岡 5）

Q9. あなたは町内会・自治会に加入されていますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 加入して積極的に活動している	3.7	(35)	4.2	(43)	7.1	(64)	5.0	(142)
2. 加入している	55.5	(519)	54.2	(550)	59.6	(538)	56.3	(1607)
3. 加入していない	40.7	(381)	41.5	(421)	33.3	(301)	38.7	(1103)
計	100.0	(935)	100.0	(1014)	100.0	(903)	100.0	(2852)

NA19（川崎 8、神戸 5、福岡 6）

Q10. あなたは習い事とは別に何らかのグループ・サークル活動（各種スポーツ･芸術文化・ボランティアなど）に参加されていますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 参加して積極的に活動している	6.0	(56)	8.1	(82)	7.8	(70)	7.3	(208)
2. 参加している	16.5	(155)	20.6	(209)	21.0	(190)	19.4	(554)
3. 参加していない	77.5	(726)	71.3	(722)	71.2	(643)	73.3	(2091)
計	100.0	(937)	100.0	(1013)	100.0	(903)	100.0	(2853)

NA18（川崎 6、神戸 6、福岡 6）

Q11. あなたは、「この１年間」で、（市立の地域施設）を利用したことがありますか。

「川崎市立の地域施設（教育文化会館・市民館）」
「神戸市立の地域施設（地域福祉センター、公民館、児童館、区民センター、勤労市民センターなど）」
「福岡市立の地域施設（各区の市民センター（東区は（なみきスクエア））・公民館、地域交流センター）」

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 利用したことがある	32.1	(301)	35.2	(357)	40.2	(364)	35.8	(1022)
2. 利用したことがない	64.4	(603)	62.2	(631)	52.6	(477)	59.9	(1711)
3. 知らなかった	3.5	(33)	2.6	(26)	7.2	(65)	4.3	(124)
計	100.0	(937)	100.0	(1014)	100.0	(906)	100.0	(2857)

NA14（川崎 6、神戸 5、福岡 3）

Q12. あなたは、「この１年間」で、（図書館）を利用したことがありますか。

「川崎市立の図書館」
「神戸市立の図書館」
「福岡市総合図書館（各区の図書館含む）」

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 利用したことがある	28.1	(264)	29.7	(302)	28.0	(253)	28.7	(819)
2. 利用したことがない	71.0	(667)	69.8	(709)	69.0	(623)	69.9	(1999)
3. 知らなかった	0.9	(8)	0.5	(5)	3.0	(27)	1.4	(40)
計	100.0	(939)	100.0	(1016)	100.0	(903)	100.0	(2858)

NA13（川崎 4、神戸 3、福岡 6）

Q13. あなたは、「この１年間」で、（市のスポーツ施設）を利用したことがありますか。

「川崎市のスポーツ施設（カルッツかわさき、とどろきアリーナ、各区スポーツセンター）」

「神戸市のスポーツ施設（神戸総合運動公園、しあわせの村、体育館、スポーツセンター、野球場、テニスコートなど）」

「福岡市のスポーツ施設（福岡市総合体育館、福岡市民体育館、各区の体育館・市民プール）」

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 利用したことがある	18.9	(178)	26.8	(272)	23.4	(212)	23.1	(662)
2. 利用したことがない	78.8	(741)	72.6	(737)	74.9	(678)	75.1	(2156)
3. 知らなかった	2.2	(21)	0.6	(6)	1.7	(15)	1.5	(42)
計	100.0	(940)	100.0	(1015)	100.0	(905)	100.0	(2860)

NA11（川崎 3、神戸 4、福岡 4）

Q14. あなたは、「この１年間」で、（市の広報紙）を読んだことがありますか。

「川崎市の広報紙「かわさき市政だより」」

「神戸市の広報紙「広報紙ＫＯＢＥ」」

「福岡市の広報紙「福岡市政だより」」

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 読んだことがある	67.9	(637)	75.2	(763)	82.9	(750)	75.3	(2150)
2. 読んだことがない	29.2	(274)	22.4	(227)	16.1	(146)	22.6	(647)
3. 知らなかった	2.9	(27)	2.4	(24)	1.0	(9)	2.1	(60)
計	100.0	(938)	100.0	(1014)	100.0	(905)	100.0	(2857)

NA14（川崎 5、神戸 5、福岡 4）

Q15. あなたは、今年 7 月 21 日の参議院選挙の投票に行きましたか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 投票に行った	68.6	(643)	68.1	(691)	61.5	(557)	66.2	(1891)
2. 投票に行かなかった	31.4	(294)	31.9	(323)	38.5	(349)	33.8	(966)
計	100.0	(937)	100.0	(1014)	100.0	(906)	100.0	(2857)

NA14（川崎 6、神戸 5、福岡 3）

Q16. あなたの性別は次のどちらですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 男性	43.9	(413)	41.7	(423)	42.8	(388)	42.8	(1224)
2. 女性	56.1	(527)	58.3	(592)	57.2	(518)	57.2	(1637)
計	100.0	(940)	100.0	(1015)	100.0	(906)	100.0	(2861)

NA10（川崎 3、神戸 4、福岡 3）

Q17. あなたは現在、結婚（内縁の関係・事実婚も含む）されていますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 結婚している（再婚を含む）	66.9	(628)	66.1	(671)	62.8	(570)	65.3	(1869)
2. 結婚していたが、配偶者と離別した	6.2	(58)	7.4	(75)	7.4	(67)	7.0	(200)
3. 結婚していたが、配偶者と死別した	3.4	(32)	6.0	(61)	5.2	(47)	4.9	(140)
4. 結婚したことはない	23.5	(221)	20.5	(208)	24.6	(223)	22.8	(652)
計	100.0	(939)	100.0	(1015)	100.0	(907)	100.0	(2861)

NA10（川崎 4、神戸 4、福岡 2）

～「1. 結婚している」を選択したかたは、配偶者についてもご回答ください～

Q18. あなた（および配偶者）の年齢はおいくつですか。

※平均	川崎	神戸	福岡	全体
本人	49.8 歳 (873)	53.8 歳 (953)	51.4 歳 (859)	51.8 歳 (2685)
配偶者	52.4 歳 (618)	57.0 歳 (660)	54.1 歳 (561)	54.6 歳 (1839)

本人 NA186（川崎 70、神戸 66、福岡 50）　配偶者　NA39（川崎 14、神戸 15、福岡 10）　非該当 993（川崎 311、神戸 344、福岡 338）

Q19. あなた（および配偶者）の最後に行かれた（中退および在学中を含む）学校はどれですか。

（本人）	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 中学	4.8	(42)	4.9	(47)	4.7	(41)	4.8	(130)
2. 高校	24.5	(216)	32.9	(316)	29.1	(252)	29.0	(784)
3. 高専･短大･専門学校（高校卒業後に進学したもの）	23.4	(206)	19.7	(189)	23.7	(205)	22.2	(600)
4. 大学･大学院	47.3	(417)	42.6	(409)	42.5	(368)	44.1	(1194)
計	100.0	(881)	100.0	(961)	100.0	(866)	100.0	(2708)

NA163（川崎 62、神戸 58、福岡 43）

Q20. あなた（および配偶者）の出身地はどちらですか。出身地とは、15 歳までに主に過ごされたところとお考えください。合併後の自治体名でお答えください。

都道府県名（本人）	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	94.7	(893)	94.5	(963)	95.0	(864)	94.7	(2720)
記入なし	5.3	(50)	5.5	(56)	5.0	(45)	5.3	(151)
計	100.0	(943)	100.0	(1019)	100.0	(909)	100.0	(2871)

市区町村（本人）	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	91.1	(859)	91.8	(935)	92.3	(839)	91.7	(2633)
記入なし	8.9	(84)	8.2	(84)	7.7	(70)	8.3	(238)
計	100.0	(943)	100.0	(1019)	100.0	(909)	100.0	(2871)

外国名（本人）	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	0.2	(2)	0.1	(1)	0.1	(1)	0.1	(4)
記入なし	5.3	(50)	5.9	(60)	5.1	(46)	5.4	(156)
非該当	94.5	(891)	94.0	(958)	94.8	(862)	94.4	(2711)
計	100.0	(943)	100.0	(1019)	100.0	(909)	100.0	(2871)

Q21. 現在のあなた（および配偶者）の主な職業は次のどれですか。【1 つだけ○】

（本人）	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 農・林・漁業従事者（家族従事者を含む）	0.0	(0)	0.6	(6)	0.3	(3)	0.3	(9)
2. 1.以外の自営業者（家族従事者を含む）	5.5	(50)	5.4	(53)	6.1	(54)	5.7	(157)
3. 会社員（経営者を含む）	43.0	(391)	30.7	(301)	34.1	(301)	35.8	(993)
4. 教員　（公立学校を含む）	1.5	(14)	2.4	(24)	2.2	(19)	2.1	(57)
5. 公務員（教員は除く）	1.7	(15)	2.4	(24)	2.7	(24)	2.3	(63)
6. パート・アルバイト・派遣等（控除や扶養の範囲を超える）	8.7	(79)	7.4	(73)	8.3	(73)	8.1	(225)
7. パート・アルバイト・派遣等（控除や扶養の範囲内）	9.5	(86)	12.4	(122)	10.9	(96)	11.0	(304)
8. その他（具体的に　　）	3.7	(34)	4.0	(39)	3.6	(32)	3.8	(105)
9. 無職	11.4	(104)	17.4	(171)	15.5	(137)	14.9	(412)
10. 専業主婦・専業主夫	12.0	(109)	14.1	(138)	12.9	(114)	13.0	(361)
11. 学生	3.0	(27)	3.2	(31)	3.4	(30)	3.2	(88)
計	100.0	(909)	100.0	(982)	100.0	(883)	100.0	(2774)

NA97（川崎 34、神戸 37、福岡 26）

※9.～11. に○をつけた方は、⇒Q23 にお進みください

Q22(1)職場はどちらにありますか。①都道府県・市区町村、②最寄り駅または最寄りのバス停をお答えください。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 職場は自宅である⇒Q22(3)	4.0	(26)	4.1	(25)	6.8	(40)	4.9	(91)
2. ①【　　都道府県】【　　市区町村】 ②【鉄道会社　　】【　　駅】 【バス会社　　】【バス停名　　】	96.0	(630)	95.9	(589)	93.2	(551)	95.1	(1770)
計	100.0	(656)	100.0	(614)	100.0	(591)	100.0	(1861)

NA113（川崎 35、神戸 55、福岡 23）　非該当 897（川崎 252、神戸 350、福岡 295）

都道府県名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	92.6	(616)	90.4	(582)	93.9	(539)	92.2	(1737)
記入なし	7.4	(49)	9.6	(62)	6.1	(35)	7.8	(148)
計	100.0	(665)	100.0	(644)	100.0	(574)	100.0	(1883)

非該当 988（川崎 278、神戸 375、福岡 335）

市区町村名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	92.0	(612)	89.9	(579)	92.5	(531)	91.4	(1722)
記入なし	8.0	(53)	10.1	(65)	7.5	(43)	8.6	(161)
計	100.0	(665)	100.0	(644)	100.0	(574)	100.0	(1883)

非該当 988（川崎 278、神戸 375、福岡 335）

鉄道会社名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	78.2	(520)	68.6	(442)	56.8	(326)	68.4	(1288)
記入なし	21.8	(145)	31.4	(202)	43.2	(248)	31.6	(595)
計	100.0	(665)	100.0	(644)	100.0	(574)	100.0	(1883)

非該当 988（川崎 278、神戸 375、福岡 335）

駅名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	78.0	(519)	69.1	(445)	56.8	(326)	68.5	(1290)
記入なし	22.0	(146)	30.9	(199)	43.2	(248)	31.5	(593)
計	100.0	(665)	100.0	(644)	100.0	(574)	100.0	(1883)

非該当 988（川崎 278、神戸 375、福岡 335）

バス会社名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	13.7	(91)	15.3	(98)	41.6	(239)	22.8	(428)
記入なし	86.3	(574)	84.7	(543)	58.4	(335)	77.2	(1452)
計	100.0	(665)	100.0	(641)	100.0	(574)	100.0	(1880)

非該当 991（川崎 278、神戸 378、福岡 335）

バス停名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	13.1	(87)	15.3	(98)	38.7	(222)	21.6	(407)
記入なし	86.9	(578)	84.7	(543)	61.3	(352)	78.4	(1473)
計	100.0	(665)	100.0	(641)	100.0	(574)	100.0	(1880)

非該当 991（川崎 278、神戸 378、福岡 335）

Q22(2)主な通勤手段は次のどれですか。【1 つだけ○】　また、日ごろ使う交通手段でかかる通勤時間（家から職場までにかかる総所要時間）はどれくらいですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 徒歩	6.3	(40)	9.0	(54)	9.7	(53)	8.3	(147)
2. 自転車	10.3	(65)	8.3	(50)	14.4	(79)	10.9	(194)
3. バイク	2.5	(16)	3.5	(21)	3.7	(20)	3.2	(57)
4. 自動車	8.6	(54)	22.4	(135)	36.6	(200)	21.8	(389)
5. 路線バス	5.2	(33)	7.3	(44)	14.4	(79)	8.8	(156)
6. 鉄道	66.9	(422)	48.9	(295)	19.2	(105)	46.2	(822)
7. その他	0.2	(1)	0.7	(4)	2.0	(11)	0.9	(16)
計	100.0	(631)	100.0	(603)	100.0	(547)	100.0	(1781)

NA104（川崎 35、神戸 42、福岡 27）　非該当 986（川崎 277、神戸 374、福岡 335）

※平均　全体 38.9 分(1614)　川崎 44.3 分(578)　神戸 40.7 分(552)　福岡 30.4 分(484)

Q22(3)平均的な・最も多い出勤時刻（家を出る時刻）と、帰宅時刻（家に着く時刻）はいつですか。職場がご自宅のかたは、仕事の開始時刻と終了時刻をお答えください。

Q23. あなた（および配偶者）の、この 1 週間の生活についてお聞きします。この 1 週間とは、調査票が届いた日を 7 日目としてその前 7 日間とお考えください。（家事・育児･介護などは含めずお答えください）

①1 週間のうち、働いた日は何日ありましたか

	川崎		神戸		福岡		全体	
1.（　　日）	73.6	(668)	69.5	(658)	69.7	(616)	70.9	(1944)
2. 働かなかった	26.4	(239)	30.5	(289)	30.3	(268)	29.1	(796)
計	100.0	(907)	100.0	(947)	100.0	(884)	100.0	(2740)

NA131（川崎 36、神戸 72、福岡 25）

※平均　全体 3.4 日(2738)　川崎 3.5 日(906)　神戸 3.3 日(948)　福岡 3.4 日(884)

②1 週間で、合計何時間くらい働きましたか

	川崎		神戸		福岡		全体	
1.（　　時間）	73.5	(666)	68.7	(626)	69.7	(616)	70.6	(1908)
2. 働かなかった	26.5	(240)	31.3	(285)	30.3	(268)	29.4	(793)
計	100.0	(906)	100.0	(911)	100.0	(884)	100.0	(2701)

NA170（川崎 37、神戸 108、福岡 25）

※平均　全体 26.7 時間(2629)　川崎 28.0 時間(868)　神戸 24.9 時間(911)　福岡 27.2 時間(850)

Q24. あなた（および配偶者）は、日ごろどの程度自動車を運転していますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 週（　　日）運転している	75.3	(666)	75.3	(702)	82.5	(710)	77.6	(2078)
2. 免許を持っていない	24.7	(219)	24.7	(230)	17.5	(151)	22.4	(600)
計	100.0	(885)	100.0	(932)	100.0	(861)	100.0	(2678)

NA193（川崎 58、神戸 87、福岡 48）

※平均　全体 2.2 日(2678)　川崎 1.4 日(883)　神戸 2.2 日(933)　福岡 2.9 日(862)

Q25. あなたの世帯では、自家用車をお持ちですか。お持ちのかたは台数を記入してください。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 持っている（　　台）	58.8	(544)	71.2	(710)	76.7	(686)	68.9	(1940)
2. 持っていない	41.2	(381)	28.8	(287)	23.3	(208)	31.1	(876)
計	100.0	(925)	100.0	(997)	100.0	(894)	100.0	(2816)

NA55（川崎 18、神戸 22、福岡 15）

※平均　全体 0.9 台(2804)　川崎 0.7 台(922)　神戸 0.9 台(989)　福岡 1.0 台(893)

Q26. 現在お住まいの住居に一緒に住んでいるかたは何人ですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. あなたお一人　⇒Q27(1)	12.9	(121)	14.3	(145)	18.7	(170)	15.2	(436)
2. あなたを含めて（　　人）	87.1	(820)	85.7	(872)	81.3	(737)	84.8	(2429)
計	100.0	(941)	100.0	(1017)	100.0	(907)	100.0	(2865)

NA6（川崎 2、神戸 2、福岡 2）

※平均　全体 2.9 人(2815)　川崎 3.0 人(922)　神戸 2.9 人(996)　福岡 2.7 人(897)

Q27. 一緒にお住まいになっているかたはどなたですか。【すべてに○】

○をつけた割合	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 配偶者	65.5	(604)	64.1	(639)	58.6	(527)	62.8	(1770)
2. 子ども	46.5	(429)	40.5	(404)	40.1	(361)	42.4	(1194)
3. 子どもの配偶者	1.1	(10)	1.3	(13)	1.7	(15)	1.3	(38)
4. あなた（または配偶者）の父親	12.0	(111)	11.2	(112)	10.1	(91)	11.1	(314)
5. あなた（または配偶者）の母親	18.3	(169)	17.2	(171)	18.2	(164)	17.9	(504)
6. 孫	2.0	(18)	2.2	(22)	1.7	(15)	2.0	(55)
7. あなた（または配偶者）のきょうだい	8.4	(77)	6.8	(68)	7.4	(67)	7.5	(212)
8. あなた（または配偶者）の祖父・祖母	0.7	(6)	1.1	(11)	1.9	(17)	1.2	(34)
9. その他の親族（　　）	1.1	(10)	0.8	(8)	0.7	(6)	0.9	(24)
10. その他（　　）	1.1	(10)	0.7	(7)	1.4	(13)	1.1	(30)

NA52（川崎 21、神戸 22、福岡 9）

※世帯構成

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 単身	13.1	(121)	14.5	(145)	18.9	(170)	15.5	(436)
2. 夫婦	22.9	(211)	28.2	(281)	23.0	(207)	24.8	(699)
3. 夫婦と子	47.1	(434)	38.8	(387)	37.0	(333)	40.9	(1154)
4. ひとり親と子	7.9	(73)	8.9	(89)	9.1	(82)	8.7	(244)
5. 多世代	6.7	(62)	7.5	(75)	9.0	(81)	7.7	(218)
6. その他	2.3	(21)	2.0	(20)	3.0	(27)	2.4	(68)
計	100.0	(922)	100.0	(997)	100.0	(900)	100.0	(2819)

欠損値 52（川崎 21、神戸 22、福岡 9）

Q27(1)配偶者のかたと同居されていない場合、その理由は以下のどれにあたりますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 単身赴任	62.5	(10)	66.7	(14)	59.5	(22)	62.2	(46)
2. 病院・施設等に入所しているため	18.8	(3)	4.8	(1)	5.4	(2)	8.1	(6)
3. 別居婚を選択	12.5	(2)	28.6	(6)	18.9	(7)	20.3	(15)
4. その他（　　）	6.3	(1)	0.0	(0)	16.2	(6)	9.5	(7)
計	100.0	(16)	100.0	(21)	100.0	(37)	100.0	(74)

NA34（川崎 12、神戸 13、福岡 9）　非該当 2763（川崎 915、神戸 985、福岡 863）

Q28. あなたの世帯の家事（炊事、掃除、洗濯、買い物、ゴミ捨てなど）についてお聞きします。日ごろあなたはどの程度家事をしていますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. すべてしている	31.5	(292)	33.1	(332)	36.5	(329)	33.7	(953)
2. ほとんどしている	20.4	(189)	19.3	(193)	18.8	(169)	19.5	(551)
3. 半分くらいしている	17.9	(166)	16.3	(163)	13.8	(124)	16.0	(453)
4. あまりしていない	24.0	(222)	25.1	(252)	24.0	(216)	24.4	(690)
5. まったくしていない	6.2	(57)	6.2	(62)	7.0	(63)	6.4	(182)
計	100.0	(926)	100.0	(1002)	100.0	(901)	100.0	(2829)

NA42（川崎 17、神戸 17、福岡 8）

Q29. 現在、日常的にあなた自身が抱えている生活上の課題や問題（育児・子育てや家族の看病・介護など）はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【すべてに○】

○をつけた割合	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 生活上の課題や問題はない	62.4	(540)	64.3	(584)	65.5	(541)	64.1	(1665)
2. あなたの子どもの育児・子育て	18.4	(159)	16.2	(147)	16.7	(138)	17.1	(444)
3. あなたの孫の育児・子育て	2.4	(21)	3.3	(30)	2.9	(24)	2.9	(75)
4. 配偶者の看病・介護	2.9	(25)	4.1	(37)	2.8	(23)	3.3	(85)
5. 親御さんの看病・介護（配偶者の親も含む）	16.8	(145)	15.9	(144)	15.3	(126)	16.0	(415)
6. その他親族（子どもを含む）の看病・介護	2.8	(24)	2.5	(23)	2.7	(22)	2.7	(69)

NA272（川崎 78、神戸 111、福岡 83）

Q30. 現在、あなたが抱えている悩みやもめ事はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【すべてに○】

○をつけた割合	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 現在抱えている悩みや問題はない	34.1	(308)	33.9	(330)	36.4	(318)	34.8	(956)
2. 自分の健康に関する悩み	28.5	(257)	33.7	(328)	31.0	(271)	31.1	(856)
3. 家族の健康に関する悩み	21.9	(197)	24.1	(235)	23.1	(202)	23.1	(634)
4. 配偶者に関する悩みやもめ事	9.0	(81)	6.7	(65)	7.0	(61)	7.5	(207)
5. 家族・親族に関する悩みやもめ事	16.6	(150)	14.3	(139)	14.9	(130)	15.2	(419)
6. 仕事上の悩みやもめ事	21.5	(194)	20.6	(201)	21.1	(184)	21.1	(579)
7. 金銭上の悩みやもめ事	17.7	(160)	19.7	(192)	18.2	(159)	18.6	(511)
8. となり近所についての悩みやもめ事	2.8	(25)	4.3	(42)	2.1	(18)	3.1	(85)
9. 友人づきあいの悩みやもめ事	2.1	(19)	3.5	(34)	2.9	(25)	2.8	(78)
10. その他の悩みやもめ事（　　）	5.5	(50)	4.0	(39)	4.2	(37)	4.6	(126)

NA122（川崎 41、神戸 45、福岡 36）

Q31. あなたは、健康のために運動や食生活などの生活習慣を改善しようと思いますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 改善するつもりはない	11.1	(102)	9.3	(93)	9.0	(80)	9.8	(275)
2. 改善したいが、していない	32.5	(299)	31.6	(314)	29.9	(265)	31.3	(878)
3. 改善するつもりで少しずつ始めている	37.0	(340)	35.7	(355)	37.8	(335)	36.8	(1030)
4. 既に改善に取り組んでいる	19.5	(179)	23.4	(233)	23.3	(206)	22.1	(618)
計	100.0	(920)	100.0	(995)	100.0	(886)	100.0	(2801)

NA70（川崎 23、神戸 24、福岡 23）

Q32. あなたには、ご存命のごきょうだいがいらっしゃいますか。(義理のきょうだいは含めずお考えください)

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. いる（　　人）	90.9	(841)	88.8	(884)	90.7	(817)	90.1	(2542)
2. いない　⇒Q33	9.1	(84)	11.2	(112)	9.3	(84)	9.9	(280)
計	100.0	(925)	100.0	(996)	100.0	(901)	100.0	(2822)

NA49（川崎 18、神戸 23、福岡 8）

※平均　全体 1.6 人(2806)　川崎 1.6 人(915)　神戸 1.5 人(995)　福岡 1.7 人(896)

Q32(1)最も親しくしているごきょうだいと、「この 1 年間」で会った回数はどのくらいですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 週に 1 回以上	16.0	(133)	13.0	(113)	15.8	(128)	14.9	(374)
2. 3 ヶ月に 1 回以上	30.1	(251)	30.5	(265)	30.0	(243)	30.2	(759)
3. 年 1～2 回程度	40.0	(333)	40.4	(351)	41.1	(333)	40.5	(1017)
4. まったく会わなかった	13.9	(116)	16.1	(140)	13.1	(106)	14.4	(362)
計	100.0	(833)	100.0	(869)	100.0	(810)	100.0	(2512)

NA78（川崎 25、神戸 38、福岡 15）　非該当 281（川崎 85、神戸 112、福岡 84）

Q33. あなた（および配偶者）の親御さんについてお聞きします。

①ご健在ですか　両親とも他界している場合⇒Q34

	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの父 1. ご健在	51.5 (469)	43.5 (420)	47.0 (414)	47.3 (1303)
2. 他界した	48.5 (441)	56.5 (546)	53.0 (466)	52.7 (1453)
計	100.0 (910)	100.0 (966)	100.0 (880)	100.0 (2756)

NA115（川崎 33、神戸 53、福岡 29）

	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの母 1. ご健在	68.4 (631)	58.9 (575)	65.6 (588)	64.2 (1794)
2. 他界した	31.6 (291)	41.1 (402)	34.4 (308)	35.8 (1001)
計	100.0 (922)	100.0 (977)	100.0 (896)	100.0 (2795)

NA76（川崎 21、神戸 42、福岡 13）

	川崎	神戸	福岡	全体
配偶者の父 1. ご健在	48.3 (291)	38.1 (237)	42.5 (231)	42.9 (759)
2. 他界した	51.7 (312)	61.9 (385)	57.5 (313)	57.1 (1010)
計	100.0 (603)	100.0 (622)	100.0 (544)	100.0 (1769)

NA106（川崎 27、神戸 52、福岡 27）　非該当 996（川崎 313、神戸 345、福岡 338）

	川崎	神戸	福岡	全体
配偶者の母 1. ご健在	65.3 (395)	56.9 (359)	62.2 (342)	61.4 (1096)
2. 他界した	34.7 (210)	43.1 (272)	37.8 (208)	38.6 (690)
計	100.0 (605)	100.0 (631)	100.0 (550)	100.0 (1786)

NA89（川崎 25、神戸 43、福岡 21）　非該当 996（川崎 313、神戸 345、福岡 338）

②あなたと同居か別居か。

別居の場合は、1)都道府県・市区町村、2)最寄駅または最寄のバス停をお書きください

○をつけた割合	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの親 1. 同じ建物内に同居	23.6 (155)	25.5 (155)	24.5 (150)	24.5 (460)
2. 同じ敷地内に住んでいる	1.1 (7)	1.1 (7)	2.0 (12)	1.4 (26)
3. 別居している	76.1 (501)	73.2 (453)	75.1 (461)	74.8 (1415)

都道府県名	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの親 記入あり	88.8 (460)	80.8 (400)	87.0 (408)	85.6 (1268)
記入なし	11.2 (58)	19.2 (95)	13.0 (61)	14.4 (214)
計	100.0 (518)	100.0 (495)	100.0 (469)	100.0 (1482)

非該当 1389（川崎 425、神戸 524、福岡 440）

市区町村名	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの親 記入あり	85.9 (445)	79.0 (391)	84.9 (398)	83.3 (1234)
記入なし	14.1 (73)	21.0 (104)	15.1 (71)	16.7 (248)
計	100.0 (518)	100.0 (495)	100.0 (469)	100.0 (1482)

非該当 1389（川崎 425、神戸 524、福岡 440）

鉄道会社名	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの親 記入あり	63.5 (329)	58.8 (291)	46.3 (217)	56.5 (837)
記入なし	36.5 (189)	41.2 (204)	53.7 (252)	43.5 (645)
計	100.0 (518)	100.0 (495)	100.0 (469)	100.0 (1482)

非該当 1389（川崎 425、神戸 524、福岡 440）

駅名	川崎	神戸	福岡	全体
あなたの親 記入あり	62.9 (326)	59.2 (293)	46.5 (218)	56.5 (837)
記入なし	37.1 (192)	40.8 (202)	53.5 (251)	43.5 (645)
計	100.0 (518)	100.0 (495)	100.0 (469)	100.0 (1482)

非該当 1389（川崎 425、神戸 524、福岡 440）

あなたの親

バス会社名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	16.2	(84)	21.2	(105)	30.1	(141)	22.3	(330)
記入なし	83.8	(434)	78.8	(390)	69.9	(328)	77.7	(1152)
計	100.0	(518)	100.0	(495)	100.0	(469)	100.0	(1482)

非該当 1389（川崎 425、神戸 524、福岡 440）

あなたの親

バス停名	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	16.6	(86)	20.6	(102)	29.0	(136)	21.9	(324)
記入なし	83.4	(432)	79.4	(393)	71.0	(333)	78.1	(1158)
計	100.0	(518)	100.0	(495)	100.0	(469)	100.0	(1482)

非該当 1389（川崎 425、神戸 524、福岡 440）

③「この１年間」に何回会いましたか

あなたの親

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 週に１回以上	15.1	(74)	24.4	(108)	18.5	(82)	19.2	(264)
2. ３ヶ月に１回以上	43.1	(211)	43.9	(194)	48.0	(213)	44.9	(618)
3. 年 1～2 回程度	34.5	(169)	26.5	(117)	30.4	(135)	30.6	(421)
4. まったく会わなかった	7.3	(36)	5.2	(23)	3.2	(14)	5.3	(73)
計	100.0	(490)	100.0	(442)	100.0	(444)	100.0	(1376)

NA105（川崎 28、神戸 52、福岡 25）　非該当 1390（川崎 425、神戸 525、福岡 440）

配偶者の親

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 週に１回以上	9.0	(34)	18.0	(62)	13.7	(45)	13.4	(141)
2. ３ヶ月に１回以上	40.1	(152)	40.9	(141)	45.1	(148)	41.9	(441)
3. 年 1～2 回程度	43.5	(165)	32.8	(113)	33.5	(110)	36.9	(388)
4. まったく会わなかった	7.4	(28)	8.4	(29)	7.6	(25)	7.8	(82)
計	100.0	(379)	100.0	(345)	100.0	(328)	100.0	(1052)

NA111（川崎 31、神戸 52、福岡 28）　非該当 1708（川崎 533、神戸 622、福岡 553）

Q34. あなたのお子さんについてお聞きします。あなたには、ご存命のお子さんが何人いらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、息子さん・娘さんそれぞれの人数もお書きください。養子・継子も含めてください。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 子どもはいない　⇒Q33	35.4	(324)	30.8	(306)	35.3	(312)	33.7	(942)
2. 子どもがいる（　　人）	64.6	(591)	69.2	(688)	64.7	(571)	66.3	(1850)
計	100.0	(915)	100.0	(976)	100.0	(883)	100.0	(2792)

NA79（川崎 28、神戸 25、福岡 26）

子ども数　※平均

	川崎		神戸		福岡		全体	
全部で（　　人）	1.2 人	(911)	1.4 人	(985)	1.4 人	(877)	1.3 人	(2773)
そのうち、息子（　　人）	0.6 人	(909)	0.7 人	(979)	0.7 人	(875)	0.7 人	(2763)
娘（　　人）	0.6 人	(909)	0.7 人	(982)	0.7 人	(875)	0.7 人	(2766)

Q34(1)あなたのお子さん全員について、年齢の大きい順に、次の質問にお答えください。お子さんが 4 人以上いらっしゃる場合は、いちばん末のお子さんのことを「3 番目のお子さん」の欄にお書きください。

第１子

①性別

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 男性	50.3	(293)	53.3	(360)	52.5	(295)	52.1	(948)
2. 女性	49.7	(290)	46.7	(316)	47.5	(267)	47.9	(873)
計	100.0	(583)	100.0	(676)	100.0	(562)	100.0	(1821)

NA108（川崎 36、神戸 37、福岡 36）　非該当 942（川崎 324、神戸 306、福岡 312）

②年齢

	川崎	神戸	福岡	全体
（　　歳）	24.8 歳　(571)	29.9 歳　(668)	26.9 歳　(555)	27.4 歳　(1794)

NA135（川崎 48、神戸 45、福岡 42）　非該当 942（川崎 324、神戸 306、福岡 312）

③婚姻状況

	川崎	神戸	福岡	全体
1. 未婚	75.1　(428)	58.8　(390)	66.3　(364)	66.3　(1182)
2. 既婚	24.9　(142)	41.2　(273)	33.7　(185)	33.7　(600)
計	100.0　(570)	100.0　(663)	100.0　(549)	100.0　(1782)

NA147（川崎 49、神戸 50、福岡 48）　非該当 942（川崎 324、神戸 306、福岡 312）

④あなたと同居か別居か

	川崎	神戸	福岡	全体
1. 同居	62.7　(367)	44.5　(299)	50.1　(283)	52.1　(949)
2. 別居	37.3　(218)	55.5　(373)	49.9　(282)	47.9　(873)
計	100.0　(585)	100.0　(672)	100.0　(565)	100.0　(1822)

NA107（川崎 34、神戸 41、福岡 32）　非該当 942（川崎 324、神戸 306、福岡 312）

別居の場合は、1)都道府県・市区町村、2)最寄駅または最寄のバス停をお書きください。

都道府県名（第１子）	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	79.6　(199)	86.0　(355)	82.8　(260)	83.3　(814)
記入なし	20.4　(51)	14.0　(58)	17.2　(54)	16.7　(163)
計	100.0　(250)	100.0　(413)	100.0　(314)	100.0　(977)

非該当 1894（川崎 693、神戸 606、福岡 595）

市区町村名（第１子）	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	70.4　(176)	81.1　(335)	75.5　(237)	76.6　(748)
記入なし	29.6　(74)	18.9　(78)	24.5　(77)	23.4　(229)
計	100.0　(250)	100.0　(413)	100.0　(315)	100.0　(977)

非該当 1894（川崎 693、神戸 606、福岡 595）

鉄道会社名（第１子）	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	56.4　(141)	59.2　(244)	45.5　(143)	54.1　(528)
記入なし	43.6　(109)	40.8　(168)	54.5　(171)	45.9　(448)
計	100.0　(250)	100.0　(412)	100.0　(314)	100.0　(976)

非該当 1895（川崎 693、神戸 607、福岡 595）

駅名（第１子）	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	55.2　(138)	58.3　(240)	43.3　(136)	52.7　(514)
記入なし	44.8　(112)	41.7　(172)	56.7　(178)	47.3　(462)
計	100.0　(250)	100.0　(412)	100.0　(314)	100.0　(976)

非該当 1895（川崎 693、神戸 607、福岡 595）

バス会社名（第１子）	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	9.2　(23)	11.4　(47)	19.4　(61)	13.4　(131)
記入なし	90.8　(227)	88.6　(365)	80.6　(253)	86.6　(845)
計	100.0　(250)	100.0　(412)	100.0　(314)	100.0　(976)

非該当 1895（川崎 693、神戸 607、福岡 595）

バス停名（第１子）	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	8.4　(21)	10.2　(42)	17.2　(54)	12.0　(117)
記入なし	91.6　(229)	89.8　(370)	82.8　(260)	88.0　(859)
計	100.0　(250)	100.0　(412)	100.0　(314)	100.0　(976)

非該当 1895（川崎 693、神戸 607、福岡 595）

Q34(2)あなたのお子さんが生まれて小学校を卒業するまでの間（まだ小学校を卒業されていない場合は現在までの間）、親御さんに育児を手伝ってもらったことはありますか。あなたの親御さんと配偶者の親御さんのそれぞれについてお答えください。

（本人の親）	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 日常的に頻繁に手伝ってもらっていた（週 3 日以上）	8.2	(47)	11.0	(74)	11.1	(61)	10.2	(182)
2. 日常的に手伝ってもらっていた（週 1 日程度）	4.2	(24)	7.5	(50)	6.4	(35)	6.1	(109)
3. 日常的ではないが、自分や配偶者が急用や病気のときに手伝ってもらっていた	42.2	(242)	38.6	(259)	37.0	(203)	39.3	(704)
4. 手伝ってもらったことはない	45.4	(260)	42.9	(288)	45.5	(250)	44.5	(798)
計	100.0	(573)	100.0	(671)	100.0	(549)	100.0	(1793)

NA1078（川崎 370、神戸 348、福岡 360）

（配偶者の親）	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 日常的に頻繁に手伝ってもらっていた（週 3 日以上）	9.0	(48)	9.2	(56)	9.8	(48)	9.3	(152)
2. 日常的に手伝ってもらっていた（週 1 日程度）	3.9	(21)	6.1	(37)	4.1	(20)	4.8	(78)
3. 日常的ではないが、自分や配偶者が急用や病気のときに手伝ってもらっていた	37.0	(197)	34.9	(213)	35.6	(175)	35.8	(585)
4. 手伝ってもらったことはない	50.0	(266)	49.8	(304)	50.5	(248)	50.1	(818)
計	100.0	(532)	100.0	(610)	100.0	(491)	100.0	(1633)

NA1238（川崎 411、神戸 409、福岡 418）

Q35. あなたのおつきあいについてお聞きします。日ごろ同居家族以外で、親しくおつきあい（よく行き来したり、一緒に遊びに行ったり）している ①親戚、②職場の人、③近所の人、④上記以外の人は、それぞれ何人ぐらいいますか。

①親戚（同居家族以外）

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 0 人	40.7	(350)	37.0	(333)	38.7	(311)	38.8	(994)
2. 1～4 人	51.9	(447)	53.1	(478)	51.4	(413)	52.2	(1338)
3. 5 人以上	7.4	(64)	10.0	(90)	9.8	(79)	9.1	(233)
計	100.0	(861)	100.0	(901)	100.0	(803)	100.0	(2565)

NA306（川崎 82、神戸 118、福岡 106）

②職場の人（仕事を通じて知り合った人など）

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 0 人	41.4	(346)	37.6	(323)	39.1	(305)	39.4	(974)
2. 1～4 人	43.2	(361)	45.8	(393)	45.6	(356)	44.8	(1110)
3. 5 人以上	15.3	(128)	16.6	(143)	15.4	(120)	15.8	(391)
計	100.0	(835)	100.0	(859)	100.0	(781)	100.0	(2475)

NA396（川崎 108、神戸 160、福岡 128）

③近所の人（近隣・地域活動・子どもの学校関連など）

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 0 人	56.6	(482)	50.2	(445)	54.0	(431)	53.5	(1358)
2. 1～4 人	32.9	(280)	36.8	(326)	32.7	(261)	34.2	(867)
3. 5 人以上	10.5	(89)	13.1	(116)	13.3	(106)	12.3	(311)
計	100.0	(851)	100.0	(887)	100.0	(798)	100.0	(2536)

NA335（川崎 92、神戸 132、福岡 111）

④上記以外の人

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 0 人	37.5	(299)	35.6	(295)	38.0	(289)	37.0	(883)
2. 1～4 人	41.6	(332)	43.0	(356)	40.3	(307)	41.7	(995)
3. 5 人以上	20.9	(167)	21.4	(177)	21.7	(165)	21.3	(509)
計	100.0	(798)	100.0	(828)	100.0	(761)	100.0	(2387)

NA484（川崎 145、神戸 191、福岡 148）

Q36. 日ごろ同居家族以外で、あなたが①最も親しいと考える人と、②最も頼りにしている人は、次のどの種類の人ですか。

①最も親しい人

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 親戚（同居家族以外）	33.4	(305)	37.8	(371)	34.1	(301)	35.2	(977)
2. 職場の人	14.6	(133)	13.4	(131)	15.8	(139)	14.5	(403)
3. 近所の人	9.5	(87)	9.3	(91)	12.0	(106)	10.2	(284)
4. 上記以外の人（　　）	30.8	(281)	27.7	(272)	26.8	(236)	28.4	(789)
5. 親しい人はいない	11.7	(107)	11.8	(116)	11.3	(100)	11.5	(323)
計	100.0	(913)	100.0	(981)	100.0	(882)	100.0	(2776)

NA95（川崎 30、神戸 38、福岡 27）

②最も頼りにしている人

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 親戚（同居家族以外）	48.1	(389)	49.8	(445)	51.7	(415)	49.9	(1249)
2. 職場の人	10.4	(84)	8.8	(79)	8.2	(66)	9.1	(229)
3. 近所の人	8.0	(65)	6.3	(56)	7.2	(58)	7.1	(179)
4. 上記以外の人（　　）	16.9	(137)	17.9	(160)	15.3	(123)	16.8	(420)
5. 頼りにしている人はいない	16.6	(134)	17.1	(153)	17.6	(141)	17.1	(428)
計	100.0	(809)	100.0	(893)	100.0	(803)	100.0	(2505)

NA366（川崎 134、神戸 126、福岡 106）

Q37. あなたの隣人づきあいについてお聞きします。お宅の両隣（なければ直近の 2 軒）に住む人を思い浮かべてください。そのなかで、あなたが最も親しくなさっているかたとのつきあい状況をお答えください。

①その人の家族構成を知っていますか

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 知っている	61.5	(563)	64.2	(631)	59.1	(521)	61.7	(1715)
2. 知らない	38.5	(353)	35.8	(352)	40.9	(361)	38.3	(1066)
計	100.0	(916)	100.0	(983)	100.0	(882)	100.0	(2781)

NA90（川崎 27、神戸 36、福岡 27）

②世帯主の職業を知っていますか

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 知っている	36.0	(327)	42.2	(410)	38.6	(337)	39.0	(1074)
2. 知らない	64.0	(581)	57.8	(562)	61.4	(537)	61.0	(1680)
計	100.0	(908)	100.0	(972)	100.0	(874)	100.0	(2754)

NA117（川崎 35、神戸 47、福岡 35）

③その人におすそわけ（おみやげを含む）をしたりもらったりしたことがありますか

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. ある	49.3	(444)	54.3	(528)	50.9	(445)	51.6	(1417)
2. ない	50.7	(457)	45.7	(444)	49.1	(429)	48.4	(1330)
計	100.0	(901)	100.0	(972)	100.0	(874)	100.0	(2747)

NA124（川崎 42、神戸 47、福岡 35）

Q38. 次の休日の過ごし方のうち、あなたが最も好きな休日の過ごし方はどれですか。あてはまるものを 1 つだけ選んでお答えください。【1 つだけ○】

	川崎	神戸	福岡	全体
1. スポーツ、スポーツ観戦、アウトドアなど	19.2 (176)	15.5 (155)	20.1 (179)	18.2 (510)
2. 音楽活動、ライブ・コンサート鑑賞など	7.8 (71)	5.5 (55)	6.3 (56)	6.5 (182)
3. 美術館･博物館訪問、観劇、映画鑑賞など	5.9 (54)	8.9 (89)	7.2 (64)	7.4 (207)
4. 外食、ショッピングなど	18.8 (172)	21.7 (216)	22.0 (196)	20.8 (584)
5. パチンコ、競馬、競輪、競艇など	1.7 (16)	2.4 (24)	2.2 (20)	2.1 (60)
6. 自宅でゆっくりしたい （庭いじり、日曜大工、料理･掃除なども含む）	39.8 (364)	40.8 (407)	36.7 (326)	39.2 (1097)
7. その他（具体的に記入　　）	6.8 (62)	5.1 (51)	5.4 (48)	5.7 (161)
計	100.0 (915)	100.0 (997)	100.0 (889)	100.0 (2801)

NA70（川崎 28、神戸 22、福岡 20）

Q39.あなたの平均的な平日の過ごし方についてお聞きします。1 日 24 時間を次の項目にふりわけると、それぞれどのくらいになりますか。すべて足し合わせると 24 になるようにご記入ください。

回答状況	川崎	神戸	福岡	全体
記入あり	94.7 (893)	97.0 (988)	95.2 (865)	95.6 (2746)
記入なし	5.3 (50)	3.0 (31)	4.8 (44)	4.4 (125)
計	100.0 (943)	100.0 (1019)	100.0 (909)	100.0 (2871)

※平均（単位：時間）

項目	例	川崎	神戸	福岡	全体
睡眠	昼寝も含む	6.7	6.8	6.8	6.8
職業関連 (学業を含む)	労働時間、残業、仕事の準備、休憩、アルバイト、内職、自営業の手伝い、通勤時間なども含む (授業、部活、給食、宿題、通学時間も含む)	7.6	6.4	6.8	6.9
食事･身の周りの用事	朝食、昼食、夕食、入浴、洗顔、化粧、着替え、ひげ剃り、通院 など	2.4	2.4	2.4	2.4
家事	炊事、掃除、洗濯、買い物、ゴミ捨て など	2.0	2.1	2.0	2.1
育児	世話、付き添い、送り迎え、遊び相手 など	0.6	0.4	0.6	0.5
介護	世話、看病、付き添い、送り迎え など	0.2	0.1	0.2	0.2
(自宅や敷地内で過ごす) 自由時間	テレビ、インターネット、新聞を読む、読書、日記、ラジオ講座、庭いじり など	3.4	3.8	3.7	3.6
(自宅外で過ごす) 自由時間	映画、スポーツジム、習いごと、サークル活動、ウィンドウショッピング、交流(友人と外食)、ボランティア など	1.0	1.3	1.3	1.2

Q40. あなたの平日の平均的なテレビ視聴時間はどのくらいですか。

	川崎	神戸	福岡	全体
1.（　　時間　　分）	91.2 (831)	93.2 (912)	91.9 (815)	92.1 (2558)
2. まったく見ない	8.8 (80)	6.8 (67)	8.1 (72)	7.9 (219)
計	100.0 (911)	100.0 (979)	100.0 (887)	100.0 (2777)

NA94（川崎 32、神戸 40、福岡 22）

※平均　全体 155.3 分(2779)　川崎 145.0 分(910)　神戸 158.3 分(981)　福岡 162.4 分(888)

Q41. あなたの平日の自由時間におけるインターネット利用時間（ホームページ(Web サイト)の閲覧、電子メールの送受信、ＳＮＳの利用、ネットショッピングなど）はどのくらいですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1.（　　時間　　分）	85.1	(773)	80.3	(785)	82.3	(730)	82.5	(2288)
2. まったく利用しない	14.9	(135)	19.7	(193)	17.7	(157)	17.5	(485)
計	100.0	(908)	100.0	(978)	100.0	(887)	100.0	(2773)

NA98（川崎 35、神戸 41、福岡 22）

※平均　全体 85.2 分(2768)　川崎 91.5 分(901)　神戸 80.1 分(981)　福岡 84.4 分(886)

Q42. あなたは普段、インターネットのＳＮＳ(Instagram、Twitter、Facebook など)をどのように利用していますか。最もあてはまるものを１つだけ選んでお答えください。【1 つだけ○】

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 頻繁に発信したり投稿を見たりしている	11.1	(100)	9.8	(95)	9.7	(85)	10.2	(280)
2. たまに発信するが投稿を見ることが多い	17.9	(161)	14.0	(135)	17.2	(150)	16.3	(446)
3. たまに投稿を見ている程度	33.4	(300)	30.8	(297)	32.3	(282)	32.1	(879)
4. これらのＳＮＳを利用したことがない	37.6	(338)	45.4	(438)	40.8	(357)	41.4	(1133)
計	100.0	(899)	100.0	(965)	100.0	(874)	100.0	(2738)

NA133（川崎 44、神戸 54、福岡 35）

Q43. あなたが最もよく利用する店舗・病院はどちらにありますか。それぞれについてあてはまるものを１つだけ選んでお答えください。【1 つだけ○】

食料（朝食や夕食の材料）の購入

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 自宅から 800m 圏内(徒歩 10 分程度)	66.0	(603)	52.7	(519)	60.5	(532)	59.5	(1654)
2. 自宅から 2.4km 圏内(徒歩 30 分程度)	25.9	(237)	35.3	(347)	30.8	(271)	30.8	(855)
3. その他の市内	4.5	(41)	8.9	(88)	6.5	(57)	6.7	(186)
4. 市外	2.0	(18)	0.8	(8)	1.0	(9)	1.3	(35)
5. 店舗等は利用しない	1.6	(15)	2.2	(22)	1.3	(11)	1.7	(48)
計	100.0	(914)	100.0	(984)	100.0	(880)	100.0	(2778)

NA93（川崎 29、神戸 35、福岡 29）

外出着などの衣料品の購入

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 自宅から 800m 圏内(徒歩 10 分程度)	13.5	(122)	9.2	(89)	7.9	(69)	10.2	(280)
2. 自宅から 2.4km 圏内(徒歩 30 分程度)	35.0	(317)	34.0	(330)	36.0	(316)	35.0	(963)
3. その他の市内	22.9	(207)	47.9	(466)	48.3	(424)	39.8	(1097)
4. 市外	23.0	(208)	5.1	(50)	3.0	(26)	10.3	(284)
5. 店舗等は利用しない	5.6	(51)	3.8	(37)	4.9	(43)	4.8	(131)
計	100.0	(905)	100.0	(972)	100.0	(878)	100.0	(2755)

NA116（川崎 38、神戸 47、福岡 31）

家電の購入

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 自宅から 800m 圏内(徒歩 10 分程度)	12.7	(114)	9.5	(92)	10.3	(90)	10.8	(296)
2. 自宅から 2.4km 圏内(徒歩 30 分程度)	32.9	(295)	36.7	(355)	36.4	(318)	35.3	(968)
3. その他の市内	29.1	(261)	42.9	(415)	44.9	(392)	39.0	(1068)
4. 市外	16.6	(149)	3.5	(34)	2.2	(19)	7.4	(202)
5. 店舗等は利用しない	8.8	(79)	7.4	(72)	6.2	(54)	7.5	(205)
計	100.0	(898)	100.0	(968)	100.0	(873)	100.0	(2739)

NA132（川崎 45、神戸 51、福岡 36）

床屋・美容院

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 自宅から 800m 圏内(徒歩 10 分程度)	34.0	(308)	31.1	(304)	32.3	(283)	32.4	(895)
2. 自宅から 2.4km 圏内(徒歩 30 分程度)	32.3	(293)	31.8	(311)	35.8	(314)	33.2	(918)
3. その他の市内	11.7	(106)	26.3	(257)	23.8	(209)	20.7	(572)
4. 市外	17.1	(155)	5.8	(57)	2.9	(25)	8.6	(237)
5. 店舗等は利用しない	5.0	(45)	5.0	(49)	5.2	(46)	5.1	(140)
計	100.0	(907)	100.0	(978)	100.0	(877)	100.0	(2762)

NA109（川崎 36、神戸 41、福岡 32）

病院（風邪を引いたり体調を崩した時）

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 自宅から 800m 圏内(徒歩 10 分程度)	49.2	(447)	45.4	(448)	39.8	(352)	44.9	(1247)
2. 自宅から 2.4km 圏内(徒歩 30 分程度)	36.0	(327)	37.2	(367)	40.7	(360)	37.9	(1054)
3. その他の市内	9.0	(82)	14.7	(145)	16.9	(149)	13.5	(376)
4. 市外	4.6	(42)	1.9	(19)	1.1	(10)	2.6	(71)
5. 店舗等は利用しない	1.2	(11)	0.7	(7)	1.5	(13)	1.1	(31)
計	100.0	(909)	100.0	(986)	100.0	(884)	100.0	(2779)

NA92（川崎 34、神戸 33、福岡 25）

Q43(1)あなたが最もよく利用する店舗・病院に行く場合、普段利用する交通手段は次のどちらですか。主な交通手段を 1 つだけ選んでお答えください。【1 つだけ○】

食料(朝食や夕食の材料)の購入

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 徒歩	47.7	(430)	40.0	(390)	32.9	(287)	40.3	(1107)
2. 自転車	22.9	(206)	14.2	(138)	17.2	(150)	18.0	(494)
3. バイク	1.9	(17)	2.4	(23)	2.2	(19)	2.1	(59)
4. 自動車	23.5	(212)	37.0	(360)	44.7	(390)	35.0	(962)
5. 路線バス	2.4	(22)	4.5	(44)	1.4	(12)	2.8	(78)
6. 鉄道	1.6	(14)	1.6	(16)	0.8	(7)	1.3	(37)
7. その他	0.0	(0)	0.3	(3)	0.9	(8)	0.4	(11)
計	100.0	(901)	100.0	(974)	100.0	(873)	100.0	(2748)

NA75（川崎 27、神戸 23、福岡 25）　非該当 48（川崎 15、神戸 22、福岡 11）

外出着などの衣料品の購入

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 徒歩	14.4	(124)	11.3	(107)	6.9	(58)	10.9	(289)
2. 自転車	12.1	(104)	5.7	(54)	8.0	(67)	8.5	(225)
3. バイク	1.5	(13)	1.8	(17)	1.8	(15)	1.7	(45)
4. 自動車	28.4	(244)	42.3	(402)	54.1	(454)	41.5	(1100)
5. 路線バス	10.1	(87)	8.1	(77)	13.2	(111)	10.4	(275)
6. 鉄道	33.2	(285)	30.1	(286)	14.5	(122)	26.2	(693)
7. その他	0.2	(2)	0.8	(8)	1.4	(12)	0.8	(22)
計	100.0	(859)	100.0	(951)	100.0	(839)	100.0	(2649)

NA91（川崎 33、神戸 31、福岡 27）　非該当 131（川崎 51、神戸 37、福岡 43）

家電の購入

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 徒歩	12.8	(106)	9.4	(85)	7.0	(58)	9.7	(249)
2. 自転車	9.0	(74)	4.8	(44)	6.7	(55)	6.8	(173)

3. バイク	0.6	(5)	1.4	(13)	1.2	(10)	1.1	(28)
4. 自動車	44.7	(369)	60.9	(554)	67.5	(556)	57.8	(1479)
5. 路線バス	7.6	(63)	5.6	(51)	8.3	(68)	7.1	(182)
6. 鉄道	23.8	(196)	14.3	(130)	6.2	(51)	14.7	(377)
7. その他	1.5	(12)	3.5	(32)	3.2	(26)	2.7	(70)
計	100.0	(825)	100.0	(909)	100.0	(824)	100.0	(2558)

NA108（川崎 39、神戸 38、福岡 31）　非該当 205（川崎 79、神戸 72、福岡 54）

床屋・美容院

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 徒歩	37.6	(324)	32.9	(310)	28.1	(235)	32.9	(869)
2. 自転車	19.3	(166)	10.2	(96)	16.8	(141)	15.3	(403)
3. バイク	1.9	(16)	3.1	(29)	1.8	(15)	2.3	(60)
4. 自動車	11.5	(99)	27.8	(262)	37.4	(313)	25.5	(674)
5. 路線バス	6.3	(54)	7.4	(70)	6.3	(53)	6.7	(177)
6. 鉄道	23.1	(199)	17.6	(166)	8.4	(70)	16.5	(435)
7. その他	0.5	(4)	1.1	(10)	1.2	(10)	0.9	(24)
計	100.0	(862)	100.0	(943)	100.0	(837)	100.0	(2642)

NA89（川崎 36、神戸 27、福岡 26）　非該当 140（川崎 45、神戸 49、福岡 46）

病院(風邪を引いたり体調を崩した時)

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 徒歩	47.5	(428)	43.1	(424)	32.0	(280)	41.0	(1132)
2. 自転車	19.4	(175)	9.7	(95)	11.9	(104)	13.5	(374)
3. バイク	1.4	(13)	2.0	(20)	1.1	(10)	1.6	(43)
4. 自動車	16.6	(150)	32.1	(316)	45.7	(400)	31.4	(866)
5. 路線バス	6.7	(60)	5.2	(51)	3.9	(34)	5.3	(145)
6. 鉄道	7.5	(68)	6.6	(65)	3.5	(31)	5.9	(164)
7. その他	0.9	(8)	1.3	(13)	1.8	(16)	1.3	(37)
計	100.0	(902)	100.0	(984)	100.0	(875)	100.0	(2761)

NA79（川崎 30、神戸 28、福岡 21）　非該当 31（川崎 11、神戸 7、福岡 13）

Q44. あなたはネットショッピングを利用したことがありますか。ネットショッピングで購入したことがあるものすべてに○をつけてください。【すべてに○】

○をつけた割合	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 購入したことはない	19.1	(174)	27.4	(271)	25.9	(227)	24.2	(672)
2. 食料品	45.6	(415)	37.6	(372)	34.9	(306)	39.4	(1093)
3. 健康食品	31.5	(287)	29.4	(291)	29.1	(255)	30.0	(833)
4. 外出着などの衣料品	47.7	(435)	45.4	(449)	42.5	(372)	45.2	(1256)
5. 家電	52.3	(476)	43.7	(433)	40.9	(358)	45.6	(1267)
6. 化粧品	33.9	(309)	31.2	(309)	33.6	(294)	32.8	(912)
7. 書籍	48.2	(439)	39.9	(395)	40.8	(357)	42.9	(1191)
8. 保険（医療・自動車など）	12.0	(109)	12.2	(121)	11.8	(103)	12.0	(333)
9. 旅行（運賃・ホテル・パック旅行など）	47.1	(429)	37.5	(371)	42.6	(373)	42.2	(1173)
10. チケット（コンサート・スポーツ観戦など）	42.7	(389)	34.1	(338)	36.3	(318)	37.6	(1045)
11. その他（具体的に記入　　）	11.3	(103)	9.2	(91)	10.4	(91)	10.3	(285)

NA94（川崎 32、神戸 29、福岡 33）

Q45. あなたは「この 1 年間」に国内旅行をしたことがありますか。

※旅行とは、自宅以外で 1 泊以上宿泊する宿泊旅行（出張・業務旅行・帰省を除く）とお考えください。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. ある（　　回）	66.6	(614)	60.1	(602)	62.3	(558)	62.9	(1774)
2. ない	33.4	(308)	39.9	(400)	37.7	(337)	37.1	(1045)
計	100.0	(922)	100.0	(1002)	100.0	(895)	100.0	(2819)

NA52（川崎 21、神戸 17、福岡 14）

※平均　全体 1.5 回(2777)　川崎 1.7 回(912)　神戸 1.5 回(987)　福岡 1.5 回(878)

Q46. あなたは「この 1 年間」に海外旅行をしたことがありますか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. ある（　　回）	16.7	(154)	15.1	(152)	15.1	(136)	15.6	(442)
2. ない	83.3	(769)	84.9	(852)	84.9	(762)	84.4	(2383)
計	100.0	(923)	100.0	(1004)	100.0	(898)	100.0	(2825)

NA46（川崎 20、神戸 15、福岡 11）

※平均　全体 0.24 回(2824)　川崎 0.25 回(924)　神戸 0.25 回(1004)　福岡 0.22 回(896)

Q47. 現在、あなたと家計（生計）を共にしているかたはどなたですか。【すべてに○】

○をつけた割合	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 配偶者	76.6	(605)	73.4	(648)	73.2	(544)	74.4	(1797)
2. 子ども	42.4	(335)	36.9	(326)	38.5	(286)	39.2	(947)
3. 子どもの配偶者	0.5	(4)	0.6	(5)	1.1	(8)	0.7	(17)
4. あなた（または配偶者）の父親	12.7	(100)	11.9	(105)	11.4	(85)	12.0	(290)
5. あなた（または配偶者）の母親	17.5	(138)	16.0	(141)	19.7	(146)	17.6	(425)
6. 孫	1.5	(12)	1.1	(10)	1.3	(10)	1.3	(32)
7. あなた（または配偶者）のきょうだい	6.7	(53)	4.9	(43)	7.1	(53)	6.2	(149)
8. あなた（または配偶者）の祖父・祖母	0.5	(4)	0.6	(5)	1.2	(9)	0.7	(18)
9. その他の親族（　　）	0.3	(2)	0.6	(5)	0.4	(3)	0.4	(10)
10. その他（　　）	1.3	(10)	3.3	(29)	2.3	(17)	2.3	(56)

NA455（川崎 153、神戸 136、福岡 166）

Q48. 現在のあなたの世帯の家計（生計）の収入はどのように構成されていますか。家計を共にしているかたの合計でお考えください。収入全体を 10 とし、すべて足し合わせて 10 になるようにご記入ください。

※平均

	川崎 (806)	神戸 (853)	福岡 (775)	全体 (2434)
1. あなたの勤労所得	4.33	3.80	4.26	4.12
2. 配偶者の勤労所得	2.89	2.38	2.44	2.57
3. その他家族の勤労所得	0.80	0.80	0.78	0.79
4. あなたの年金所得	0.84	1.43	1.26	1.18
5. 配偶者の年金所得	0.52	1.02	0.57	0.71
6. その他家族の年金所得	0.23	0.22	0.31	0.25
7. 財産所得、保険など	0.24	0.23	0.24	0.24
8. 行政からの支援	0.10	0.07	0.09	0.09
9. その他	0.02	0.06	0.09	0.06
10. 答えたくない	(64)	(102)	(38)	(204)

NA156（川崎 54、神戸 50、福岡 52）

Q49. あなたの世帯の昨年１年間の収入（ボーナス・税込み）は、どれくらいですか。家計を共にしているかたの収入のほか、年金所得や財産所得などもすべて足し合わせてください。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 収入はなかった	1.5	(14)	2.0	(20)	2.2	(19)	1.9	(53)
2. 100 万円未満	2.0	(18)	2.0	(20)	3.0	(26)	2.3	(64)
3. 100～129 万円	1.2	(11)	1.5	(15)	2.6	(23)	1.8	(49)
4. 130～199 万円	1.9	(17)	3.6	(36)	3.4	(30)	3.0	(83)
5. 200 万円～399 万円	14.3	(129)	22.3	(222)	19.0	(167)	18.6	(518)
6. 400 万円～599 万円	14.0	(127)	15.7	(156)	17.0	(150)	15.6	(433)
7. 600 万円～799 万円	11.9	(108)	10.9	(108)	12.2	(107)	11.6	(323)
8. 800 万円～999 万円	9.5	(86)	7.0	(70)	9.1	(80)	8.5	(236)
9. 1000 万円～1199 万円	9.1	(82)	4.9	(49)	5.8	(51)	6.6	(182)
10. 1200 万円～1399 万円	5.4	(49)	2.1	(21)	1.9	(17)	3.1	(87)
11. 1400 万円～1599 万円	2.3	(21)	1.2	(12)	0.9	(8)	1.5	(41)
12. 1600 万円以上	4.4	(40)	2.0	(20)	2.2	(19)	2.8	(79)
13. 答えたくない	22.3	(202)	24.6	(245)	20.8	(183)	22.7	(630)
計	100.0	(904)	100.0	(994)	100.0	(880)	100.0	(2778)

NA93（川崎 39、神戸 25、福岡 29）

Q50. あなたの世帯（家計を共にしているかた）の貯蓄はどれくらいですか。

	川崎		神戸		福岡		全体	
1. 貯蓄はない	10.0	(90)	9.0	(88)	13.2	(115)	10.7	(293)
2. 100 万円未満	7.8	(70)	6.8	(67)	7.9	(69)	7.5	(206)
3. 100 万円～500 万円未満	16.7	(150)	15.9	(156)	19.5	(170)	17.3	(476)
4. 500 万円～1000 万円未満	11.4	(102)	11.4	(112)	11.4	(99)	11.4	(313)
5. 1000 万円～2000 万円未満	9.7	(87)	7.4	(73)	7.5	(65)	8.2	(225)
6. 2000 万円以上	11.8	(106)	11.2	(110)	9.3	(81)	10.8	(297)
7. 答えたくない	32.6	(293)	38.2	(375)	31.3	(273)	34.2	(941)
計	100.0	(898)	100.0	(981)	100.0	(872)	100.0	(2751)

NA120（川崎 45、神戸 38、福岡 37）

これで質問は終わりです。
お忙しいなか、本当にありがとうございました。

この調査に対するご意見・ご感想がありましたら、ぜひお聞かせください。

今後、この調査は他の自治体でも実施したり、定期的に実施したりするなど、住民のみなさんの生活実態を測定するための基礎的な調査となることをめざしています。そのために、調査にご回答くださった皆様のご意見をぜひうかがいたいと思っています。「○○は答えにくかった」「○○の選択肢がほしい」「こうした質問は聞くべきではない／聞くべきだ」など何でもかまいませんので、ぜひお書きください。

自由記述欄記入状況

	川崎		神戸		福岡		全体	
記入あり	22.3	(210)	17.3	(176)	23.3	(212)	20.8	(598)
記入なし	77.7	(733)	82.7	(843)	76.7	(697)	79.2	(2273)
計	100.0	(943)	100.0	(1019)	100.0	(909)	100.0	(2871)

.

＜分析依頼の受付・対応＞という試み――自治体からの分析依頼――

本研究でも、2017 年実施の「愛媛・長崎県民生活実態調査」と同じく、調査対象自治体からの分析依頼を受け付け、対応するという試みをおこなった。

2020 年 1 月に単純集計表の速報版が完成した。単純集計結果を各自治体に報告する際に、あわせて「分析依頼伺い」と「分析依頼表」を送付した（添付資料）。調査内容および調査結果を市役所各部署に照会してもらい、より分析してほしい点を分析依頼表にまとめ、研究会に送ってもらうこととした。

神戸市からは、次のような分析依頼をいただいた。

住宅政策課（ライフステージに応じた住み替え支援を進めています）

①知りたいこと
　①引っ越し前の住居と現在の住居の関係
　　・（回答者の）年齢層による傾向はあるのか。
　　・世帯属性による傾向はあるのか。
　　※各市ごと
　②現在の住居に引っ越してきた理由に関する以下 4 点の関係性
　　・各区（居住地）の傾向はあるのか。
　　・年齢層による傾向はあるのか。
　　・引っ越してくる前はどこにお住まいだったか。
　　・世帯属性による傾向はあるのか。
　　※神戸市のみ
②分析方法等
　　①Q5(2)、Q2、Q27 のデータのリンク及び年齢層の関係
　　②Q5(3)と Q5(1) 、Q27 のデータのリンク及び年齢層、各区（居住地）の関係

保健福祉局政策課調査担当
（次期市民福祉総合計画（地域福祉計画）策定に向けた神戸市の課題抽出を進めています）

①知りたいこと
　・地域活動をしている市民や近所づきあいのある市民は、悩みやもめごとが少なく、また、現在の暮らしに満足しているのか？
②分析方法等
　・Q30 悩みやもめごと及び Q8 生活の満足度と地域福祉活動・近所づきあいとの関係
　　Q18 年齢別、Q21 職業別、Q9 自治会加入状況別、Q10 ボランティア等活動状況別、
　　Q11 市立施設利用状況、Q35③近所づきあい状況別

研究会にて分析を進めたが、新型コロナ感染症拡大のため回答は遅れ、2020 年 5 月に分析結果を送付した。参考資料として、上記住宅政策課の依頼に対する分析結果について掲載している。

2020 年 1 月 29 日

各位

「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」の単純集計（速報版）の送付と
分析依頼のお伺いについて

政策形成に貢献する新しい社会調査方法の開発を目的として、当研究会が 2019 年 7 月に実施しました標記調査につきましては、各市とも有効回収率が 45%を超える回収率をもって無事調査を終えることができました。これもひとえに、貴市の格別のご理解・ご協力により実施できたものであり、改めて御礼申し上げます。

単純集計結果（速報版）がまとまりましたので、お送りさせていただきました。

当研究会としましては、今後の分析が重要と考えており、今回の結果が少しでも政策立案に役立つものになるよう、データの有効活用について検討したいと考えております。

そこで、今回の単純集計の中から、より深く分析をしてみたいという項目等をお受けしたいと考えております。つきましては、別添「調査結果の分析依頼について」をご参照いただき、「分析依頼表」を当研究会（関西学院大学）まで送付いただければ、依頼を受けました項目等について、研究分担者を中心として分析し、結果をお送りさせていただこうと考えております。

当研究会では、今回の調査全般を通して得られた結果をもとに、政策立案に貢献する新しい社会調査の具体的手法を構築していく所存です。本研究の目的・趣旨をご理解のうえ、調査結果の活用はもとより、引き続きご協力いただけましたら幸いに存じます。

科学研究費　基盤研究(A)
「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」
研究代表者：大谷信介(関西学院大学)
研究分担者：稲葉昭英(慶應義塾大学)、後藤範章(日本大学)、
木下栄二(桃山学院大学)、小松　洋(松山大学)

【問い合せ先】　関西学院大学　社会学部　教授
大谷 信介
☎0798-54-6378
リサーチ・アシスタント（松川）
☎0798-54-6069

調査結果の分析依頼について

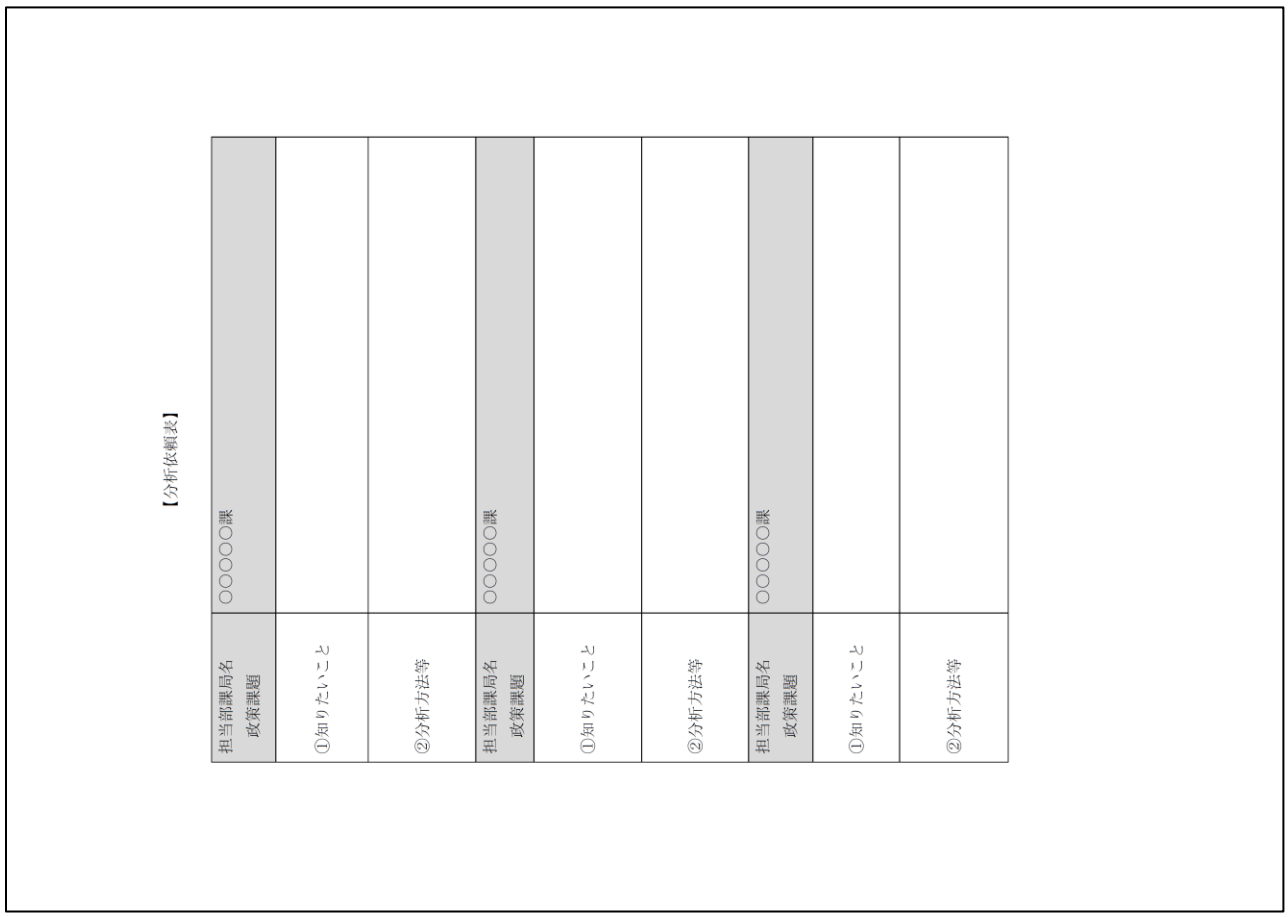
今回の調査結果から、より深く分析してほしい項目（例示を参照してください）がありましたら、「分析依頼表」を作成のうえ、送付してください。

送付いただいた項目については、可能な限り研究分担者を中心として分析を進め、結果を送付していく予定です。分析依頼書は、2 月 10 日までに送付いただければ幸いです。

【分析依頼表：記載例】
分析してほしい項目を、担当部課局ごとで作成してください。

担当部課局名 政策課題	○○○○○課 現在○○○の△△△を進めています。等
①知りたいこと	市民はどこでどのように働いているのか? 職業別で働き方は変わるのか?
②分析方法等	・Q22 の職場所在地を具体的に。通勤手段・通勤時間との関係 ・Q22 の職業別の Q23 の労働時間 ・共稼ぎ構造と Q28 の家事の実態の関係
担当部課局名 政策課題	○○○○○課 現在○○○の△△△を進めています。等
①知りたいこと	市民は誰と同居し生活しているのか。 市民の世帯構造と生活実態
②分析方法等	・Q26･Q27 を統合して世帯構造を明確化 ・単身･夫婦のみ･夫婦と子供世帯の年齢構造と世帯収入 ・高齢単身･夫婦のみ世帯の地域分布と Q30 生活課題
担当部課局名 政策課題	○○○○○課 現在○○○の△△△を進めています。等
①知りたいこと	年金生活者の生活実態 豊かな年金生活者と貧しい年金生活者を把握できるか?
②分析方法等	・Q48 の家計の構造質問から年金所得のみ世帯を明確化 ・勤労所得と年金所得の関係 ・家計の構造と Q49 世帯収入と Q50 世帯貯蓄の関係

（分析依頼表）


【分析依頼表】
担当部課局名
政策課題
○○○○○課
①知りたいこと
②分析方法等
担当部課局名
政策課題
○○○○○課
①知りたいこと
②分析方法等
担当部課局名
政策課題
○○○○○課
①知りたいこと
②分析方法等

2020/05/07

分析依頼内容
①引っ越し前の住居と現在の住居の関係
・(回答者の) 年齢による傾向はあるのか
・世帯属性による傾向はあるのか
※各市ごと

報告内容

1. 各市の居住実態・転居パターン
   - 1−1. 現住居について
   - 1−2. 転居歴について
   - 1−3. 前住居について
   - 1−4. 転居パターン
   - 1−5. 近年の転居者に限定した分析
2. 入居時期による転居パターンの違い
3. 年齢による転居パターンの違い
   - 3−1. (現在の年齢) との関連
   - 3−2. (入居時の年齢) との関連
4. 世帯属性による転居パターンの違い
   - 4−1. (現在の世帯構成) との関連
   - 4−2. (末子ライフステージ) との関連

注) 表の p 値は、カイ二乗検定の結果を表したものである。この値が 5%以下であれば統計的に有意な差がある (2 変数間に関連がある) といえる。なお、とくに関連が強かった (特徴的な) 箇所は網掛けをしている。
注) 本文中には、神戸市の集計表を中心に掲載する。川崎市・福岡市については、巻末に 3 市あわせて掲載する。

1. 各市の居住実態・転居パターン

1−1. 現住居について

表は、市ごとに現在の居住形態を整理したものである。
・3 市とも最も多い居住形態は持ち家一戸建である。
・神戸市は (他 2 市と比較すると)、持ち家一戸建の割合が多く、賃貸マンションが非常に少ない。
・賃貸マンションの少なさは巻末資料「国勢調査」「住宅・土地統計調査」でも示されている。神戸市に賃貸マンションが少ない点は大きな特徴である。

表　現住居

	持ち家 一戸建	賃貸 一戸建	持ち家 マンション	賃貸 (都市)	公営 住宅	給与 住宅	賃貸 マンション	その他	計
川崎	34.6	1.9	31.7	0.6	3.1	2.9	24.1	1.1	100.0 (939)
神戸	44.8	2.7	29.5	2.6	4.1	1.2	13.4	1.8	100.0 (1015)
福岡	35.6	3.0	21.7	2.7	3.2	1.9	30.4	1.6	100.0 (902)

p<0.001
※この住居形態の構成比は、国勢調査および住宅・土地統計調査と比較して大きな差はない (巻末資料)。

1−2. 転居歴について

①転居経験の有無

表は、転居経験の有無 (Q1) を整理したものである。3 市とも、転居経験者が 9 割以上をしめる。

表　Q1 転居経験の有無

	1.生まれてからずっと住んでいる	2.転居経験あり	計
川崎市	7.8	91.8	100.0 (944)
神戸市	6.8	92.8	100.0 (1022)
福岡市	7.9	91.6	100.0 (910)

p<0.817

転居経験者のみを対象に、現在の居住形態を整理したものが以下の表である。
・回答者全体の構成比と同じ傾向である。やはり、神戸市は (他 2 市と比較すると)、持ち家一戸建の割合が多く、賃貸マンションが非常に少ない。

表　現住居 (転居経験者)

	持ち家 一戸建	賃貸 一戸建	持ち家 マンション	賃貸 (都市)	公営 住宅	給与 住宅	賃貸 マンション	その他	計
川崎	31.9	2.0	32.5	0.7	3.2	3.1	25.4	1.2	100.0 (865)
神戸	43.2	2.8	30.0	2.6	4.2	1.3	14.1	1.8	100.0 (944)
福岡	32.7	2.8	22.8	2.8	3.4	2.0	32.0	1.6	100.0 (830)

p<0.001

②現住地への入居時期

「2. 転居経験がある人」(転居経験者) を分析対象とし、現住居への入居時期 (居住年数) を整理する。
まず、入居時期を 5 年あるいは 10 年で区切る。表は、「2015 年以降 (居住年数 0-4 年)」「2010-2014 年 (5-9 年)」「2005-2009 年 (10-14 年)」「2000-2004 年 (15-19 年)」「1990-1999 年 (20-29 年)」「1980 年代以前 (30 年以上)」に分類し、市別に整理したものである。
・神戸市は (他 2 市と比較すると)、「2015 年以降 (居住年数 0-4 年)」の割合が非常に少なく、「1990-1999 年 (20-29 年)」「1980 年代以前 (30 年以上)」の割合が多い。他 2 市と比べると、古くに越してきた住民で構成されているといえる。

表　入居時期Ⅰ　ｶｯｺ内は居住年数 (転居経験者)

	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年以上)	計
川崎市	25.1	17.1	15.8	11.1	15.9	15.0	100.0 (867)
神戸市	18.2	14.3	13.0	13.0	19.5	21.9	100.0 (948)
福岡市	28.7	17.0	13.2	9.6	12.5	19.1	100.0 (834)

p<0.001

次に、経済状況を考慮した入居時期 (居住年数) を整理する。1980 年代後半からのバブル経済、1991 年バブル崩壊、1995 年阪神淡路大震災、2008 年リーマンショックが大きな出来事といえる。また住宅市場の観点からは、1986-1989 年第 5 次マンションブーム、1994-2002 年第 6 次マンションブーム、2002 年の「都市再生特別措置法」以降はタワー型マンションが多く建築された。こうした経済状況を加味して入居時期を分けてみたい。表は、入居時期を「2008 年以降 (居住年数 0-11 年)」(リーマンショック以降)、「1995-2007 年 (12-24 年)」(震災からリーマンショックまで)、「1986-1994 年 (25-33 年)」(バブルから震災まで)、「1985 年以前 (34 年以上)」(バブル期以前) に分類し、市別に整理したものである。
・神戸市は (他 2 市と比較すると)、やはり近年の入居者 (「2008 年-」) の割合が少なく、それ以前の割合が多い。

表　入居時期Ⅱ　ｶｯｺ内は居住年数 (転居経験者)

	2008-2019 (0-11 年)	1995-2007 (12-24 年)	1986-1994 (25-33 年)	-1985 (34 年以上)	計
川崎市	49.5	30.9	8.1	11.5	100.0 (867)
神戸市	39.0	32.8	12.8	15.4	100.0 (948)
福岡市	53.4	22.3	11.0	13.3	100.0 (834)

p<0.001

居住形態によって入居時期は異なるだろうか。表は、神戸市を対象に、現住居別に入居時期 (Ⅰ・Ⅱ) を整理したものである。
・持ち家一戸建居住者は (他の居住形態と比較すると)、入居時期が古い (=居住年数が長い)。
・公営住宅・給与住宅・賃貸マンションは、ここ 10 年程の間に転居してきた人が多数をしめる。他の居住形態と比べても顕著である。

表　現住居別 入居時期Ⅰ (転居経験者・神戸市)

	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年以上)	計
持ち家一戸建	7.4	10.0	9.8	14.2	24.5	34.1	100.0 (408)
賃貸一戸建	26.9	30.8	7.7	15.4	15.4	3.8	100.0 (26)
持ち家マンション	13.1	13.4	18.4	15.2	20.8	19.1	100.0 (283)
賃貸(都市再)	12.0	32.0	16.0	20.0	8.0	12.0	100.0 (25)
公営住宅	22.5	30.0	22.5	5.0	7.5	12.5	100.0 (40)
給与住宅	75.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0 (12)
賃貸マンション	51.9	18.8	10.5	7.5	9.8	1.5	100.0 (133)
その他	41.2	5.9	0.0	5.9	23.5	23.5	100.0 (17)
計	18.1 (171)	14.2 (134)	13.0 (123)	13.0 (123)	19.6 (185)	22.0 (208)	100.0 (944)

p<0.001

表　現住居別 入居時期Ⅱ (転居経験者・神戸市)

	2008-2019 (0-11 年)	1995-2007 (12-24 年)	1986-1994 (25-33 年)	-1985 (34 年以上)	計
持ち家一戸建	21.8	36.0	18.1	24.0	100.0 (408)
賃貸一戸建	65.4	26.9	7.7	0.0	100.0 (26)
持ち家マンション	35.0	39.2	12.7	13.1	100.0 (283)
賃貸(都市再)	52.0	36.0	4.0	8.0	100.0 (25)
公営住宅	70.0	12.5	7.5	10.0	100.0 (40)
給与住宅	91.7	8.3	0.0	0.0	100.0 (12)
賃貸マンション	75.9	21.1	1.5	1.5	100.0 (133)
その他	47.1	17.6	17.6	17.6	100.0 (17)
計	38.8 (366)	32.9 (311)	12.8 (121)	15.5 (146)	100.0 (944)

p<0.001

③居住年数

居住年数で表すと、次の表のとおりである。
・居住形態によって居住年数が異なることが示されている。

表　現住居別　平均居住年数 (転居経験者)

	川崎	神戸	福岡
持ち家一戸建	21.2 年	23.5 年	23.8 年
賃貸一戸建	13.2 年	10.5 年	13.6 年
持ち家マンション	15.1 年	17.9 年	14.8 年
賃貸(都市再)	7.7 年	14.1 年	11.1 年
公営住宅	18.0 年	13.3 年	18.3 年
給与住宅	5.4 年	4.1 年	8.8 年
賃貸マンション	8.2 年	7.4 年	7.1 年
その他	16.8 年	18.7 年	16.4 年
全体	15.0 年 (865)	18.2 年 (944)	15.1 年 (830)

1−3. 前住居について

現住居に転居してくる前は、どのような住居に住んでいたのか。表は、市ごとに前住居を整理したものである。
・前住居で最も多いのは、3 市とも賃貸マンションである。
・神戸市は (他 2 市と比較すると)、賃貸マンションが非常に少なく、持ち家一戸建・公営住宅・持ち家マンションの割合が多い。

表　前住居 (転居経験者)

	持ち家 一戸建	賃貸 一戸建	持ち家 マンション	賃貸 (都市)	公営 住宅	給与 住宅	賃貸 マンション	その他	計
川崎	17.5	4.6	9.2	1.8	3.3	12.1	50.0	1.5	100.0 (848)
神戸	23.8	5.2	13.3	4.4	7.0	10.4	33.7	2.2	100.0 (925)
福岡	16.8	7.4	8.7	3.4	4.0	9.3	48.5	1.8	100.0 (816)

p<0.001

1−4. 転居パターン

現住居・前住居の 8 選択肢を 4 分類に簡略化し、どの居住形態からどの居住形態へ転居したかというパターンを作成した。表は、市ごとに転居パターンを整理したものである。

居住形態 4 分類を簡略化　持ち家一戸建 ⇔ 持ち家一戸建
持ち家マンション ⇔ 持ち家マンション
賃貸マンション ⇔ 賃貸マンション、都市再生機構の賃貸住宅、公営住宅、給与住宅
その他 ⇔ その他、賃貸一戸建

・転居パターンを多い順に並べると、
神戸市は、①賃貸マンション→持ち家一戸建、②賃貸マンション→購入マンション、③賃貸マンション→賃貸マンション
川崎市は、①賃貸マンション→持ち家マンション、②賃貸マンション→賃貸マンション、③賃貸マンション→持ち家一戸建
福岡市は、①賃貸マンション→賃貸マンション、②賃貸マンション→持ち家一戸建、③賃貸マンション→持ち家マンション
・神戸市は (他 2 市と比較すると)、賃貸マンション→賃貸マンションが非常の割合が非常に少なく、持ち家一戸建→持ち家一戸建・持ち家マンション→持ち家一戸建・持ち家一戸建→持ち家マンションが多い。

表　転居パターン (転居経験者)

(前住居	→現住居)	川崎市	神戸市	福岡市
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	8.4	12.5	6.8
	→2 持ち家マンション	3.5	5.4	3.0
	→3 賃貸マンション	5.0	5.1	6.9
	→4 その他	0.6	0.8	0.2

2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	3.7	6.4	3.2
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.1	4.0	2.1
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	2.4	2.3	2.7
	→4 その他	0.1	0.7	0.6
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	17.1	21.0	18.1
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	24.6	19.9	17.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	24.2	12.7	28.2
	→4 その他	1.3	2.0	2.1
4 その他	→1 持ち家一戸建	2.6	3.5	4.3
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.4	1.0	0.7
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	1.1	1.7	3.0
	→4 その他	1.1	1.2	1.2
計		100.0 (848)	100.0 (921)	100.0 (813)

p<0.001

1−5. 近年の転居者に限定した分析

これまでの分析は、転居経験ありの対象者をすべて含めた分析である。つまり「5 年前に 30 歳で転居した人」も「30 年前に 30 歳で転居した人」も同じ 30 歳転居者である。あるいは「5 年前に 30 歳で転居した人」も「5 年前に 65 歳で転居した人」も同じ 5 年前転居者である。より最近の傾向をみるために、転居時期（居住年数）「2010 年以降（居住年数 0〜9 年）」に対象を限定した分析も追加した。2. 以降では、転居者全体を対象とした分析の後に、2010 年以降転居者の転居パターンの分析を加えている。2010 年以降転居者に限定した場合の分析対象数は、川崎市 350、神戸市 298、福岡市 378 である。

・神戸市は（他 2 市と比較して）持ち家一戸建→持ち家一戸建の割合が多いが、回答者全体の場合の集計結果と比較すると、割合自体は半減している。いっぽう最も多くを占めるのは賃貸ﾏﾝｼｮﾝ→賃貸ﾏﾝｼｮﾝである。

表　転居パターン（転居経験者・2010 年以降入居者）

（前住居	→現住居）	川崎市	神戸市	福岡市
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	2.9	6.2	0.5
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.5	5.2	2.4
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	8.1	10.0	9.9
	→4 その他	0.9	2.1	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	3.5	3.8	2.4
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	2.0	3.8	2.4
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	5.5	4.5	4.8
	→4 その他	0.3	1.4	0.8
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	10.5	13.1	12.3
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	17.2	15.2	13.4
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	40.1	26.9	42.6
	→4 その他	1.2	2.8	2.1
4 その他	→1 持ち家一戸建	1.5	1.0	1.3
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.6	1.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	0.9	1.7	3.2
	→4 その他	1.5	1.4	1.6
計		100.0 (344)	100.0 (290)	100.0 (373)

p<0.001

2. 入居時期による転居パターンの違い

ここでは、転居パターンと入居時期の関連について分析する。表は、3 市それぞれにおいて、入居時期別に転居パターンを整理したものである（巻末に 3 市分掲載）。

神戸市

・どの入居時期でも賃貸ﾏﾝｼｮﾝからの移動が多い。

・1980 年代以前入居者は（他の年代と比較して）、持ち家一戸建→持ち家一戸建、賃貸ﾏﾝｼｮﾝ→持ち家一戸建の割合が多い。1990 年代入居者は、持ち家ﾏﾝｼｮﾝ→持ち家一戸建の割合が多い。2000−2004 年入居者は、持ち家ﾏﾝｼｮﾝ→持ち家ﾏﾝｼｮﾝが多い。2005−2009 年入居者は、賃貸ﾏﾝｼｮﾝ→持ち家ﾏﾝｼｮﾝが多い。2010→2014 年入居者および 2015 年以降入居者は、賃貸ﾏﾝｼｮﾝ→賃貸ﾏﾝｼｮﾝが多い。

また、「（再掲）並び替え版」の表は、表の内容は同じであるが、転居パターンの記載順を変更したものである。先の表は〈前住居〉を軸に整理したものだが、再掲の表は〈現住居〉を軸とした。「どの住居に移ったか」を軸に整理し直したのである。

・1980 年代・1990 年代は「→持ち家一戸建」への転居パターンが、2000 年代は「→持ち家ﾏﾝｼｮﾝ」への転居パターンが、2010 年代は「→賃貸ﾏﾝｼｮﾝ」への転居パターンの割合が多い。持ち家一戸建から持ち家ﾏﾝｼｮﾝへ、そして賃貸ﾏﾝｼｮﾝへ転居する流れが示唆されている。ただし、賃貸ﾏﾝｼｮﾝ志向の強まりなのか、賃貸ﾏﾝｼｮﾝの居住年数の短さを表したものなのか、ここでは判断できない。

・入居時期Ⅱ別の分析でも、バブル前・バブルから震災までの時期は、「→持ち家一戸建」への転居パターンが、震災以降は「→持ち家ﾏﾝｼｮﾝ」への転居パターンが、リーマンショック以降は「→賃貸ﾏﾝｼｮﾝ」への転居パターンが多くなっている。

表　入居時期Ⅰ別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

（前住居	→現住居）	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	5.7	6.8	8.3	12.3	14.4	23.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.8	6.8	9.1	4.9	5.0	4.5
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	13.4	6.0	5.0	4.9	2.8	0.5
	→4 その他	2.5	1.5	0.0	0.0	0.6	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	2.5	5.3	3.3	6.6	14.4	5.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.2	4.5	4.1	8.2	3.9	2.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	5.1	3.8	1.7	2.5	1.1	0.0
	→4 その他	1.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	10.2	16.5	18.2	25.4	20.0	33.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	14.0	16.5	27.3	21.3	22.2	19.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	29.9	23.3	15.7	4.1	3.3	3.0
	→4 その他	3.8	1.5	0.8	2.5	2.2	1.0
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	2.3	3.3	3.3	5.6	5.5
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.3	0.8	0.8	0.0	1.1	1.5
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	2.5	0.8	1.7	2.5	2.2	0.5
	→4 その他	0.6	2.3	0.8	0.8	1.1	1.5
計		100.0 (157)	100.0 (133)	100.0 (121)	100.0 (122)	100.0 (180)	100.0 (200)

p<0.001

（再掲）表　入居時期Ⅰ別 転居パターン（転居経験者・神戸市）　神戸市並べ替え版

（前住居	→現住居）	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	5.7	6.8	8.3	12.3	14.4	23.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		2.5	5.3	3.3	6.6	14.4	5.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		10.2	16.5	18.2	25.4	20.0	33.0
4 その他		0.0	2.3	3.3	3.3	5.6	5.5
1 持ち家一戸建	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.8	6.8	9.1	4.9	5.0	4.5
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		3.2	4.5	4.1	8.2	3.9	2.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		14.0	16.5	27.3	21.3	22.2	19.0
4 その他		1.3	0.8	0.8	0.0	1.1	1.5
1 持ち家一戸建	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	13.4	6.0	5.0	4.9	2.8	0.5
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		5.1	3.8	1.7	2.5	1.1	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		29.9	23.3	15.7	4.1	3.3	3.0
4 その他		2.5	0.8	1.7	2.5	2.2	0.5
1 持ち家一戸建	→4 その他	2.5	1.5	0.0	0.0	0.6	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		1.3	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		3.8	1.5	0.8	2.5	2.2	1.0
4 その他		0.6	2.3	0.8	0.8	1.1	1.5
計		100.0 (157)	100.0 (133)	100.0 (121)	100.0 (122)	100.0 (180)	100.0 (200)

p<0.001

表　入居時期Ⅱ別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

（前住居	→現住居）	2008-2019 (0-11 年)	1995-2007 (12-24 年)	1986-1994 (25-33 年)	-1985 (34 年以上)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	6.2	12.1	17.6	25.2
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	5.6	5.2	5.9	5.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	9.0	4.6	0.0	0.7
	→4 その他	1.7	0.3	0.0	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	3.6	8.5	12.6	3.6
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.6	6.2	2.5	1.4
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	4.5	1.3	0.8	0.0
	→4 その他	1.4	0.3	0.0	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	13.2	22.5	28.6	30.9
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	17.1	23.9	19.3	18.7
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	26.1	5.2	2.5	3.6
	→4 その他	2.5	2.0	0.8	1.4
4 その他	→1 持ち家一戸建	1.7	4.2	3.4	6.5
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.8	0.3	2.5	1.4
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	1.7	2.6	0.8	0.7
	→4 その他	1.4	0.7	2.5	0.7
計		100.0 (357)	100.0 (306)	100.0 (119)	100.0 (139)

p<0.001

（再掲）表　入居時期Ⅱ別 転居パターン（転居経験者・神戸市）　神戸市並べ替え版

（前住居	→現住居）	2008-2019 (0-11 年)	1995-2007 (12-24 年)	1986-1994 (25-33 年)	-1985 (34 年以上)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	6.2	12.1	17.6	25.2
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		3.6	8.5	12.6	3.6
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		13.2	22.5	28.6	30.9
4 その他		1.7	4.2	3.4	6.5
1 持ち家一戸建	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	5.6	5.2	5.9	5.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		3.6	6.2	2.5	1.4
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		17.1	23.9	19.3	18.7
4 その他		0.8	0.3	2.5	1.4
1 持ち家一戸建	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	9.0	4.6	0.0	0.7
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		4.5	1.3	0.8	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		26.1	5.2	2.5	3.6
4 その他		1.7	2.6	0.8	0.7
1 持ち家一戸建	→4 その他	1.7	0.3	0.0	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ		1.4	0.3	0.0	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ		2.5	2.0	0.8	1.4
4 その他		1.4	0.7	2.5	0.7
計		100.0 (357)	100.0 (306)	100.0 (119)	100.0 (139)

p<0.001

3. 年齢による転居パターンの違い

ここでは年齢と転居パターンとの関連を分析する。〈現在の年齢〉と〈入居時の年齢〉を用いて分析をおこなう。

3−1. 〈現在の年齢〉との関連

まず表は、回答者の現在の年齢別構成を整理したものである。分析対象は転居経験者のみとしている。

・神戸市は（他 2 市と比較すると）、60 代以上とくに 70 代以上の割合が多く、30 代以下とくに 30 代の割合が少ない。

表　現在の年齢別構成比（転居経験者）

	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	計	
川崎市	9.6	17.6	21.1	21.1	16.8	13.7	100.0	(809)
神戸市	8.2	10.4	18.5	20.0	20.4	22.6	100.0	(894)
福岡市	8.6	15.1	21.3	19.3	19.0	16.6	100.0	(793)

p<0.001

表は、3 市それぞれにおいて、現在の年齢別に現住居の居住形態を整理したものである。

神戸市

・どの年代でも、最も多いのは持ち家一戸建である。

・他の年代と比較すると、20・30・40 代は賃貸ﾏﾝｼｮﾝの割合が非常に多い（しかし他 2 市と比較すると少ない）。一方、50 代は持ち家ﾏﾝｼｮﾝ、60・70 代は持ち家一戸建の割合が多い。また、70 代は公営住宅の割合も多い。

・若年層は賃貸ﾏﾝｼｮﾝ、中年層は持ち家ﾏﾝｼｮﾝ、高年層は持ち家一戸建の割合が多くなるという特徴は 3 市に共通している。

表　現在の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・神戸市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
20 代以下	38.4	2.7	15.1	0.0	2.7	6.8	30.1	4.1	100.0	(73)
30 代	34.4	2.2	30.1	2.2	1.1	2.2	26.9	1.1	100.0	(93)
40 代	34.8	1.2	36.0	1.8	2.4	2.4	20.7	0.6	100.0	(164)
50 代	38.8	3.9	37.6	3.9	1.7	0.6	11.8	1.7	100.0	(178)
60 代	53.6	1.7	30.4	2.2	3.3	0.0	8.3	0.6	100.0	(181)
70 代以上	55.4	2.5	25.7	2.5	7.4	0.0	4.0	2.5	100.0	(202)
計	44.3	2.4	30.5	2.4	3.5	1.3	14.0	1.6	100.0	(891)

p<0.001

表　現在の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・川崎市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
20 代以下	23.1	3.8	17.9	1.3	1.3	7.7	44.9	0.0	100.0	(78)
30 代	21.1	1.4	28.2	0.0	1.4	4.9	42.3	0.7	100.0	(142)
40 代	28.1	2.3	42.7	0.6	0.0	5.3	21.1	0.0	100.0	(171)
50 代	26.3	1.8	42.1	1.2	0.6	2.3	24.6	1.2	100.0	(171)
60 代	43.4	2.9	30.9	0.7	7.4	0.0	14.0	0.7	100.0	(136)
70 代以上	52.7	0.0	27.3	0.9	10.0	0.0	6.4	2.7	100.0	(110)
計	31.9	2.0	33.5	0.7	3.1	3.2	24.6	0.9	100.0	(808)

p<0.001

表　現在の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・福岡市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
20 代以下	9.1	6.1	19.7	0.0	4.5	3.0	56.1	1.5	100.0	(66)
30 代	17.6	2.5	18.5	3.4	0.8	3.4	52.9	0.8	100.0	(119)
40 代	29.0	3.0	23.1	2.4	1.8	3.6	36.1	1.2	100.0	(169)
50 代	30.1	2.0	29.4	3.3	4.6	2.6	26.1	2.0	100.0	(153)
60 代	44.4	3.3	26.5	4.0	2.6	0.0	17.9	1.3	100.0	(151)
70 代以上	54.5	2.3	18.9	1.5	6.1	0.0	14.4	2.3	100.0	(132)
計	33.0	2.9	23.3	2.7	3.3	2.0	31.3	1.5	100.0	(790)

p<0.001

次に、現在の年齢と転居パターンの違いについて分析する。表は、3 市それぞれにおいて、現在の年齢別に転居パターンを整理したものである（巻末に 3 市分掲載）。

神戸市

- 70 代は持ち家→一戸建→持ち家→一戸建の割合がいちばん多い、60 代・30 代は、賃貸マンション→持ち家→一戸建が、50 代・40 代は賃貸マンション→持ち家マンションが、20 代以下は賃貸マンション→賃貸マンションの割合がいちばん多い。
- 他の年代と比較すると、70 代は持ち家→一戸建→持ち家→一戸建、60 代は持ち家マンション→持ち家→一戸建、50・40 代は賃貸マンション→持ち家マンション、30 代は賃貸マンション→持ち家→一戸建、20 代は賃貸マンション→賃貸マンションの割合が多い。
- 2010 年以降入居者の場合、全体での集計結果に比べると、どの年齢層でも賃貸マンション→持ち家→一戸建の割合が減少し、賃貸マンション→賃貸マンションの割合が増加している。

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

（前住居	→現住居）	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	6.9	6.5	8.6	6.8	15.3	23.9
	→2 持ち家マンション	1.4	5.4	5.6	6.3	5.1	7.6
	→3 賃貸マンション	12.5	10.8	5.6	2.8	2.3	2.0
	→4 その他	4.2	1.1	0.0	0.0	0.6	0.5
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	12.5	2.2	3.7	5.7	10.8	6.6
	→2 持ち家マンション	2.8	1.1	4.3	5.7	2.8	4.1
	→3 賃貸マンション	5.6	3.2	2.5	2.3	1.1	2.0
	→4 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.0
3 賃貸マンション	→1 持ち家一戸建	15.3	24.7	19.8	22.7	22.2	21.8
	→2 持ち家マンション	9.7	22.6	26.5	25.6	20.5	13.7
	→3 賃貸マンション	20.8	18.3	16.7	11.4	8.5	6.1
	→4 その他	1.4	1.1	1.2	2.8	0.6	2.5
4 その他	→1 持ち家一戸建	2.8	1.1	2.5	4.0	5.1	4.1
	→2 持ち家マンション	1.4	1.1	0.0	0.6	2.3	1.0
	→3 賃貸マンション	1.4	0.0	2.5	1.1	1.7	2.0
	→4 その他	1.4	1.1	0.6	2.3	0.0	1.0
計		100.0 (72)	100.0 (93)	100.0 (162)	100.0 (176)	100.0 (176)	100.0 (197)

p<0.001

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010 年以降転居者・神戸市）

（前住居	→現住居）	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	5.1	6.8	5.7	4.9	15.4	3.8
	→2 持ち家マンション	2.6	2.7	2.9	7.3	11.5	15.4
	→3 賃貸マンション等	17.9	13.7	7.1	4.9	7.7	3.8
	→4 その他	7.7	1.4	0.0	0.0	0.0	3.8
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	5.1	1.4	2.9	7.3	0.0	11.5
	→2 持ち家マンション	5.1	1.4	1.4	7.3	7.7	3.8
	→3 賃貸マンション等	5.1	2.7	4.3	7.3	0.0	11.5
	→4 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8
3 賃貸マンション等	→1 持ち家一戸建	7.7	21.9	17.1	12.2	0.0	7.7
	→2 持ち家マンション	2.6	20.5	28.6	7.3	11.5	3.8
	→3 賃貸マンション等	35.9	23.3	24.3	26.8	30.8	19.2
	→4 その他	0.0	1.4	1.4	4.9	3.8	3.8
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	0.0
	→2 持ち家マンション	2.6	1.4	0.0	0.0	0.0	3.8
	→3 賃貸マンション等	2.6	0.0	1.4	2.4	3.8	3.8
	→4 その他	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0
計		100.0 (39)	100.0 (73)	100.0 (70)	100.0 (41)	100.0 (26)	100.0 (26)

p<0.001

3−2.〈入居時の年齢〉との関連

ここでは、現在の年齢ではなく、「何歳のときに引っ越してきたのか」つまり入居時の年齢で分析をおこなう。現在の年齢から居住年数を引き、入居時の年齢を算出した。表は、入居時の年齢を市別に整理したものである。

- 入居時の年齢構成比は、3 市で大きな違いは見られない。
- （現在の年齢）の構成比と比較すると、20 代以下・30 代以下の割合が増し、60 代以上が少ない。

表　入居時の年齢（転居経験者）

	10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上	計	
川崎市	8.3	21.9	37.4	19.1	8.8	4.6	100.0	(808)
神戸市	9.5	18.3	36.5	19.8	8.7	7.2	100.0	(893)
福岡市	7.8	19.2	35.2	21.7	8.4	7.7	100.0	(793)

p<0.193

表は、入居時の年齢別に現住居の居住形態を整理したものである。

- 他の年代と比較して特徴的なのは、10 代で持ち家一戸建（親の引越についてきたパターンだろう）、20 代で給与住宅、30 代で持ち家一戸建、60 代で公営住宅の割合が多い点である（とくに 60 代の公営住宅の多さが顕著であった）。

表　入居時の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・神戸市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
10 代以下	56.5	1.2	17.6	1.2	2.4	1.2	11.8	8.2	100.0	(85)
20 代	41.1	1.8	33.1	1.2	2.5	3.1	16.6	0.6	100.0	(163)
30 代	48.9	1.5	32.6	1.5	1.5	1.2	12.6	0.0	100.0	(325)
40 代	47.7	2.3	30.7	3.4	2.3	0.6	11.9	1.1	100.0	(176)
50 代	28.6	6.5	36.4	5.2	5.2	1.3	16.9	0.0	100.0	(77)
60 代以上	23.4	3.1	23.4	4.7	18.8	0.0	20.3	6.3	100.0	(64)
計	44.4	2.2	30.6	2.4	3.5	1.3	14.0	1.6	100.0	(890)

p<0.001

表　入居時の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・川崎市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
10 代以下	46.3	4.5	31.3	0.0	3.0	0.0	14.9	0.0	100.0	(67)
20 代	30.5	2.8	22.6	0.6	1.7	5.6	35.0	1.1	100.0	(177)
30 代	33.4	1.3	38.7	0.7	2.3	2.6	20.5	0.3	100.0	(302)
40 代	29.2	1.3	39.0	0.6	0.0	5.2	24.0	0.6	100.0	(154)
50 代	26.8	1.4	35.2	0.0	9.9	0.0	25.4	1.4	100.0	(71)
60 代以上	21.6	2.7	21.6	5.4	16.2	0.0	27.0	5.4	100.0	(37)
計	31.9	2.0	33.5	0.7	3.1	3.2	24.6	0.9	100.0	(808)

p<0.001

表　入居時の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・福岡市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
10 代以下	46.7	5.0	20.0	1.7	6.7	3.3	15.0	1.7	100.0	(60)
20 代	30.3	4.6	13.2	0.7	3.9	2.6	44.1	0.7	100.0	(152)
30 代	37.4	2.2	25.2	2.9	1.8	1.1	28.4	1.1	100.0	(278)

40 代	30.2	1.7	29.1	1.7	1.7	3.5	29.1	2.9	100.0	(172)
50 代	34.3	4.5	23.9	6.0	4.5	1.5	25.4	0.0	100.0	(67)
60 代以上	13.1	1.6	26.2	6.6	8.2	0.0	41.0	3.3	100.0	(61)
計	33.0	2.9	23.3	2.7	3.3	2.0	31.3	1.5	100.0	(790)

p<0.001

どの年齢で転居してきた人がどのような転居パターンだったのか。表は、入居時の年齢別に転居パターンを市ごとに整理したものである。（巻末に 3 市分掲載）

神戸市

- 最も多い転居パターンは、20 代入居者は賃貸マンション→持ち家マンション、30 代入居者は賃貸マンション→持ち家一戸建、40 代入居者は賃貸マンション→持ち家マンション、50 代入居者は持ち家一戸建→持ち家一戸建、60 代入居者は賃貸マンション→賃貸マンションである。
- 他の年代と比較すると、30 代入居者は賃貸マンション→持ち家一戸建と賃貸マンション→持ち家マンション、40 代入居者は持ち家一戸建→持ち家一戸建、50 代入居者は持ち家マンション→持ち家マンションと持ち家マンション→賃貸マンション、60 代以上入居者は持ち家一戸建→持ち家マンションと賃貸マンション→賃貸マンションの割合が高い。
- 2010 年以降入居者は、全体での集計結果と比較すると、どの年齢層でも賃貸マンション→賃貸マンションの割合が増加している。

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

（前住居	→現住居）	～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	14.8	14.5	10.2	12.6	16.9	13.3
	→2 持ち家マンション	1.2	6.9	5.0	4.6	9.1	11.7
	→3 賃貸マンション	6.2	5.0	4.3	2.9	9.1	3.3
	→4 その他	2.5	1.3	0.0	0.6	0.0	1.7
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	12.3	3.8	5.3	10.3	5.2	6.7
	→2 持ち家マンション	0.0	3.8	3.1	2.9	13.0	3.3
	→3 賃貸マンション	2.5	2.5	1.2	1.7	6.5	5.0
	→4 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
3 賃貸マンション	→1 持ち家一戸建	22.2	20.1	29.7	20.6	5.2	3.3
	→2 持ち家マンション	14.8	22.0	24.1	21.7	14.3	8.3
	→3 賃貸マンション	4.9	15.7	9.9	10.9	11.7	28.3
	→4 その他	2.5	0.6	1.5	1.1	3.9	3.3
4 その他	→1 持ち家一戸建	6.2	2.5	3.7	4.6	1.3	1.7
	→2 持ち家マンション	2.5	1.3	0.6	1.1	0.0	1.7
	→3 賃貸マンション	2.5	0.0	1.2	2.9	1.3	3.3
	→4 その他	4.9	0.0	0.0	1.7	2.6	0.0
計		100.0 (81)	100.0 (159)	100.0 (323)	100.0 (175)	100.0 (77)	100.0 (60)

p<0.001

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010 年以降入居者・神戸市）

（前住居	→現住居）	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	9.1	3.5	9.8	3.8	3.6	9.1
	→2 持ち家マンション	0.0	1.8	3.7	3.8	10.7	13.6
	→3 賃貸マンション	27.3	12.3	11.0	7.7	10.7	2.3
	→4 その他	18.2	3.5	0.0	0.0	0.0	2.3
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	9.1	1.8	1.2	5.8	7.1	6.8

	→2 持ち家マンション	0.0	3.5	1.2	3.8	10.7	4.5
	→3 賃貸マンション	0.0	5.3	2.4	3.8	10.7	6.8
	→4 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
3 賃貸マンション	→1 持ち家一戸建	0.0	17.5	20.7	15.4	3.6	4.5
	→2 持ち家マンション	0.0	14.0	23.2	17.3	10.7	9.1
	→3 賃貸マンション	18.2	35.1	22.0	26.9	17.9	29.5
	→4 その他	0.0	0.0	2.4	1.9	7.1	2.3
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	0.0	2.4	1.9	0.0	0.0
	→2 持ち家マンション	9.1	1.8	0.0	0.0	0.0	2.3
	→3 賃貸マンション	9.1	0.0	0.0	3.8	3.6	2.3
	→4 その他	0.0	0.0	0.0	3.8	3.6	0.0
	計	100.0 (11)	100.0 (57)	100.0 (82)	100.0 (52)	100.0 (28)	100.0 (44)

p<0.002

4. 世帯属性による転居パターンの違い

4−1. 〈現在の世帯構成〉との関連

世帯属性を表す変数のひとつとして、世帯構成を用いる。Q27 の回答内容から、世帯構成変数を作成した（分析では変数 2 を使用）。ただし、Q27 からわかるのは、〈現在の世帯構成〉である。現在の世帯構成は、転居してきた当時の世帯構成から変化していることもあるだろう。ここでの分析では、現在の世帯構成は入居時の世帯構成と必ずしも一致しないことに留意しなければならない。

〈Q27 の回答〉		〈世帯構成 1〉	〈世帯構成 2〉
1. 配偶者	⇒	単身	単身
2. 子ども		夫婦	夫婦
3. 子どもの配偶者		夫婦と子（回答者が親世代）	夫婦と子
4. 父親		夫婦と子（回答者が子世代）	
5. 母親		本人と子	ひとり親と子
6. 孫		父と子（子世代）	
7. 兄弟		母と子（子世代）	
8. 祖父祖母		多世代	多世代
9. その他親族		その他の親族世帯	その他
10. その他		その他非親族世帯	

表は、現在の世帯構成を市別に整理したものである。また、次の表は、世帯構成別に平均世帯人数をまとめたものである。いずれも分析対象は転居経験者のみである。
・神戸市は（他 2 市と比較すると）、夫婦世帯が多い点が特徴である。

表　世帯構成（転居経験者）

	単身	夫婦	夫婦と子	ひとり親と子	多世代	その他	計
川崎市	13.5	24.7	46.2	6.9	6.5	2.1	100.0 (850)
神戸市	15.3	29.2	38.0	8.3	7.8	1.5	100.0 (929)
福岡市	19.9	23.8	35.5	9.4	9.2	2.2	100.0 (828)

p<0.001

表　世帯構成別 平均世帯人数（転居経験者）

	単身	夫婦	夫婦と子	ひとり親と子	多世代	その他	計
川崎市	1.00 人	2.00 人	3.66 人	2.32 人	4.65 人	6.67 人	2.92 人 (849)
神戸市	1.00 人	2.00 人	3.60 人	2.36 人	4.38 人	18.00 人	2.91 人 (926)
福岡市	1.00 人	2.00 人	3.63 人	2.40 人	4.16 人	5.17 人	2.68 人 (825)

表は、3 市それぞれにおいて、世帯構成別に現住居の居住形態を整理したものである。
神戸市
・単身世帯・その他の世帯を除くと、どの世帯構成でも持ち家一戸建がいちばん多い。
・他の世帯構成と比較すると、単身世帯は賃貸マンション・給与住宅・公営住宅、夫婦と子世帯は持ち家マンション、ひとり親と子世帯は賃貸（都市再生）・公営住宅、多世代は持ち家一戸建の割合が多い。
・他 2 市と比較すると、単身であっても持ち家一戸建や持ち家マンションの割合が多い。

表　現在の世帯構成別 現住居（神戸市・転居経験者）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸（都市）	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計
単身	21.3	5.0	24.1	5.0	8.5	4.3	29.1	2.8	100.0 (141)
夫婦	47.6	3.0	29.9	2.6	3.7	0.4	12.2	0.7	100.0 (271)
夫婦と子	46.3	1.4	37.4	0.9	1.7	1.1	10.6	0.6	100.0 (350)
ひとり親と子	36.4	2.6	23.4	9.1	11.7	0.0	14.3	2.6	100.0 (77)
多世代	69.4	1.4	16.7	1.4	2.8	0.0	6.9	1.4	100.0 (72)
その他	14.3	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3	35.7	100.0 (14)
計	43.4	2.6	30.2	2.7	4.2	1.3	13.9	1.7	100.0 (925)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 現住居（川崎市・転居経験者）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸（都市）	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計
単身	5.2	0.0	14.8	0.0	5.2	7.8	66.1	0.9	100.0 (115)
夫婦	32.4	0.0	32.9	1.0	5.2	2.4	25.2	1.0	100.0 (210)
夫婦と子	35.7	2.6	40.6	0.8	1.0	3.3	15.6	0.5	100.0 (392)
ひとり親と子	25.4	5.1	37.3	0.0	6.8	0.0	23.7	1.7	100.0 (59)
多世代	70.9	1.8	18.2	0.0	3.6	0.0	3.6	1.8	100.0 (55)
その他	27.8	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	44.4	16.7	100.0 (18)
計	32.2	1.8	32.7	0.6	3.2	3.2	25.2	1.2	100.0 (849)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 現住居（福岡市・転居経験者）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸（都市）	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計
単身	13.9	1.2	10.9	4.2	7.3	3.6	57.0	1.8	100.0 (165)
夫婦	34.5	1.5	27.9	2.0	2.0	1.5	28.9	1.5	100.0 (197)
夫婦と子	36.1	3.4	27.5	3.1	2.1	2.4	24.7	0.7	100.0 (291)
ひとり親と子	28.2	2.6	32.1	1.3	5.1	1.3	28.2	1.3	100.0 (78)
多世代	63.2	7.9	10.5	2.6	2.6	0.0	9.2	3.9	100.0 (76)
その他	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	5.6	100.0 (18)
計	32.6	2.8	22.8	2.8	3.4	2.1	32.0	1.6	100.0 (825)

p<0.001

表は、3 市それぞれにおいて、世帯構成別に転居パターンを整理したものである。（巻末に 3 市分掲載）
神戸市
・単身世帯は賃貸マンション→賃貸マンション、夫婦世帯は賃貸マンション→持ち家一戸建、夫婦と子世帯は賃貸マンション→持ち家マンション、ひとり親と子世帯は賃貸マンション→持ち家一戸建の割合が多い。
・他の世帯構成と比較すると、単身世帯やひとり親と子世帯は持ち家一戸建→賃貸マンション、夫婦と子世帯や多世代世帯は賃貸マンション→持ち家一戸建、夫婦と子世帯は賃貸マンション→持ち家マンションの割合が高い。

表　現在の世帯構成別 転居パターン（神戸市）

（前住居）	→現住居）	単身	夫婦	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	9.6	16.0	11.2	9.6	14.9	0.0
	→2 持ち家マンション	5.9	5.6	5.2	6.8	4.5	0.0
	→3 賃貸マンション等	11.0	4.5	2.6	11.0	0.0	7.1
	→4 その他	2.2	0.4	0.0	1.4	0.0	14.3
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	2.2	6.7	6.9	2.7	17.9	0.0
	→2 持ち家マンション	2.9	3.7	4.3	5.5	4.5	7.1
	→3 賃貸マンション等	4.4	2.6	1.2	1.4	1.5	14.3
	→4 その他	2.2	0.4	0.0	1.4	0.0	7.1
3 賃貸マンション等	→1 持ち家一戸建	6.6	20.9	24.8	21.9	31.3	14.3
	→2 持ち家マンション	15.4	19.8	26.2	11.0	9.0	14.3
	→3 賃貸マンション等	27.9	10.4	8.9	19.2	4.5	0.0
	→4 その他	2.2	2.2	0.9	1.4	3.0	14.3
4 その他	→1 持ち家一戸建	2.9	4.1	3.5	0.0	7.5	0.0
	→2 持ち家マンション	0.0	0.7	1.7	1.4	0.0	0.0
	→3 賃貸マンション等	2.9	1.1	1.4	4.1	1.5	0.0
	→4 その他	1.5	0.7	1.2	1.4	0.0	7.1
計		100.0 (136)	100.0 (268)	100.0 (347)	100.0 (73)	100.0 (67)	100.0 (14)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 転居パターン（神戸市・転居経験者・2010 年以降転居者）

（前住居）	→現住居）	単身	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	3.8	4.7	8.0	3.4	17.6	0.0
	→2 持ち家マンション	0.0	9.4	2.7	10.3	11.8	0.0
	→3 賃貸マンション等	18.9	15.6	2.7	13.8	0.0	14.3
	→4 その他	3.8	1.6	0.0	3.4	0.0	28.6
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	0.0	3.1	6.2	0.0	11.8	0.0
	→2 持ち家マンション	0.0	6.3	4.4	6.9	0.0	0.0
	→3 賃貸マンション等	7.5	9.4	1.8	3.4	0.0	0.0
	→4 その他	3.8	1.6	0.0	0.0	0.0	14.3
3 賃貸マンション等	→1 持ち家一戸建	1.9	6.3	22.1	10.3	23.5	14.3
	→2 持ち家マンション	11.3	6.3	24.8	10.3	5.9	14.3
	→3 賃貸マンション等	41.5	29.7	18.6	34.5	17.6	0.0
	→4 その他	3.8	3.1	0.9	0.0	5.9	14.3
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0

	→2 持ち家マンション	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	→3 賃貸マンション等	1.9	1.6	0.9	3.4	5.9	0.0
	→4 その他	1.9	1.6	1.8	0.0	0.0	0.0
計		100.0 (53)	100.0 (64)	100.0 (113)	100.0 (29)	100.0 (17)	100.0 (7)

p<0.001

4−2. 〈末子ライフステージ〉との関連

世帯属性を示す変数として、末子のライフステージ変数を用いて分析をおこなう。子どもの有無と末子の年齢の変数を用いて、「子ども無し」「末子 6 歳以下（育児期）」「末子 7−12 歳（教育期 1）」「末子 13−18 歳（教育期 2）」「末子 19−25 歳（排出期 1）」「末子 26−39 歳（排出期 2）」「末子 40 歳以上」というカテゴリーに分けた新しい変数を作成した。ただし、ここでの末子は必ずしも同居しているわけではない。
表は、末子のライフステージを市別に整理したものである。いずれも分析対象は転居経験者のみである。
・神戸市は（他 2 市と比較すると）、26-39 歳・40 歳以上の割合が高く、6 歳以下の割合が少ない。神戸市は他 2 市より高齢層の割合が多いことを反映しているといえる。

表　末子のライフステージ（転居経験者）

	子ども無し	-6 歳 育児期	7-12 歳 教育 1	13-18 歳 教育 2	19-25 歳 排出 1	26-39 歳 排出 2	40 歳以上	計
川崎市	33.6	14.8	6.8	7.6	10.4	16.5	10.3	100.0 (818)
神戸市	29.2	9.1	7.4	6.9	8.7	22.5	16.1	100.0 (893)
福岡市	33.8	12.3	8.8	5.6	9.2	18.6	11.8	100.0 (791)

p<0.001

表は、3 市それぞれにおいて、末子のライフステージ別に現住居の居住形態を整理したものである。
神戸市
・どのライフステージでも、最も多い居住形態は持ち家一戸建である。
・ライフステージ別に比較すると、子ども無しで賃貸マンション、末子 26 歳以上で持ち家一戸建の割合が多い。

表　末子のライフステージ別 現住居（転居経験者・神戸市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸（都市）	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計
子ども無し	29.5	3.1	23.4	3.4	6.1	2.3	28.7	3.4	100.0 (261)
-6 歳	40.0	2.5	40.0	2.5	1.3	1.3	11.3	1.3	100.0 (80)
7-12 歳	40.9	0.0	34.8	1.5	3.0	3.0	16.7	0.0	100.0 (66)
13-18 歳	45.2	1.6	41.9	1.6	1.6	1.6	6.5	0.0	100.0 (62)
19-25 歳	51.3	6.4	29.5	1.3	2.6	0.0	9.0	0.0	100.0 (78)
26-39 歳	51.5	2.0	33.5	2.5	3.0	0.5	6.5	0.5	100.0 (200)
40 歳-	56.9	2.1	28.5	1.4	4.9	0.0	4.9	1.4	100.0 (144)
計	43.7	2.6	30.6	2.4	3.9	1.2	14.1	1.5	100.0 (891)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 現住居（転居経験者・川崎市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸（都市）	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計
子ども無し	16.7	2.5	28.0	0.4	2.2	4.4	44.4	1.5	100.0 (275)

-6歳	29.8	3.3	37.2	1.7	1.7	2.5	23.1	0.8	100.0	(121)
7-12歳	30.4	1.8	46.4	0.0	0.0	5.4	16.1	0.0	100.0	(56)
13-18歳	32.3	3.2	38.7	1.6	0.0	9.7	14.5	0.0	100.0	(62)
19-25歳	37.6	0.0	43.5	0.0	0.0	2.4	15.3	1.2	100.0	(85)
26-39歳	46.7	0.0	36.3	0.7	3.0	0.0	11.9	1.5	100.0	(135)
40歳-	56.6	0.0	16.9	0.0	14.5	0.0	9.6	2.4	100.0	(83)
計	31.9	1.7	33.3	0.6	2.9	3.2	25.1	1.2	100.0	(817)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 現住居（転居経験者・福岡市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
子ども無し	15.0	2.6	22.6	3.4	2.6	3.0	48.9	1.9	100.0	(266)
-6歳	26.0	7.3	13.5	3.1	0.0	3.1	46.9	0.0	100.0	(96)
7-12歳	35.7	0.0	28.6	1.4	1.4	4.3	27.1	1.4	100.0	(70)
13-18歳	50.0	0.0	34.1	2.3	2.3	0.0	11.4	0.0	100.0	(44)
19-25歳	28.8	2.7	24.7	2.7	11.0	2.7	26.0	1.4	100.0	(73)
26-39歳	47.6	2.0	28.6	2.7	2.0	0.0	15.0	2.0	100.0	(147)
40歳-	59.1	2.2	16.1	2.2	6.5	1.1	10.8	2.2	100.0	(93)
計	32.7	2.7	23.2	2.8	3.3	2.2	31.7	1.5	100.0	(789)

p<0.001

表は、3市それぞれにおいて、末子のライフステージ別に転居パターンを整理したものである。（巻末に3市分掲載）

神戸市

・末子ライフステージ別に比較すると、末子40歳以上で持ち家一戸建→持ち家一戸建、末子26-29歳で持ち家マンション→持ち家一戸建、末子19-25歳で賃貸マンション→持ち家一戸建、13-18歳で賃貸マンション→持ち家マンション、6歳以下で賃貸マンション→持ち家マンション。子ども無しの場合に賃貸マンションへの転居が多いという特徴がみられた。

・2010年以降入居者の場合、入居時と現在の世帯状況の変化がそれほど大きくないと思われる。2010年以降入居者の集計結果では、子ども無しの場合に賃貸マンションへの転居、子どもが育児期～教育期には賃貸マンション→持ち家一戸建あるいは持ち家マンションのパターンが比較的多い。また、排出期に持ち家一戸建→持ち家マンションのパターンが見られることも特徴である。

表　末子のライフステージ別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

（前住居）	→現住居）	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	6.3	10.0	12.1	8.2	5.2	12.2	28.3
	→2持ち家マンション	3.1	6.3	7.6	4.9	6.5	5.1	8.7
	→3賃貸マンション等	11.0	1.3	9.1	1.6	3.9	1.5	1.4
	→4その他	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	5.9	3.8	3.0	1.6	10.4	11.7	4.3
	→2持ち家マンション	4.7	2.5	4.5	6.6	1.3	4.6	3.6
	→3賃貸マンション等	5.1	0.0	4.5	1.6	1.3	0.5	0.0
	→4その他	0.8	0.0	0.0	0.0	1.3	1.0	0.7
3賃貸マンション等	→1持ち家一戸建	14.1	22.5	24.2	29.5	32.5	23.4	21.0
	→2持ち家マンション	14.5	30.0	22.7	31.1	20.8	21.8	16.7
	→3賃貸マンション等	23.5	15.0	9.1	6.6	6.5	8.1	5.1

	→4その他	2.0	2.5	0.0	1.6	3.9	1.0	1.4
4その他	→1持ち家一戸建	2.7	3.8	1.5	4.9	3.9	4.6	3.6
	→2持ち家マンション	0.8	1.3	0.0	0.0	1.3	2.0	0.7
	→3賃貸マンション等	1.6	0.0	1.5	1.6	0.0	2.0	2.9
	→4その他	2.4	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.7
計		100.0 (255)	100.0 (80)	100.0 (66)	100.0 (61)	100.0 (77)	100.0 (197)	100.0 (138)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 転居パターン（神戸市・転居経験者・2010年以降入居者）

（前住居）	→現住居）	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	1.8	10.9	10.0	0.0	13.3	9.4	6.7
	→2持ち家マンション	2.7	4.7	0.0	0.0	13.3	12.5	13.3
	→3賃貸マンション等	18.9	1.6	10.0	0.0	6.7	3.1	6.7
	→4その他	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	3.6	3.1	0.0	9.1	0.0	9.4	6.7
	→2持ち家マンション	4.5	0.0	6.7	9.1	0.0	9.4	0.0
	→3賃貸マンション等	7.2	0.0	6.7	9.1	6.7	0.0	0.0
	→4その他	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.7
3賃貸マンション等	→1持ち家一戸建	6.3	20.3	33.3	18.2	20.0	6.3	0.0
	→2持ち家マンション	6.3	34.4	16.7	27.3	6.7	9.4	13.3
	→3賃貸マンション等	37.8	17.2	13.3	18.2	20.0	28.1	20.0
	→4その他	2.7	1.6	0.0	0.0	6.7	3.1	6.7
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	3.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	→2持ち家マンション	0.9	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	→3賃貸マンション等	1.8	0.0	0.0	9.1	0.0	3.1	6.7
	→4その他	0.9	1.6	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
計		100.0 (111)	100.0 (64)	100.0 (30)	100.0 (11)	100.0 (15)	100.0 (32)	100.0 (15)

p<0.001

（資料）

政府統計調査と生活実態調査の比較【神戸市】

生活実態調査

持ち家一戸建	賃貸の一戸建	持ち家マンション	都市再生賃貸住宅	公営住宅	給与住宅	賃貸のマンション	その他	計
44.8 (455)	2.7 (27)	29.5 (299)	2.6 (26)	4.1 (42)	1.2 (12)	13.4 (136)	1.8 (18)	100.0 (1015)

NA(7)

国勢調査 2015（世帯人員数）

	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
住宅に住む一般世帯人員	100.0	43.8	1.8	54.3	0.1
主世帯	99.4	43.5	1.8	54.0	0.1
持ち家	(67.6)	(41.7)	(1.0)	(24.8)	(0.1)
公営・都市再生機構・公社の借家	(10.2)	(0.0)	(0.0)	(10.2)	(-)
民営の借家	(19.7)	(1.6)	(0.7)	(17.4)	(0.0)
給与住宅	(2.0)	(0.2)	(0.0)	(1.7)	(0.0)
間借り	0.6	0.4	0.0	0.2	0.0

※住宅の種類「不詳」を除く

住宅土地統計 2018（世帯人員数）

		(人)
0_総数		1,499,400
1_持ち家	68.4	1,025,200
2_借家	29.1	436,300
21_公営・都市再生機構(UR)・公社の借家	8.7	129,800
2110_公営の借家	5.2	78,100
2120_都市再生機構(UR)・公社の借家	3.4	51,700
22_民営借家	19.0	284,600
2210_一戸建（民営借家）	1.6	24,200
2220_長屋建	0.5	8,200
2230_共同住宅	16.8	251,500
2240_その他	0.0	700
23_給与住宅	1.5	21,800

・統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
・統計表の数値は、総数に「不詳」の数を含むことから、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

各調査結果の比較

	生活実態調査	国勢調査	住宅・土地
持ち家一戸建て	44.8	41.7	68.4
持ち家マンション	29.5	24.8	
都市再生の賃貸住宅	2.6	10.2	3.4
公営住宅	4.1		5.2
賃貸マンション	13.4	17.4	16.8
賃貸の一戸建て	2.7	1.6 (長屋含)	1.6 (長屋含)
給与住宅	1.2	2.0	1.5

政府統計調査と生活実態調査の比較【川崎市】

生活実態調査

持ち家一戸建	賃貸の一戸建	持ち家マンション	都市再生賃貸住宅	公営住宅	給与住宅	賃貸のマンション	その他	計
34.6% (325)	1.9% (18)	31.7% (298)	0.6% (6)	3.1% (29)	2.9% (27)	24.1% (226)	1.1% (10)	100.0% (939)

NA(5)

国勢調査 2015（世帯人員数）

	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
住宅に住む一般世帯人員	100.0	34.3	1.1	64.5	0.1
主世帯	99.2	33.9	1.1	64.1	0.1
持ち家	(61.1)	(32.7)	(0.2)	(28.1)	(0.1)
公営・都市再生機構・公社の借家	(4.1)	(0.0)	(0.0)	(4.1)	(-)
民営の借家	(30.9)	(1.1)	(0.8)	(28.9)	(0.0)
給与住宅	(3.2)	(0.1)	(0.1)	(3.0)	(0.0)
間借り	0.8	0.4	0.0	0.4	0.0

※住宅の種類「不詳」を除く

住宅土地統計 2018（世帯人員数）

		(人)
0_総数		1,492,700
1_持ち家	58.1%	867,200
2_借家	39.8%	593,400
21_公営・都市再生機構(UR)・公社の借家	4.0%	60,000
2110_公営の借家	2.3%	34,600
2120_都市再生機構(UR)・公社の借家	1.7%	25,400
22_民営借家	33.1%	494,800
2210_一戸建（民営借家）	1.2%	18,100
2220_長屋建	1.1%	16,800
2230_共同住宅	30.8%	459,300
2240_その他	0.0%	600
23_給与住宅	2.6%	38,700

・統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
・統計表の数値は、総数に「不詳」の数を含むことから、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

各調査結果の比較

	生活実態調査	国勢調査	住宅・土地
持ち家一戸建て	34.6	32.7	58.1
持ち家マンション	31.7	28.1	
都市再生の賃貸住宅	0.6	4.1	1.7
公営住宅	3.1		2.3
賃貸マンション	24.1	28.9	30.8
賃貸の一戸建て	1.9	1.9 (長屋含)	2.3 (長屋含)
給与住宅	2.9	3.2	2.6

政府統計調査と生活実態調査の比較【福岡市】

生活実態調査

持ち家一戸建	賃貸の一戸建	持ち家マンション	都市再生賃貸住宅	公営住宅	給与住宅	賃貸のマンション	その他	計
35.6 (321)	3.0 (27)	21.7 (196)	2.7 (24)	3.2 (29)	1.9 (17)	30.4 (274)	1.6 (14)	100.0 (902)

NA(8)

国勢調査 2015（世帯人員数）

	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
住宅に住む一般世帯人員	100.0	29.5	0.8	69.5	0.1
主世帯	99.3	29.2	0.8	69.2	0.1
持ち家	(48.4)	(27.1)	(0.2)	(21.0)	(0.1)
公営・都市再生機構・公社の借家	(8.6)	(0.0)	(0.0)	(8.5)	(-)
民営の借家	(38.8)	(1.9)	(0.5)	(36.3)	(0.1)
給与住宅	(3.6)	(0.2)	(0.0)	(3.3)	(0.0)
間借り	0.7	0.3	0.0	0.3	0.0

※住宅の種類「不詳」を除く

住宅土地統計 2018（世帯人員数）

		(人)
0_総数		1,549,700
1_持ち家	47.2	732,200
2_借家	50.9	789,300
21_公営・都市再生機構(UR)・公社の借家	7.5	116,500
2110_公営の借家	4.0	61,500
2120_都市再生機構(UR)・公社の借家	3.5	55,000
22_民営借家	40.9	634,600
2210_一戸建（民営借家）	1.7	26,200
2220_長屋建	1.1	17,600
2230_共同住宅	38.1	590,600
2240_その他	0.0	100
23_給与住宅	2.5	38,200

・統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
・統計表の数値は、総数に「不詳」の数を含むことから、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

各調査結果の比較

	生活実態調査	国勢調査	住宅・土地
持ち家一戸建て	35.6	27.1	47.2
持ち家マンション	21.7	21.0	
都市再生の賃貸住宅	2.7	8.6	3.5
公営住宅	3.2		4.0
賃貸マンション	30.4	36.3	38.1
賃貸の一戸建て	3.0	2.4 (長屋含)	2.8 (長屋含)
給与住宅	1.9	3.6	2.5

入居時期別　転居パターン

表　入居時期別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

(前住居)	→現住居	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	5.7	6.8	8.3	12.3	14.4	23.0
	→2 持ち家マンション	3.8	6.8	9.1	4.9	5.0	4.5
	→3 賃貸マンション	13.4	6.0	5.0	4.9	2.8	0.5
	→4 その他	2.5	1.5	0.0	0.0	0.6	0.0
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	2.5	5.3	3.3	6.6	14.4	5.0
	→2 持ち家マンション	3.2	4.5	4.1	8.2	3.9	2.0
	→3 賃貸マンション	5.1	3.8	1.7	2.5	1.1	0.0
	→4 その他	1.3	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0
3 賃貸マンション	→1 持ち家一戸建	10.2	16.5	18.2	25.4	20.0	33.0
	→2 持ち家マンション	14.0	16.5	27.3	21.3	22.2	19.0
	→3 賃貸マンション	29.9	23.3	15.7	4.1	3.3	3.0
	→4 その他	3.8	1.5	0.8	2.5	2.2	1.0
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	2.3	3.3	3.3	5.6	5.5
	→2 持ち家マンション	1.3	0.8	0.8	0.0	1.1	1.5
	→3 賃貸マンション	2.5	0.8	1.7	2.5	2.2	0.5
	→4 その他	0.6	2.3	0.8	0.8	1.1	1.5
計		100.0 (157)	100.0 (133)	100.0 (121)	100.0 (122)	100.0 (180)	100.0 (200)

p<0.001

（再掲）表　入居時期別 転居パターン（転居経験者・神戸市）　神戸市並べ替え版

(前住居)	→現住居	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	5.7	6.8	8.3	12.3	14.4	23.0
2 持ち家マンション		2.5	5.3	3.3	6.6	14.4	5.0
3 賃貸マンション		10.2	16.5	18.2	25.4	20.0	33.0
4 その他		0.0	2.3	3.3	3.3	5.6	5.5
1 持ち家一戸建	→2 持ち家マンション	3.8	6.8	9.1	4.9	5.0	4.5
2 持ち家マンション		3.2	4.5	4.1	8.2	3.9	2.0
3 賃貸マンション		14.0	16.5	27.3	21.3	22.2	19.0
4 その他		1.3	0.8	0.8	0.0	1.1	1.5
1 持ち家一戸建	→3 賃貸マンション	13.4	6.0	5.0	4.9	2.8	0.5
2 持ち家マンション		5.1	3.8	1.7	2.5	1.1	0.0
3 賃貸マンション		29.9	23.3	15.7	4.1	3.3	3.0
4 その他		2.5	0.8	1.7	2.5	2.2	0.5
1 持ち家一戸建	→4 その他	2.5	1.5	0.0	0.0	0.6	0.0
2 持ち家マンション		1.3	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0
3 賃貸マンション		3.8	1.5	0.8	2.5	2.2	1.0
4 その他		0.6	2.3	0.8	0.8	1.1	1.5
計		100.0 (157)	100.0 (133)	100.0 (121)	100.0 (122)	100.0 (180)	100.0 (200)

p<0.001

表　入居時期別 転居パターン（転居経験者・川崎市）

(前住居)	→現住居	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	2.5	3.5	3.6	8.3	8.3	27.4
	→2 持ち家マンション	3.0	4.2	0.7	7.3	3.8	3.2
	→3 賃貸マンション	10.0	5.6	5.1	3.1	1.5	0.8
	→4 その他	0.5	1.4	0.7	0.0	0.0	0.8
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	3.0	4.2	3.6	3.1	5.3	3.2
	→2 持ち家マンション	3.0	0.7	4.4	7.3	3.0	0.8
	→3 賃貸マンション	5.5	5.6	0.0	1.0	0.0	0.0
	→4 その他	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 賃貸マンション	→1 持ち家一戸建	9.5	11.8	23.4	17.7	20.3	25.8
	→2 持ち家マンション	14.0	21.5	36.5	33.3	34.6	16.1
	→3 賃貸マンション	42.0	37.5	18.2	13.5	11.3	8.1
	→4 その他	1.5	0.7	0.0	0.0	2.3	3.2
4 その他	→1 持ち家一戸建	1.0	2.1	1.5	2.1	3.0	7.3
	→2 持ち家マンション	0.5	0.7	0.7	2.1	4.5	0.8
	→3 賃貸マンション	1.5	0.0	0.0	1.0	1.5	2.4
	→4 その他	2.0	0.7	1.5	0.0	0.8	0.0
計		100.0 (200)	100.0 (144)	100.0 (137)	100.0 (96)	100.0 (133)	100.0 (124)

p<0.001

（再掲）表　入居時期別 転居パターン（転居経験者・川崎市）　川崎市並べ替え版

(前住居)	→現住居	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	2.5	3.5	3.6	8.3	8.3	27.4
2 持ち家マンション		3.0	4.2	3.6	3.1	5.3	3.2
3 賃貸マンション		9.5	11.8	23.4	17.7	20.3	25.8
4 その他		1.0	2.1	1.5	2.1	3.0	7.3
1 持ち家一戸建	→2 持ち家マンション	3.0	4.2	0.7	7.3	3.8	3.2
2 持ち家マンション		3.0	0.7	4.4	7.3	3.0	0.8
3 賃貸マンション		14.0	21.5	36.5	33.3	34.6	16.1
4 その他		0.5	0.7	0.7	2.1	4.5	0.8
1 持ち家一戸建	→3 賃貸マンション	10.0	5.6	5.1	3.1	1.5	0.8
2 持ち家マンション		5.5	5.6	0.0	1.0	0.0	0.0
3 賃貸マンション		42.0	37.5	18.2	13.5	11.3	8.1
4 その他		1.5	0.0	0.0	1.0	1.5	2.4
1 持ち家一戸建	→4 その他	0.5	1.4	0.7	0.0	0.0	0.8
2 持ち家マンション		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 賃貸マンション		1.5	0.7	0.0	0.0	2.3	3.2
4 その他		2.0	0.7	1.5	0.0	0.8	0.0
計		100.0 (200)	100.0 (144)	100.0 (137)	100.0 (96)	100.0 (133)	100.0 (124)

p<0.001

表　入居時期別 転居パターン（転居経験者・福岡市）

(前住居)	→現住居	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	0.0	1.4	8.4	5.1	11.7	18.8
	→2 持ち家マンション	3.0	1.4	3.7	3.8	3.9	2.7
	→3 賃貸マンション	9.9	9.9	5.6	6.4	2.9	3.4
	→4 その他	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7
2 持ち家マンション	→1 持ち家一戸建	1.3	4.3	4.7	2.6	7.8	1.3
	→2 持ち家マンション	3.4	0.7	1.9	5.1	1.0	0.7
	→3 賃貸マンション	4.7	5.0	1.9	0.0	0.0	1.3
	→4 その他	0.9	0.7	0.9	1.3	0.0	0.0
3 賃貸マンション	→1 持ち家一戸建	8.6	18.4	16.8	19.2	19.4	32.2
	→2 持ち家マンション	12.5	14.9	17.8	33.3	30.1	7.4
	→3 賃貸マンション	47.4	34.8	30.8	17.9	10.7	7.4
	→4 その他	3.0	0.7	0.9	2.6	0.0	4.0
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.9	2.1	0.9	1.3	3.9	16.1
	→2 持ち家マンション	0.0	0.0	0.9	1.3	1.0	2.0
	→3 賃貸マンション	3.0	3.5	2.8	0.0	6.8	0.7
	→4 その他	1.3	2.1	0.9	0.0	1.0	1.3
計		100.0 (232)	100.0 (141)	100.0 (107)	100.0 (78)	100.0 (103)	100.0 (149)

p<0.001

（再掲）表　入居時期別 転居パターン（転居経験者・福岡市）　福岡市並べ替え版

(前住居)	→現住居	2015-2019 (0-4 年)	2010-2014 (5-9 年)	2005-2009 (10-14 年)	2000-2004 (15-19 年)	1990-1999 (20-29 年)	-1989 (30 年-)
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	0.0	1.4	8.4	5.1	11.7	18.8
2 持ち家マンション		1.3	4.3	4.7	2.6	7.8	1.3
3 賃貸マンション		8.6	18.4	16.8	19.2	19.4	32.2
4 その他		0.9	2.1	0.9	1.3	3.9	16.1
1 持ち家一戸建	→2 持ち家マンション	3.0	1.4	3.7	3.8	3.9	2.7
2 持ち家マンション		3.4	0.7	1.9	5.1	1.0	0.7
3 賃貸マンション		12.5	14.9	17.8	33.3	30.1	7.4
4 その他		0.0	0.0	0.9	1.3	1.0	2.0
1 持ち家一戸建	→3 賃貸マンション	9.9	9.9	5.6	6.4	2.9	3.4
2 持ち家マンション		4.7	5.0	1.9	0.0	0.0	1.3
3 賃貸マンション		47.4	34.8	30.8	17.9	10.7	7.4
4 その他		3.0	3.5	2.8	0.0	6.8	0.7
1 持ち家一戸建	→4 その他	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7
2 持ち家マンション		0.9	0.7	0.9	1.3	0.0	0.0
3 賃貸マンション		3.0	0.7	0.9	2.6	0.0	4.0
4 その他		1.3	2.1	0.9	0.0	1.0	1.3
計		100.0 (232)	100.0 (141)	100.0 (107)	100.0 (78)	100.0 (103)	100.0 (149)

p<0.001

現在の年齢別　現住居

表　現在の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・神戸市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
20代以下	38.4	2.7	15.1	0.0	2.7	6.8	30.1	4.1	100.0	(73)
30代	34.4	2.2	30.1	2.2	1.1	2.2	26.9	1.1	100.0	(93)
40代	34.8	1.2	36.0	1.8	2.4	2.4	20.7	0.6	100.0	(164)
50代	38.8	3.9	37.6	3.9	1.7	0.6	11.8	1.7	100.0	(178)
60代	53.6	1.7	30.4	2.2	3.3	0.0	8.3	0.6	100.0	(181)
70代以上	55.4	2.5	25.7	2.5	7.4	0.0	4.0	2.5	100.0	(202)
計	44.3	2.4	30.5	2.4	3.5	1.3	14.0	1.6	100.0	(891)

p<0.001

表　現在の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・川崎市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
20代以下	23.1	3.8	17.9	1.3	1.3	7.7	44.9	0.0	100.0	(78)
30代	21.1	1.4	28.2	0.0	1.4	4.9	42.3	0.7	100.0	(142)
40代	28.1	2.3	42.7	0.6	0.0	5.3	21.1	0.0	100.0	(171)
50代	26.3	1.8	42.1	1.2	0.6	2.3	24.6	1.2	100.0	(171)
60代	43.4	2.9	30.9	0.7	7.4	0.0	14.0	0.7	100.0	(136)
70代以上	52.7	0.0	27.3	0.9	10.0	0.0	6.4	2.7	100.0	(110)
計	31.9	2.0	33.5	0.7	3.1	3.2	24.6	0.9	100.0	(808)

p<0.001

表　現在の年齢別 現住居の居住形態（転居経験者・福岡市）

	持ち家一戸建	賃貸一戸建	持ち家マンション	賃貸(都市)	公営住宅	給与住宅	賃貸マンション	その他	計	
20代以下	9.1	6.1	19.7	0.0	4.5	3.0	56.1	1.5	100.0	(66)
30代	17.6	2.5	18.5	3.4	0.8	3.4	52.9	0.8	100.0	(119)
40代	29.0	3.0	23.1	2.4	1.8	3.6	36.1	1.2	100.0	(169)
50代	30.1	2.0	29.4	3.3	4.6	2.6	26.1	2.0	100.0	(153)
60代	44.4	3.3	26.5	4.0	2.6	0.0	17.9	1.3	100.0	(151)
70代以上	54.5	2.3	18.9	1.5	6.1	0.0	14.4	2.3	100.0	(132)
計	33.0	2.9	23.3	2.7	3.3	2.0	31.3	1.5	100.0	(790)

p<0.001

現在の年齢別　転居パターン

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

(前住居)	→現住居)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	6.9	6.5	8.6	6.8	15.3	23.9
	→2持ち家マンション	1.4	5.4	5.6	6.3	5.1	7.6
	→3賃貸マンション	12.5	10.8	5.6	2.8	2.3	2.0
	→4その他	4.2	1.1	0.0	0.0	0.6	0.5
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	12.5	2.2	3.7	5.7	10.8	6.6
	→2持ち家マンション	2.8	1.1	4.3	5.7	2.8	4.1
	→3賃貸マンション	5.6	3.2	2.5	2.3	1.1	2.0
	→4その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.0
3賃貸マンション	→1持ち家一戸建	15.3	24.7	19.8	22.7	22.2	21.8
	→2持ち家マンション	9.7	22.6	26.5	25.6	20.5	13.7
	→3賃貸マンション	20.8	18.3	16.7	11.4	8.5	6.1
	→4その他	1.4	1.1	1.2	2.8	0.6	2.5
4その他	→1持ち家一戸建	2.8	1.1	2.5	4.0	5.1	4.1
	→2持ち家マンション	1.4	1.1	0.0	0.6	2.3	1.0
	→3賃貸マンション	1.4	0.0	2.5	1.1	1.7	2.0
	→4その他	1.4	1.1	0.6	2.3	0.0	1.0
計		100.0 (72)	100.0 (93)	100.0 (162)	100.0 (176)	100.0 (176)	100.0 (197)

p<0.001

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010年以降転居者・神戸市）

(前住居)	→現住居)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	5.1	6.8	5.7	4.9	15.4	3.8
	→2持ち家マンション	2.6	2.7	2.9	7.3	11.5	15.4
	→3賃貸マンション等	17.9	13.7	7.1	4.9	7.7	3.8
	→4その他	7.7	1.4	0.0	0.0	0.0	3.8
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	5.1	1.4	2.9	7.3	0.0	11.5
	→2持ち家マンション	5.1	1.4	1.4	7.3	7.7	3.8
	→3賃貸マンション等	5.1	2.7	4.3	7.3	0.0	11.5
	→4その他	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8
3賃貸マンション等	→1持ち家一戸建	7.7	21.9	17.1	12.2	0.0	7.7
	→2持ち家マンション	2.6	20.5	28.6	7.3	11.5	3.8
	→3賃貸マンション等	35.9	23.3	24.3	26.8	30.8	19.2
	→4その他	0.0	1.4	1.4	4.9	3.8	3.8
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	0.0
	→2持ち家マンション	2.6	1.4	0.0	0.0	0.0	3.8
	→3賃貸マンション等	2.6	0.0	1.4	2.4	3.8	3.8
	→4その他	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0
計		100.0 (39)	100.0 (73)	100.0 (70)	100.0 (41)	100.0 (26)	100.0 (26)

p<0.001

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・川崎市）

(前住居	→現住居)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	4.2	4.7	4.2	13.8	22.7
	→2持ち家マンション	0.0	3.5	5.9	5.4	3.1	0.9
	→3賃貸マンション	15.8	9.2	3.6	2.4	1.5	1.8
	→4その他	0.0	1.4	0.6	0.6	0.0	0.9
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	5.3	1.4	2.4	3.0	7.7	5.5
	→2持ち家マンション	0.0	2.8	1.8	6.0	3.1	2.7
	→3賃貸マンション	2.6	5.6	1.2	3.6	0.8	0.0
	→4その他	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
3賃貸マンション	→1持ち家一戸建	14.5	14.1	20.1	16.7	18.5	18.2
	→2持ち家マンション	18.4	21.8	32.0	29.8	23.1	22.7
	→3賃貸マンション	36.8	33.1	21.9	21.4	17.7	12.7
	→4その他	0.0	0.7	1.2	1.2	2.3	0.9
4その他	→1持ち家一戸建	2.6	1.4	0.6	2.4	3.8	6.4
	→2持ち家マンション	0.0	0.0	3.0	1.8	1.5	0.9
	→3賃貸マンション	0.0	0.7	0.6	0.6	2.3	2.7
	→4その他	3.9	0.0	0.0	1.2	0.8	0.9
計		100.0 (76)	100.0 (142)	100.0 (169)	100.0 (168)	100.0 (130)	100.0 (110)

p<0.001

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010年以降転居者・川崎市）

(前住居	→現住居)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	4.2	2.5	2.3	4.3	0.0
	→2持ち家マンション	0.0	4.2	3.7	7.0	4.3	0.0
	→3賃貸マンション等	18.4	8.5	4.9	2.3	0.0	18.2
	→4その他	0.0	1.7	1.2	0.0	0.0	0.0
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	4.1	1.7	2.5	4.7	8.7	18.2
	→2持ち家マンション	0.0	2.5	1.2	7.0	0.0	0.0
	→3賃貸マンション等	4.1	6.8	2.5	11.6	4.3	0.0
	→4その他	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
3賃貸マンション等	→1持ち家一戸建	6.1	12.7	17.3	2.3	8.7	0.0
	→2持ち家マンション	6.1	19.5	27.2	16.3	4.3	18.2
	→3賃貸マンション等	55.1	35.6	32.1	37.2	56.5	36.4
	→4その他	0.0	0.8	2.5	2.3	0.0	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	2.0	1.7	0.0	2.3	4.3	0.0
	→2持ち家マンション	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0
	→3賃貸マンション等	0.0	0.0	1.2	2.3	0.0	9.1
	→4その他	4.1	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
計		100.0 (49)	100.0 (118)	100.0 (81)	100.0 (43)	100.0 (23)	100.0 (11)

p<0.014

表　現在時の年齢別 転居パターン（転居経験者・福岡市）

(前住居	→現住居)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	1.7	2.4	9.4	11.3	13.3
	→2持ち家マンション	3.2	1.7	2.4	3.4	4.0	3.9
	→3賃貸マンション	19.0	6.8	6.6	4.0	7.3	3.9
	→4その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	1.6	1.7	3.6	1.3	4.6	6.3
	→2持ち家マンション	1.6	0.8	1.2	3.4	4.6	0.8
	→3賃貸マンション	3.2	5.9	3.6	0.0	2.6	0.8
	→4その他	0.0	0.0	0.6	2.0	0.0	0.8
3賃貸マンション	→1持ち家一戸建	7.9	13.6	19.8	16.8	21.9	22.7
	→2持ち家マンション	15.9	16.1	18.6	22.1	17.2	11.7
	→3賃貸マンション	38.1	45.8	32.3	29.5	12.6	13.3
	→4その他	3.2	2.5	2.4	0.7	2.6	2.3
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	0.8	3.0	1.3	6.6	11.7
	→2持ち家マンション	0.0	0.0	0.6	0.7	0.7	2.3
	→3賃貸マンション	3.2	2.5	1.8	4.0	2.0	4.7
	→4その他	3.2	0.0	1.2	1.3	2.0	0.8
計		100.0 (63)	100.0 (118)	100.0 (167)	100.0 (149)	100.0 (151)	100.0 (128)

p<0.001

表　現在の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010年以降転居者・福岡市）

(前住居	→現住居)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	1.0	0.0	1.9	0.0	0.0
	→2持ち家マンション	2.2	1.0	1.9	3.8	6.7	4.3
	→3賃貸マンション等	26.1	5.9	8.5	5.7	6.7	13.0
	→4その他	-	-	-	-	-	-
2持ち家マンション	→1持ち家一戸建	2.2	1.0	3.8	3.8	0.0	4.3
	→2持ち家マンション	0.0	1.0	1.9	3.8	10.0	4.3
	→3賃貸マンション等	4.3	6.9	4.7	0.0	6.7	4.3
	→4その他	0.0	0.0	0.9	3.8	0.0	0.0
3賃貸マンション等	→1持ち家一戸建	2.2	12.9	19.8	11.3	10.0	8.7
	→2持ち家マンション	13.0	16.8	16.0	7.5	13.3	8.7
	→3賃貸マンション等	45.7	48.5	33.0	47.2	30.0	43.5
	→4その他	2.2	3.0	2.8	0.0	3.3	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	0.0	1.9	0.0	6.7	0.0
	→2持ち家マンション	-	-	-	-	-	-
	→3賃貸マンション等	2.2	2.0	2.8	7.5	0.0	8.7
	→4その他	0.0	0.0	1.9	3.8	6.7	0.0
計		100.0 (46)	100.0 (101)	100.0 (106)	100.0 (53)	100.0 (30)	100.0 (23)

p<0.017

入居時の年齢別　転居パターン

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

(前住居	→現住居)	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	14.8	14.5	10.2	12.6	16.9	13.3
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.2	6.9	5.0	4.6	9.1	11.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	6.2	5.0	4.3	2.9	9.1	3.3
	→4その他	2.5	1.3	0.0	0.6	0.0	1.7
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	12.3	3.8	5.3	10.3	5.2	6.7
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	3.8	3.1	2.9	13.0	3.3
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	2.5	2.5	1.2	1.7	6.5	5.0
	→4その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	22.2	20.1	29.7	20.6	5.2	3.3
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	14.8	22.0	24.1	21.7	14.3	8.3
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	4.9	15.7	9.9	10.9	11.7	28.3
	→4その他	2.5	0.6	1.5	1.1	3.9	3.3
4その他	→1持ち家一戸建	6.2	2.5	3.7	4.6	1.3	1.7
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	2.5	1.3	0.6	1.1	0.0	1.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	2.5	0.0	1.2	2.9	1.3	3.3
	→4その他	4.9	0.0	0.0	1.7	2.6	0.0
計		100.0 (81)	100.0 (159)	100.0 (323)	100.0 (175)	100.0 (77)	100.0 (60)

p<0.001

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010年以降入居者・神戸市）

(前住居	→現住居)	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	9.1	3.5	9.8	3.8	3.6	9.1
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	1.8	3.7	3.8	10.7	13.6
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	27.3	12.3	11.0	7.7	10.7	2.3
	→4その他	18.2	3.5	0.0	0.0	0.0	2.3
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	9.1	1.8	1.2	5.8	7.1	6.8
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	3.5	1.2	3.8	10.7	4.5
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	5.3	2.4	3.8	10.7	6.8
	→4その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	0.0	17.5	20.7	15.4	3.6	4.5
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	14.0	23.2	17.3	10.7	9.1
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	18.2	35.1	22.0	26.9	17.9	29.5
	→4その他	0.0	0.0	2.4	1.9	7.1	2.3
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	0.0	2.4	1.9	0.0	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	9.1	1.8	0.0	0.0	0.0	2.3
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	9.1	0.0	0.0	3.8	3.6	2.3
	→4その他	0.0	0.0	0.0	3.8	3.6	0.0
計		100.0 (11)	100.0 (57)	100.0 (82)	100.0 (52)	100.0 (28)	100.0 (44)

p<0.002

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・川崎市）

(前住居	→現住居)	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	6.5	13.1	6.0	5.9	10.1	8.1
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.6	4.5	3.3	5.9	1.4	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	4.8	10.8	3.3	3.3	0.0	5.4
	→4その他	0.0	1.1	0.7	0.0	0.0	2.7
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	8.1	1.1	3.0	5.3	5.8	8.1
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.6	0.6	2.7	5.3	8.7	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	4.0	1.3	2.6	5.8	0.0
	→4その他	-	-	-	-	-	-
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	27.4	13.6	22.1	14.5	8.7	5.4
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	29.0	15.3	31.4	26.3	26.1	18.9
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	9.7	27.3	21.1	23.0	26.1	40.5
	→4その他	1.6	2.3	0.3	1.3	1.4	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	3.2	2.3	2.3	3.9	2.9	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.6	2.3	1.3	0.7	0.0	2.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	1.6	1.1	0.3	1.3	2.9	2.7
	→4その他	3.2	0.6	0.3	0.7	0.0	5.4
計		100.0 (62)	100.0 (176)	100.0 (299)	100.0 (152)	100.0 (69)	100.0 (37)

p<0.001

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010年以降入居者・川崎市）

(前住居	→現住居)	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	2.5	3.3	1.7	5.9	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	1.2	4.1	8.6	2.9	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	17.3	6.6	3.4	0.0	9.1
	→4その他	0.0	1.2	1.6	0.0	0.0	0.0
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	25.0	0.0	3.3	1.7	5.9	13.6
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	1.2	2.5	1.7	5.9	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	8.6	3.3	5.2	11.8	0.0
	→4その他	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	12.5	6.2	16.4	12.1	2.9	4.5
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	12.5	11.1	23.0	20.7	17.6	9.1
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	37.5	45.7	33.6	37.9	38.2	54.5
	→4その他	0.0	1.2	0.8	1.7	2.9	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	2.5	0.8	1.7	2.9	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.0	0.0	1.7	2.9	4.5
	→4その他	12.5	1.2	0.0	0.0	0.0	4.5
計		100.0 (8)	100.0 (81)	100.0 (122)	100.0 (58)	100.0 (34)	100.0 (22)

p<0.015

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・福岡市）

(前住居	→現住居)	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	8.9	10.3	6.2	4.7	12.1	1.6
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	5.4	2.7	1.8	2.9	4.5	6.6
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	7.1	11.6	5.4	4.1	7.6	8.2
	→4その他	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	1.8	0.7	2.2	8.2	3.0	3.3
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.8	0.7	0.7	4.1	3.0	6.6
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.8	2.1	3.3	2.3	1.5	3.3
	→4その他	0.0	0.0	0.0	1.8	1.5	1.6
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	23.2	16.4	24.3	14.0	13.6	6.6
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	14.3	10.3	21.0	20.5	15.2	13.1
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	17.9	36.3	23.9	26.9	21.2	37.7
	→4その他	1.8	3.4	2.5	1.2	0.0	3.3
4その他	→1持ち家一戸建	10.7	2.1	5.1	3.5	4.5	1.6
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.0	1.1	1.2	1.5	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.8	2.1	1.8	2.9	7.6	6.6
	→4その他	3.6	0.7	0.7	1.8	3.0	0.0
計		100.0 (56)	100.0 (146)	100.0 (276)	100.0 (71)	100.0 (66)	100.0 (61)

p<0.001

表　入居時の年齢別 転居パターン（転居経験者・2010年以降入居者・福岡市）

(前住居	→現住居)	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	1.4	0.0	1.2	0.0	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	2.8	0.8	2.4	3.2	6.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	30.0	16.7	7.6	6.0	6.5	8.9
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	10.0	0.0	3.4	3.6	0.0	2.2
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.0	0.8	3.6	3.2	8.9
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	10.0	2.8	5.9	4.8	3.2	4.4
	→4その他	0.0	0.0	0.0	2.4	3.2	0.0
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	10.0	5.6	22.0	9.6	9.7	8.9
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	10.0	12.5	16.1	18.1	3.2	11.1
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	30.0	52.8	36.4	38.6	45.2	42.2
	→4その他	0.0	2.8	2.5	2.4	0.0	2.2
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	0.0	0.8	1.2	6.5	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	0.0	2.8	1.7	3.6	9.7	4.4
	→4その他	0.0	0.0	1.7	2.4	6.5	0.0
計		100.0 (10)	100.0 (72)	100.0 (118)	100.0 (83)	100.0 (31)	100.0 (45)

p<0.049

世帯構成別　現住居

表　現在の世帯構成別 現住居（神戸市・転居経験者）

	持ち家一戸建	持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	その他	計
単身	21.3	24.1	46.8	7.8	100.0 (141)
夫婦	47.6	29.9	18.8	3.7	100.0 (271)
夫婦と子	46.3	37.4	14.3	2.0	100.0 (350)
ひとり親と子	36.4	23.4	35.1	5.2	100.0 (77)
多世代	69.4	16.7	11.1	2.8	100.0 (72)
その他	14.3	21.4	21.4	42.9	100.0 (14)
計	43.4	30.2	22.2	4.3	100.0 (925)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 現住居（川崎市・転居経験者）

	持ち家一戸建	持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	その他	計
単身	5.2	14.8	79.1	0.9	100.0 (115)
夫婦	32.4	32.9	33.8	1.0	100.0 (210)
夫婦と子	35.7	40.6	20.7	3.1	100.0 (392)
ひとり親と子	25.4	37.3	30.5	6.8	100.0 (59)
多世代	70.9	18.2	7.3	3.6	100.0 (55)
その他	27.8	5.6	44.4	22.2	100.0 (18)
計	32.2	32.7	32.2	2.9	100.0 (849)

p<0.001

表③　現在の世帯構成別 現住居（福岡市・転居経験者）

	持ち家一戸建	持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	その他	計
単身	13.9	10.9	72.1	3.0	100.0 (165)
夫婦	34.5	27.9	34.5	3.0	100.0 (197)
夫婦と子	36.1	27.5	32.3	4.1	100.0 (291)
ひとり親と子	28.2	32.1	35.9	3.8	100.0 (78)
多世代	63.2	10.5	14.5	11.8	100.0 (76)
その他	16.7	11.1	66.7	5.6	100.0 (18)
計	32.6	22.8	40.2	4.4	100.0 (825)

p<0.001

世帯構成別　転居パターン

表　現在の世帯構成別 転居パターン（神戸市）

(前住居	→現住居)	単身	夫婦	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	9.6	16.0	11.2	9.6	14.9	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	5.9	5.6	5.2	6.8	4.5	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	11.0	4.5	2.6	11.0	0.0	7.1
	→4 その他	2.2	0.4	0.0	1.4	0.0	14.3
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	2.2	6.7	6.9	2.7	17.9	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	2.9	3.7	4.3	5.5	4.5	7.1
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	4.4	2.6	1.2	1.4	1.5	14.3
	→4 その他	2.2	0.4	0.0	1.4	0.0	7.1
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	6.6	20.9	24.8	21.9	31.3	14.3
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	15.4	19.8	26.2	11.0	9.0	14.3
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	27.9	10.4	8.9	19.2	4.5	0.0
	→4 その他	2.2	2.2	0.9	1.4	3.0	14.3
4 その他	→1 持ち家一戸建	2.9	4.1	3.5	0.0	7.5	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.7	1.7	1.4	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	2.9	1.1	1.4	4.1	1.5	0.0
	→4 その他	1.5	0.7	1.2	1.4	0.0	7.1
計		100.0 (136)	100.0 (268)	100.0 (347)	100.0 (73)	100.0 (67)	100.0 (14)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 転居パターン（神戸市・転居経験者・2010 年以降転居者）

(前住居	→現住居)	単身	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	3.8	4.7	8.0	3.4	17.6	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	9.4	2.7	10.3	11.8	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	18.9	15.6	2.7	13.8	0.0	14.3
	→4 その他	3.8	1.6	0.0	3.4	0.0	28.6
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	0.0	3.1	6.2	0.0	11.8	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	6.3	4.4	6.9	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	7.5	9.4	1.8	3.4	0.0	0.0
	→4 その他	3.8	1.6	0.0	0.0	0.0	14.3
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	1.9	6.3	22.1	10.3	23.5	14.3
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	11.3	6.3	24.8	10.3	5.9	14.3
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	41.5	29.7	18.6	34.5	17.6	0.0
	→4 その他	3.8	3.1	0.9	0.0	5.9	14.3
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.9	1.6	0.9	3.4	5.9	0.0
	→4 その他	1.9	1.6	1.8	0.0	0.0	0.0
計		100.0 (53)	100.0 (64)	100.0 (113)	100.0 (29)	100.0 (17)	100.0 (7)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 転居パターン（転居経験者・川崎市）

(前住居	→現住居)	単身	夫婦	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	1.8	8.8	6.2	12.1	34.6	11.8
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	1.5	4.4	10.3	5.8	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	11.5	3.4	4.7	1.7	0.0	11.8
	→4 その他	0.9	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	0.0	3.4	5.2	0.0	5.8	5.9
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	4.4	2.9	2.6	5.2	3.8	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	4.4	2.9	1.6	1.7	0.0	11.8
	→4 その他	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	2.7	15.6	21.7	13.8	26.9	5.9
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	8.8	27.3	32.0	20.7	7.7	5.9
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	59.3	26.3	14.5	24.1	5.8	23.5
	→4 その他	0.0	1.0	0.8	3.4	1.9	5.9
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.9	4.9	2.1	0.0	5.8	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.8	0.5	1.8	1.7	1.9	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	3.5	1.5	0.3	1.7	0.0	0.0
	→4 その他	0.0	0.0	1.0	3.4	0.0	17.6
計		100.0 (113)	100.0 (205)	100.0 (387)	100.0 (58)	100.0 (52)	100.0 (17)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 転居パターン（川崎市・転居経験者・2010 年以降転居者）

(前住居	→現住居)	単身	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	0.0	1.4	3.8	5.3	18.2	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	1.4	5.1	10.5	9.1	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	14.3	8.2	6.4	5.3	0.0	0.0
	→4 その他	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	0.0	2.7	4.5	0.0	27.3	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.4	1.4	2.6	5.3	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	7.1	8.2	3.2	5.3	0.0	20.0
	→4 その他	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	1.4	8.2	15.4	5.3	27.3	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	5.7	16.4	25.0	15.8	0.0	10.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	67.1	47.9	25.6	42.1	18.2	30.0
	→4 その他	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	10.0
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	2.7	1.9	0.0	0.0	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.4	1.4	0.0	5.3	0.0	0.0
	→4 その他	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	30.0
計		100.0 (70)	100.0 (73)	100.0 (156)	100.0 (19)	100.0 (11)	100.0 (10)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 転居パターン（福岡市）

(前住居	→現住居)	単身	夫婦	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	4.9	8.8	5.2	2.6	15.3	5.9
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.2	3.1	2.4	3.9	8.3	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	14.7	7.7	3.8	6.6	1.4	0.0
	→4 その他	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	0.6	3.6	4.2	1.3	6.9	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.6	4.1	0.7	5.3	1.4	5.9
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	4.3	2.6	1.7	3.9	1.4	5.9
	→4 その他	0.6	0.5	0.0	1.3	2.8	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	5.5	16.0	23.7	19.7	30.6	11.8
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	7.4	20.1	23.7	22.4	1.4	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	47.2	22.7	25.8	19.7	11.1	52.9
	→4 その他	1.2	1.5	1.7	1.3	6.9	5.9
4 その他	→1 持ち家一戸建	3.1	6.2	2.8	3.9	9.7	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.8	0.5	0.3	1.3	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	5.5	1.5	1.4	6.6	1.4	11.8
	→4 その他	0.6	1.0	2.1	0.0	1.4	0.0
計		100.0 (163)	100.0 (194)	100.0 (287)	100.0 (76)	100.0 (72)	100.0 (17)

p<0.001

表　現在の世帯構成別 転居パターン（福岡市・転居経験者・2010 年以降転居者）

(前住居	→現住居)	単身	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親	多世代	その他
1 持ち家一戸建	→1 持ち家一戸建	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.0	1.4	2.1	0.0	18.2	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	18.6	13.0	6.3	0.0	4.5	0.0
	→4 その他	-	-	-	-	-	-
2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1 持ち家一戸建	0.0	0.0	4.9	3.6	4.5	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.0	5.8	0.7	7.1	4.5	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	5.2	7.2	2.8	7.1	4.5	7.7
	→4 その他	0.0	1.4	0.0	0.0	9.1	0.0
3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1 持ち家一戸建	1.0	8.7	21.7	7.1	22.7	7.7
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	5.2	14.5	18.9	25.0	0.0	0.0
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	60.8	44.9	33.6	32.1	13.6	69.2
	→4 その他	2.1	0.0	2.1	3.6	4.5	7.7
4 その他	→1 持ち家一戸建	0.0	0.0	1.4	3.6	9.1	0.0
	→2 持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	-	-	-	-	-	-
	→3 賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	4.1	1.4	2.1	10.7	0.0	7.7
	→4 その他	1.0	1.4	2.1	0.0	4.5	0.0
計		100.0 (97)	100.0 (69)	100.0 (143)	100.0 (28)	100.0 (22)	100.0 (13)

p<0.001

末子のライフステージ別　現住居

表　末子のライフステージ別 現住居（転居経験者・神戸市）

	持ち家一戸建	持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	その他	計
子ども無し	29.5	23.4	40.6	6.5	100.0 (261)
-6 歳	40.0	40.0	16.3	3.8	100.0 (80)
7-12 歳	40.9	34.8	24.2	0.0	100.0 (66)
13-18 歳	45.2	41.9	11.3	1.6	100.0 (62)
19-25 歳	51.3	29.5	12.8	6.4	100.0 (78)
26-39 歳	51.5	33.5	12.5	2.5	100.0 (200)
40 歳-	56.9	28.5	11.1	3.5	100.0 (144)
計	43.7	30.6	21.7	4.0	100.0 (891)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 現住居（転居経験者・川崎市）

	持ち家一戸建	持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	その他	計
子ども無し	16.7	28.0	51.3	4.0	100.0 (275)
-6 歳	29.8	37.2	28.9	4.1	100.0 (121)
7-12 歳	30.4	46.4	21.4	1.8	100.0 (56)
13-18 歳	32.3	38.7	25.8	3.2	100.0 (62)
19-25 歳	37.6	43.5	17.6	1.2	100.0 (85)
26-39 歳	46.7	36.3	15.6	1.5	100.0 (135)
40 歳-	56.6	16.9	24.1	2.4	100.0 (83)
計	31.9	33.3	31.8	2.9	100.0 (817)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 現住居（転居経験者・福岡市）

	持ち家一戸建	持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	その他	計
子ども無し	15.0	22.6	57.9	4.5	100.0 (266)
-6 歳	26.0	13.5	53.1	7.3	100.0 (96)
7-12 歳	35.7	28.6	34.3	1.4	100.0 (70)
13-18 歳	50.0	34.1	15.9	0.0	100.0 (44)
19-25 歳	28.8	24.7	42.5	4.1	100.0 (73)
26-39 歳	47.6	28.6	19.7	4.1	100.0 (147)
40 歳-	59.1	16.1	20.4	4.3	100.0 (93)
計	32.7	23.2	39.9	4.2	100.0 (789)

p<0.001

末子のライフステージ別　転居パターン

表　末子のライフステージ別 転居パターン（転居経験者・神戸市）

(前住居	→現住居)	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	6.3	10.0	12.1	8.2	5.2	12.2	28.3
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.1	6.3	7.6	4.9	6.5	5.1	8.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	11.0	1.3	9.1	1.6	3.9	1.5	1.4
	→4その他	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	5.9	3.8	3.0	1.6	10.4	11.7	4.3
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	4.7	2.5	4.5	6.6	1.3	4.6	3.6
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	5.1	0.0	4.5	1.6	1.3	0.5	0.0
	→4その他	0.8	0.0	0.0	0.0	1.3	1.0	0.7
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	14.1	22.5	24.2	29.5	32.5	23.4	21.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	14.5	30.0	22.7	31.1	20.8	21.8	16.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	23.5	15.0	9.1	6.6	6.5	8.1	5.1
	→4その他	2.0	2.5	0.0	1.6	3.9	1.0	1.4
4その他	→1持ち家一戸建	2.7	3.8	1.5	4.9	3.9	4.6	3.6
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.8	1.3	0.0	0.0	1.3	2.0	0.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.6	0.0	1.5	1.6	0.0	2.0	2.9
	→4その他	2.4	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.7
計		100.0 (255)	100.0 (80)	100.0 (66)	100.0 (61)	100.0 (77)	100.0 (197)	100.0 (138)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 転居パターン（神戸市・転居経験者・2010年以降入居者）

(前住居	→現住居)	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	1.8	10.9	10.0	0.0	13.3	9.4	6.7
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	2.7	4.7	0.0	0.0	13.3	12.5	13.3
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	18.9	1.6	10.0	0.0	6.7	3.1	6.7
	→4その他	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	3.6	3.1	0.0	9.1	0.0	9.4	6.7
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	4.5	0.0	6.7	9.1	0.0	9.4	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	7.2	0.0	6.7	9.1	6.7	0.0	0.0
	→4その他	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.7
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	6.3	20.3	33.3	18.2	20.0	6.3	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	6.3	34.4	16.7	27.3	6.7	9.4	13.3
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	37.8	17.2	13.3	18.2	20.0	28.1	20.0
	→4その他	2.7	1.6	0.0	0.0	6.7	3.1	6.7
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	3.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.9	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.8	0.0	0.0	9.1	0.0	3.1	6.7
	→4その他	0.9	1.6	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
計		100.0 (111)	100.0 (64)	100.0 (30)	100.0 (11)	100.0 (15)	100.0 (32)	100.0 (15)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 転居パターン（転居経験者・川崎市）

(前住居	→現住居)	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	1.9	5.8	5.4	3.3	8.2	17.6	24.4
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	2.6	4.2	5.4	8.2	3.5	3.1	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	7.9	5.8	5.4	3.3	2.4	2.3	2.4
	→4その他	0.4	1.7	0.0	1.6	1.2	0.0	0.0
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	1.9	3.3	3.6	3.3	4.7	7.6	2.4
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.0	1.7	3.6	3.3	3.5	4.6	2.4
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	3.7	3.3	0.0	1.6	3.5	1.5	0.0
	→4その他	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	10.9	19.2	21.4	21.3	22.4	19.1	22.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	21.0	30.8	37.5	23.0	36.5	27.5	13.4
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	38.6	20.0	16.1	21.3	10.6	10.7	18.3
	→4その他	1.1	1.7	1.8	0.0	0.0	1.5	1.2
4その他	→1持ち家一戸建	1.5	0.8	0.0	3.3	2.4	3.1	8.5
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.5	0.8	0.0	4.9	0.0	0.8	1.2
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	1.5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.8	2.4
	→4その他	2.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.2
計		100.0 (267)	100.0 (120)	100.0 (56)	100.0 (61)	100.0 (85)	100.0 (131)	100.0 (82)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 転居パターン（川崎市・転居経験者・2010年以降入居者）

(前住居	→現住居)	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.7	6.9	3.7	0.0	0.0	6.3	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.4	4.0	7.4	6.3	5.9	0.0	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	10.4	5.9	3.7	6.3	5.9	6.3	22.2
	→4その他	0.0	2.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	1.4	3.0	3.7	6.3	5.9	12.5	22.2
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.7	2.0	3.7	12.5	5.9	0.0	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	6.9	4.0	0.0	6.3	11.8	12.5	0.0
	→4その他	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	6.3	18.8	18.5	0.0	5.9	0.0	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	10.4	28.7	25.9	12.5	11.8	12.5	22.2
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	54.9	20.8	29.6	37.5	35.3	50.0	22.2
	→4その他	0.7	2.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	2.1	1.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	0.7	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.1
	→4その他	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		100.0 (144)	100.0 (101)	100.0 (27)	100.0 (16)	100.0 (17)	100.0 (16)	100.0 (9)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 転居パターン（転居経験者・福岡市）

(前住居	→現住居)	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	2.7	1.1	4.3	6.8	7.0	11.6	18.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.9	1.1	7.1	0.0	1.4	5.5	4.5
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	11.1	8.5	4.3	2.3	2.8	4.1	6.7
	→4その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	0.4	5.3	1.4	4.5	2.8	5.5	7.9
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	3.1	1.1	1.4	0.0	1.4	3.4	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	3.8	3.2	2.9	0.0	2.8	1.4	1.1
	→4その他	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	1.1
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	10.7	19.1	25.7	29.5	16.9	24.7	16.9
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	17.2	11.7	20.0	34.1	19.7	18.5	9.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	38.9	40.4	27.1	9.1	36.6	11.6	10.1
	→4その他	2.7	3.2	0.0	0.0	2.8	2.1	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	1.1	0.0	4.3	9.1	1.4	5.5	15.7
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	0.4	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	2.2
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	4.2	2.1	0.0	4.5	1.4	2.7	3.4
	→4その他	1.5	3.2	0.0	0.0	1.4	0.7	1.1
計		100.0 (262)	100.0 (94)	100.0 (70)	100.0 (44)	100.0 (71)	100.0 (146)	100.0 (89)

p<0.001

表　末子のライフステージ別 転居パターン（福岡市・転居経験者・2010年以降入居者）

(前住居	→現住居)	子ども無し	-6歳 育児期	7-12歳 教育1	13-18歳 教育2	19-25歳 排出1	26-39歳 排出2	40歳以上
1持ち家一戸建	→1持ち家一戸建	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	1.4	0.0	4.5	0.0	0.0	11.8	10.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	14.9	8.6	6.8	0.0	3.7	5.9	10.0
	→4その他	-	-	-	-	-	-	-
2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	→1持ち家一戸建	0.7	4.9	2.3	7.1	3.7	2.9	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	2.7	1.2	2.3	0.0	3.7	5.9	0.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	5.4	3.7	4.5	0.0	3.7	2.9	10.0
	→4その他	0.7	0.0	2.3	0.0	0.0	2.9	0.0
3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	→1持ち家一戸建	4.7	19.8	27.3	21.4	14.8	11.8	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	11.5	13.6	15.9	42.9	7.4	11.8	10.0
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	50.7	38.3	34.1	0.0	48.1	32.4	50.0
	→4その他	2.7	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0
4その他	→1持ち家一戸建	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	5.9	0.0
	→2持ち家ﾏﾝｼｮﾝ	-	-	-	-	-	-	-
	→3賃貸ﾏﾝｼｮﾝ等	3.4	1.2	0.0	14.3	3.7	5.9	10.0
	→4その他	1.4	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0
計		100.0 (148)	100.0 (81)	100.0 (44)	100.0 (14)	100.0 (27)	100.0 (34)	100.0 (10)

p<0.001

巻末資料

調査票および郵送物

- 調査票
- 依頼はがき
- 往信用封筒、返信用封筒
- 調査お願い文
- 催促はがき
- 催促お願い文

調査票１頁目

調査票 2 頁目

調査票３頁目

調査票 5 頁目

調査票 6 頁目

調査票 7 頁目

調査票８頁目

調査票９頁目

調査票 10 頁目

調査票 11 頁目

調査票 12 頁目

神戸の調査票 2 頁目

福岡の調査票 2 頁目

依頼はがき（川崎版）　　2色刷(黒・青)

川崎･神戸･福岡市民生活実態調査

ご協力のお願い

このたび、科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献する社会調査方法の開発」（研究代表者：関西学院大学社会学部教授・大谷信介）の研究グループでは、川崎市・神戸市・福岡市の市民の皆様を対象とした「市民生活実態調査」を実施することになりました。市民の生活実態を正確に把握し、今後の政策形成に生かすことが調査の目的です。

川崎市・神戸市・福岡市の選挙人名簿から無作為に2,000人ずつの人を選びましたところ、あなた様が調査対象者に選ばれました。誠に勝手ではございますが、調査にご協力いただけましたら幸いです。

調査票は7月24日（水）頃に郵送にてお届けします

ご回答いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れてポストにご投函ください。心ばかりのお礼の品を同封しております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先
関西学院大学　市民生活実態調査実施本部
電　話：0798-54-6069（平日10時～15時）
メール：otani-lab@kwansei.ac.jp

裏面

日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（A）
「政策形成に貢献する新しい社会調査方法の開発」

関西学院大学　市民生活実態調査実施本部
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1−155
電　話：0798-54-6069（平日 10時～15時）
メール：otani-lab@kwansei.ac.jp

表面

往信用封筒

料金後納郵便 関西学院
ゆうメール
【調査票・返信用封筒・謝品】在中

日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（A）
「政策形成に貢献する新しい社会調査方法の開発」

調査に関するお問い合わせ先
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155
関西学院大学 市民生活実態調査実施本部
メール：otani-lab@kwansei.ac.jp
電　話：0798-54-6069
（7月16日～8月30日　平日10時～15時）

関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

返信用封筒

6 6 2 8 5 0 1

兵庫県西宮市上ヶ原一番町一―一五五
関西学院大学
市民生活実態調査実施本部　行

日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（A）
「政策形成に貢献する新しい社会調査方法の開発」

関西学院大学 市民生活実態調査実施本部
電　話：0798-54-6069（平日10時～15時）
メール：otani-lab@kwansei.ac.jp

関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

川崎・神戸・福岡市民生活実態調査

調査ご協力のお願い

だれが調査をおこなっているのか〈調査主体〉

この調査は、文部科学省より研究費が助成されている研究［2016～2020年度科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」の一環としておこなわれています。研究代表者は関西学院大学社会学部教授の大谷信介です。研究分担者は、慶應義塾大学 稲葉昭英、日本大学 後藤範章、桃山学院大学 木下栄二、松山大学 小松洋の4名の教授です。

科学研究費とは?

科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成をおこなうものです。

出典：日本学術振興会　科学研究費助成事業　https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/

何のための調査なのか〈調査目的〉

厚生労働省の統計不正問題に象徴されるように、現在、政府統計（統計調査と世論調査）は深刻な問題に直面しています。本研究の目的は、社会学領域で蓄積されてきた社会調査に関する研究成果を駆使して、既存の政府統計や地方自治体調査を刷新することのできる、新しい「市民生活実態調査」を開発していくことです。これまでの政府統計は、多様な分野での証拠としての意義は持ってきましたが、①多様なテーマを横断的に分析（クロス分析）できないために、政策課題の解明がしにくかったこと、②調査対象国民に、多大な負担（家計調査であれば家計簿の記入、社会生活基本調査であれば詳細な生活時間の記入等）を強いてきたという問題を抱えてきました。

私たちの調査では、これらの問題を是正し、市民の生活実態〈どんな人が・どこに住み・どこで働き・どのように暮らしているのか・どんな問題を抱えているか〉を正確にかつ簡潔に測定することによって、自治体の政策形成に貢献するデータを構築していこうとするものです。2017年には、愛媛・長崎各県2000名を対象とした「県民生活実態調査」を実施しました。今回は大都市圏の3つの150万都市を対象として、市民生活を測定できる調査を設計いたしました。この調査は今後、全国の市町村でも、また海外でも広く実施できる汎用性の高い調査にしていくことを目標としています。

この調査の主要な質問項目は以下のとおりです。

［家族］について質問しています

この調査では、［家族］について詳細な質問をしています。これまでの政府統計では（たとえば国勢調査）、世帯単位の家族が把握されてきました。しかし、家族の実態は多様であり、育児や介護の問題を考える場合には、親世代と子世代がどのように住んでいるのか、同居家族に限らない家族関係の把握が重要となってきます。この調査では、「親」「子ども」については、別居の場合の居住地を質問し、近居の実態を解明しようとしています。

［場所］について質問をしています

この調査では、職場の所在地やご両親やお子さんの居住地について、都道府県・市町村、鉄道の最寄り駅、最寄りのバス停を質問しています。「愛媛・長崎県民生活実態調査」では、郵便番号で場所を特定しました。最寄り駅等の［場所］に関する質問は、市民の方々の生活実態を空間的に把握する方法を開発するためのものです。ご面倒かと思いますが、できるだけ詳しくご記入いただければ幸いです。

［生活時間］について質問しています

これまでの調査（社会生活基本調査・NHK生活時間調査）では、対象者に詳細な［生活時間］を記入してもらう質問をしてきました。この調査では、できるだけ簡潔に生活時間を把握する方法を開発しました。24時間を、該当する項目に分けていただく方法です。とても答えにくい質問かもしれませんが、記入例を参考に考えてください。働き方改革、女性の就業問題、家事育児負担問題、介護問題、こうした課題に対する政策を考えるためには、まず実態を把握する

必要があります。また、「人生100年時代」と言われるようになり、老後の生活は非常に長くなりました。高齢者がどういった生活を送っているのかを把握することも、本格的な高齢化社会を迎えるなかでは非常に重要であると考えています。

［収入］［家計の構造］［貯蓄］について質問しています

この調査の最後の質問では、[1年間の収入][家計の構造][貯蓄]について質問しています。これらの質問は、家計調査の家計簿記入の方法をどのように簡潔に質問できるかという観点から考えられたものです。非常にプライベートな質問ですから、「答えたくない」という選択肢も設けました。昨今「年金生活で2000万円貯蓄が必要」ということが話題となりました。しかし、人々の年金生活実態は、これまでの政府統計では必ずしも正確に把握できないのが実情です。市民の家計の状況を把握し、それを市民の生活実態と関連させて分析することは、今後ますます重要な課題となっていくと思われます。この調査は、学術的分析のためにおこなわれるもので、税務署等とは全く関係ありません。個人情報は固く保護いたしますので、なにとぞご回答いただけますようお願いいたします。

なぜあなたに調査票が送られてきたのか〈調査対象者の選定〉

川崎市・神戸市・福岡市の選挙人名簿から調査対象者を選定させていただきました。各区の選挙管理委員会にて所定の手続きを経て、名簿を閲覧しました。調査対象者の選定に際しましては、名簿に記載されている方々に仮想の番号をふり、スタート番号を無作為に決め、そこから等間隔で選定するという方法をとりました(等間隔抽出法)。つまり、市民の皆さま(18歳～80歳)は、どなたも選ばれる可能性は等しく、その結果としてあなたが市民を代表する調査対象者として選ばれました。

ですので、この調査票を送られたご本人さまが、ありのままの回答をしてください。よろしくお願いいたします。

調査票にナンバーを印刷している理由と、個人情報の保護について

この調査の対象者は各市2,000名です。この方々が市民を代表するようにサンプリング(調査対象者の抽出)をおこなっています。つまり、特定の年齢層などで調査票のご返送が少ないといった場合には、この調査結果が市民を代表することが難しくなります。調査票を返送していただいた割合を「回収率」といいますが、回収率を上げることが、調査結果の質の向上にはきわめて重要となります。そこで今回の調査では、調査票返送期限の前後に、調査票未返送の方に「調査票返送のお願いはがき」をお送りさせていただくことにより、回収率向上につとめたいと考えております。どなたから返送していただいたかを把握するため、調査票に個人を識別するナンバーを印刷しております。ナンバーが印刷されていることで、不快な思いを抱かれる方もいらっしゃると思いますが、調査結果の質の向上のための方法として、ご理解いただければ幸いです。また、調査結果はすべて数字として処理し、個人が特定されることはありませんのでご安心ください。

名簿や記入済み調査票の取り扱い

選挙人名簿から転記した名簿、それを宛名印刷するために入力したデータ、ご返送いただいた調査票は、すべて関西学院大学内の鍵付きの書庫に厳重に保管し、本研究終了時(2021年3月)にはすべて焼却処分いたします。

調査結果の公表について

この調査研究は、科学研究費助成事業の採択を受けていること・政策形成に役立つ調査を目指していることから、この調査の結果を積極的に公表していきます(調査結果はすべて数字として表示され、個人が特定されることはありません)。本研究の終了年度である2021年3月までに報告書の作成、さらに出版も予定しております。また、分析結果については、大谷研究室のサイトにて随時報告いたします。大谷研究室　http://soc-kg.jp/wordpress/

調査に関するご質問やお問い合わせ

宛　　先：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学　市民生活実態調査実施本部
電　　話：0798-54-6069
受付期間：7月16日～8月30日の平日10時～15時
(8月10日～21日の大学一斉休暇期間を除く)
Eメール ：otani-lab@kwansei.ac.jp

催促はがき（川崎版）　　2色刷(黒・青)

川崎・神戸・福岡市民生活実態調査

ぜひご協力ください

先日、あなた様に郵便で「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」へのご協力をお願いしました。もし、まだお手元に調査票がありましたら、お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答のうえ返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函していただけませんでしょうか。答えたくない質問や答えにくい質問は空欄のままでもかまいませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

すでに、ご返送済みでしたら、このはがきと行き違いになりましたことをお許しください。

8月20日（火）頃までにご投函いただければ…

当初、8月7日までにご投函とお願いしておりましたが、最終締め切りを延長いたしました。8月20日頃までにご投函いただければ幸いです。あなた様にご回答頂くことで、よりよい調査になり、自治体への政策提言の信頼性や妥当性が増しますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

関西学院大学　市民生活実態調査実施本部
電　　話：0798-54-6069
受付期間：7月16日~8月30日の平日10時～15時
（8月10日~21日の大学一斉休暇期間を除く）
メ ー ル：otani-lab@kwansei.ac.jp

裏面

料金後納郵便
関西学院

日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（A）
「政策形成に貢献する新しい社会調査方法の開発」

関西学院大学　市民生活実態調査実施本部
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1−155
電　話：0798-54-6069（平日 10時～15時）
メール：otani-lab@kwansei.ac.jp

表面

催促お願い文（川崎版）　　2色刷(黒・青)

川崎・神戸・福岡市民生活実態調査

ご協力に関する「最後のお願い」です

7月下旬頃に、あなた様に郵便で「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」へのご協力をお願いしました。

この調査は、市民の生活実態〈どんな人が・どこに住み・どこで働き・どのように暮らしているのか・どんな問題を抱えているか〉を正確に把握することによって、現状の問題点や将来起こりうる問題点等を見つけ出し、対策（政策立案）を講じていく仕組みを構築しようとする試みです。

8月中旬には、はがきで再度ご協力のご依頼をさせていただきましたが、ご回答いただけましたでしょうか。すでにご返送済みでしたら、行き違いになりましたことをどうぞお許しください。

8月9日現在、川崎市613人・神戸市745人・福岡市645人の方々からご回答・ご返送いただいておりますが、データの精度や信頼性を高めるには、さらに多くの方に回答していただく必要があると考えております。そこで皆さまに調査にご協力いただけますよう「最後のお願い」をさせていただくことにいたしました。

改めて調査票と返信用封筒を同封させていただきましたので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答のうえ返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函していただけましたら幸いです。答えたくない質問や答えにくい質問は空欄のままでかまいませんので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本学術振興会　科学研究費基盤研究（A）
「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の開発」
研究代表者：関西学院大学社会学部　教授　大谷信介

調査に関するご質問やお問い合わせ

宛　先：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学　市民生活実態調査実施本部
電　話：0798-54-6069
受付期間：7月16日~8月30日の平日10時~15時
（8月10日~21日の大学一斉休暇期間を除く）
Eメール：otani-lab@kwansei.ac.jp

調査困難状況における社会調査の運営に関する研究

――「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」の取り組み――

2016 年度～2020 年度科学研究費補助金［基盤研究(A)］
「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」（研究課題番号：16H02046）
研究成果中間報告書 (3)

発行　　2021年5月

編集発行　　研究代表者　大谷信介
（関西学院大学　社会学部教授）